

## ■ 株式会社 北越銀行

010-FY2018-01

### 環境に配慮した商品・サービスの取扱い

#### 【原則2】

- ・ホクギン環境配慮型特別融資および環境配慮型私募債～for the earth～  
環境問題に取り組む事業者の資金調達を支援。
- ・リフォームローン  
環境配慮型（省エネ）設備の導入を伴うリフォームを行うお客さまを支援（当行所定の金利から一定の金利引き下げを実施）。

#### 【特徴】

- ・コンサルティング営業部に環境分野の専担者を配置

010-FY2018-02

### 社会貢献活動

#### 【原則3】

- ・トキ保護活動への支援  
国際保護鳥に指定されている新潟県の鳥「トキ」の保護に協力するため、当行役職員の募金と合わせ、昭和43年から毎年保護活動に寄付している。  
平成22年からは、トキの野生復帰活動を応援する投資信託「トキ応援ファンド」「トキ子育て応援ファンド」の販売から得られる信託報酬の一部を「新潟県トキ保護募金」に毎年寄付している。
- ・環境ボランティアへの参加  
地域福祉や環境保護等への寄付事業や行員の環境ボランティア（新潟県の絶滅危惧種であるトキ・ヒメサユリ・イバラトミヨ等の保護ボランティア等）への参加。
- ・日本の森を守る地方銀行有志の会に参加  
各地方銀行の森づくり活動の情報をネットワーク化することにより、国土の7割を占める日本の森を守る活動を支援していくことを目的とした同会に参加。

#### 【特徴】

当行役職員が毎月お金を拠出し、寄付事業や行員のボランティア参加を支援している「北銀まごころの会」（自主参加募金組織）を結成し活動中。

010-FY2018-03

### 環境貢献活動

#### 【原則5】

- ・省資源・省エネルギーの推進  
空調運転時間の調整やLED照明への切替等による電気使用量の削減、再生紙購入の促進、高効率空調機の導入等。また、営業店の廃棄文書を本部で回収し、切断破碎処理したうえで、再生紙の原材料としてリサイクル。
- ・「新潟県カーボン・オフセット制度」のコーディネーター就任  
プロジェクト実施者と事業者間の橋渡しを行い、事業者のカーボン・オフセットによるクレジットの活用を促進し、制度の普及拡大に取り組む。

## ■ 株式会社 京都銀行

011-FY2018-01

- ① 「環境方針」「環境プラン」「環境プログラム」の制定
- ② 「環境会議」「環境委員会」の設置

### 【原則1】

- ① 2008年に制定した「環境方針」（基本方針と行動指針）に基づき、具体的な行動計画として「環境プラン」（中期計画）、「環境プログラム」（年度計画）を制定して、全役職員が一丸となって環境保全活動に取り組んでいます。
- ② 環境問題の取組については専務取締役を議長とし、常務取締役等で構成する「環境会議」ならびに、各部部长がメンバーとなり、各部横断的な組織である「環境委員会」を適宜開催し、計画の策定、進捗状況の管理等を実施しています。

### 【特徴】

「第三次環境プラン」（平成29年4月1日～平成32年3月31日）において、電気、ガス、ガソリンの各使用量について、平成28年度を基準として、毎年1%以上の削減を目標としています。

011-FY2018-02

### 商品づくり

### 【原則2】

「京銀エコ・ローン」、「京銀エコ・私募債」、「京銀住宅ローン・エコ金利プラン」、「マイカーローン・エコカーセーフティドライブプラン」などの環境配慮型商品を扱っています。

011-FY2018-03

- ① 「京銀ふれあいの森」「京銀ふるさとの森」「京銀まなびの森」の保全育成
- ② 「京都モデルフォレスト協会」の活動への積極参加

### 【原則3】

- ① 平成24年4月に京都府ならびに京都モデルフォレスト協会と「森林の利用保全に関する協定」を締結し、この協定のもと京都市北区上賀茂にある本山国有林の一部（15.22ha）を「京銀ふれあいの森」として、林野庁、京都府、京都モデルフォレスト協会、京都産業大学、京都大学と連携して森林の保全・育成に取り組んでいます。また平成19年に当行嵐山研修会館の敷地の一部を「京銀ふるさとの森」、平成25年に当行桂川キャンパスの敷地の一部を「京銀まなびの森」として、植樹等をおこない、以降は下草刈りなどの育成・整備活動を行っています。
- ② 「京都モデルフォレスト協会」に対して、同協会が主催する森林整備活動に積極的に参加しています。

### 【特徴】

「京銀ふれあいの森」で間伐したヒノキを、行員で皮むきや搬出を行い、それを材料として営業店の内装に使用しました。その取組について、平成27年に「第1回ウッドデザイン賞奨励賞」（京銀ふれあい森等の地域産材を使用した店舗内装木質化）を受賞しました。

011-FY2018-04

- ① 環境にやさしい店舗づくり
- ② リサイクルトイレットペーパー

### 【原則5】

- 
- ① 建物の什器や内装に地域産木材を使用することにより、木材使用の啓発を行っている。また屋上緑化、太陽光発電・風力発電、LED照明、電気自動車等を設置しています。平成25年12月に新築した東長岡支店は「CO<sub>2</sub>排出量ゼロ店舗」とし、「光ダクト」「自然換気システム」「外付けロールスクリーン散水」など“自然の力を生かす仕組み”と、「超高効率空調」「LED照明」などによる“省エネ製品等の導入”によりCO<sub>2</sub>排出量を従来型の店舗より約39%削減し、残り61%相当を太陽光発電で賄っています。
- ② 日常業務で発生する廃棄文書を集約してリサイクルを実施し、トイレットペーパーなどに再利用しています。またリサイクルしたトイレットペーパーは京都府内や滋賀県内の当行店舗所在地にある公立小学校等へ寄贈しています。
- 

011-FY2018-05

「びわ湖環境ビジネスメッセ」への出展

【原則6】

毎年、長浜で開催される「びわ湖環境ビジネスメッセ」に出展し、当行の環境問題への取組みを公表しています。

---

011-FY2018-06

クールビズ、ウォームビズ、アイドリングストップ

【原則7】

クールビズ、ウォームビズ、アイドリングストップ等、日常の中で省エネルギーに取り組んでいます。

---

## ■ 株式会社 静岡銀行

013-FY2018-01

### 基本方針と環境マネジメントシステム

#### 【原則1】

静岡銀行は、基本理念「地域とともに夢と豊かさを広げます。」のもと、環境問題への積極的な取組みが企業活動の存続にかかわる必要条件として位置づけ、「6つの基本方針」を定めています。また、静岡銀行グループでは、環境マネジメントシステムのISO14001の認証を2002年に取得し、これを維持しています。

静岡銀行グループでは、環境マネジメントシステムに基づき、「環境目的」を定め、環境保全につながる具体的な施策に取り組むとともに、PDCAサイクルのなかで継続的に改善を図っています。また、「環境問題への取組指針」として3項目を定め、地球温暖化防止等に向けた各種施策の方向性と位置づけを明確にすることで、一層の取組み強化を図っています。

#### 【特徴】

環境目的・環境目標の設定、環境マネジメントシステムの継続的な改善についても、基本方針の中に定めています。

013-FY2018-02

### 金融業務を通じた環境への対応

#### 【原則2】

静岡銀行グループの総合金融機能を発揮し、お客様の環境保全の取組みをさまざまなかたちでサポートしています。

- ・環境格付融資や、環境格付私募債「ECOBON（エコボン）」、エコサポート・ビジネスローンを提供しています。
- ・グループ会社である静岡経営コンサルティング株式会社では、お客様への環境マネジメントシステム認証取得のサポートや、CO<sub>2</sub>排出量削減に関する「環境・温暖化コンサルティング」などのサービスを提供しています。
- ・預金利息を環境保全に取り組む団体などに寄付する定期預金のほか、環境配慮型企業への投資を対象とした投資信託などを取り扱っています。
- ・お客さまの地域貢献活動へのニーズに対応するとともに、地域の活性化を支援することを目的として、2016年10月より、地域貢献私募債「じもと愛」の取り扱いを開始しました。
- ・2018年4月より、従来からある『通帳を発行しない「Web 総合口座』と『インターネット支店専用口座「WebWallet』の2商品を「しずぎんECO 口座」と総称し、通帳の削減費用の一部を、NPO法人が運営する「富士山基金」に寄付する取り扱いを開始しました。これは紙の使用量削減にも寄与します。

#### 【特徴】

静岡銀行グループ環境問題への取組指針1「金融業務を通じた環境への対応」に基づく取組みです。

013-FY2018-03

### 「しずぎんエコアイデア・コンテスト」の実施

#### 【原則3】

静岡銀行では、環境面における地域貢献活動の一環として、環境問題の改善に向けたアイデアを募る第6回「しずぎんエコアイデア・コンテスト」を実施しました。一般公募で静岡県内の小学生からエコアイデアを募り、独創性に富んだ応募総数690作品の中から、最優秀賞1名、優秀賞10名、学校賞4校の選考を行い、2018年3月3日（土）に静岡銀行本部にて表彰式を開催しました。

---

**【特徴】**

CSRにおける地域貢献活動の一環として、2012年度（第1回目）～2017年度（第6回目）まで実施。2018年度以降も継続的に実施していく。

---

013-FY2018-04

---

**従業員の地域・家庭での環境への対応強化**

---

**【原則4】【原則7】**

静岡銀行グループでは、地球温暖化防止に関する意識調査の実施や、環境に関する情報発信を通じ、従業員の地域・家庭での環境問題への取り組みを強化しています。「小さな親切」運動に積極的に関わり、静岡銀行グループの多くの従業員（静岡銀行グループの会員のうち、2017年度の参加者数は3,752名）が活動に参加しており、「里山づくり（植樹・森林整備）」や「クリーン作戦」などの活動を展開しております。

また、公益信託「しずぎんふるさと環境保全基金」を通じて静岡県内で環境保全活動に取り組んでいる個人や団体などに助成金を支給しています。

---

**【特徴】**

静岡銀行グループ環境問題への取組指針3「従業員の地域・家庭での環境への対応強化」に基づく取組みです。

---

013-FY2018-05

---

**静岡銀行グループの環境負荷の低減**

---

**【原則5】**

静岡銀行グループでは、環境保全活動の一環として、地球温暖化防止に向けたCO<sub>2</sub>排出量の削減に取り組んでいます。具体的には、紙使用量の削減や、エネルギー使用量の削減（クールビズ&ウォームビズ）等を実施しています。

また、創立70周年記念事業の一環として、新たな本部棟「しずぎん本部タワー」を建設し、2016年3月にグランドオープンしました。しずぎん本部タワーは、「エネルギー効率の向上」「美しい都市景観」「地域との融和（森づくり）」等の環境配慮がなされており、CASBEE静岡の建築物環境配慮のSランク（最高評価）を取得し、次の4つの先進的な省エネ技術を導入しています。

- ① 高断熱化、日射遮蔽（断熱性の高いLow-e複層ガラスの採用。深い庇による日射遮蔽。）
- ② ハイブリッド空調（外気と室内の温湿度状態に応じて電動換気窓が開閉。）
- ③ タスク&アンビエント照明（作業面の明るさをタスクライトにより効率よく確保し、天井照明（アンビエント照明）の明るさを抑えて省エネを図る。）
- ④ LED照明

---

**【特徴】**

静岡銀行グループ環境問題への取組指針2「銀行グループの環境負荷の低減」に基づく取組みです。

---

## ■ 株式会社 滋賀銀行

014-FY2018-01

### <琵琶湖原則支援資金(PLB資金)>

#### 【原則2】

琵琶湖をはじめとする地球環境保全のために策定した「しがぎん琵琶湖原則 (PLB)」に賛同いただいたお客さまに対し、滋賀銀行独自の「PLB 格付 (環境格付)」を実施。環境保全に向けた取り組みに対するご融資<琵琶湖原則支援資金(PLB 資金)>ではその環境格付の取り組み度合いに応じて最大で金利を年0.5%引き下げさせていただきます。

#### 【琵琶湖原則支援資金 (PLB 資金) の流れ】

- ①しがぎん琵琶湖原則 (PLB) への賛同 ⇒ ②PLB 格付 (環境格付) の取得  
⇒ ③環境対応型融資商品「琵琶湖原則支援資金 (PLB 資金)」でご融資

#### 【特徴】

「持続可能な企業と地域社会」の実現に向け、地域と連携してお客さまの「環境経営」をサポートしています。

014-FY2018-02

### <エコプラス定期預金>

#### 【原則3】

お客さまが定期預金をお預入れいただくときに、ダイレクトチャネル (ATM・電話・インターネット) を利用されると、1回のお預入れごとに7円 (不要となる申し込み用紙相当額) を滋賀銀行が負担して積み立てます。その積み立てた金額を、滋賀県内の小・中学校へ「学校ビオトープ」づくりの資金として毎年拠出しています。2017年度からは、ニゴロブナ・ワタカ放流資金へ拠出しています。

#### 【近江商人の経営哲学「三方よし」の考え方で商品企画】

ご預金者は金利がプラス<預けてよし>、滋賀銀行は紙資源を削減<預かってよし>、小・中学校で「環境学習の場」である「学校ビオトープ」づくり、<世間、環境によし>

#### 【特徴】

これまで35の小・中学校に総額1,679万円を助成。「環境学習の実践の場」として活用いただき、子どもたちは生き物や植物の観察を通して多くのことを学ばれています。

014-FY2018-03

### <エコビジネスマッチングフェア>

#### 【原則4】

滋賀銀行の豊富なネットワークを活用し、お取引先の販路拡大、技術提携、共同開発等の新たな事業展開をお手伝いさせていただく「エコビジネスマッチングフェア」を2008年より毎年開催。

今後の新たな事業展開のサポートを目的として開催しています。

#### 【特徴】

2018年度は、SDGsをテーマに取り入れ、出展企業・来場者の皆さまとともに持続可能な開発について考える機会ともなりました。1,309名の来場があり、商談数は734件に上りました。

014-FY2018-04

### <カーボンニュートラル店舗>

#### 【原則4】

栗東支店が、最先端の省エネ設備を最大限活用し、CO<sub>2</sub> 排出量を実質ゼロとする「カーボンニュートラル店舗」として2015年6月にグランドオープンしました。

従来型店舗と比較すると、長寿命・省エネルギー性に優れたLED照明、太陽光を室内に取り込み照明として利用する「スカイライトチューブ」等により、34%（約30トン/年間）のCO<sub>2</sub>排出量削減が可能となりました。残りの66%分は324枚の太陽光パネルによる太陽光発電でまかない、実質CO<sub>2</sub>排出量ゼロとなります。

**【特徴】**

タスクアンビエント照明、LED照明、全熱交換機（CO<sub>2</sub>センサー付き）、自然風利用、雨水散水利用、電気自動車用充電スタンド、日除け庇、自然光利用、遮熱断熱防犯ガラス、太陽光発電など省エネルギー技術を活用。

014-FY2018-05

＜GAP 認証取得支援＞ ※GAP(農業生産工程管理): Good Agricultural Practice の略  
農業生産現場において、食品の安全確保などへ向けた適切な農業生産を実施するためのポイントを整理し、それを実施・記録する取り組み。

**【原則2】**

農業の発展による地域経済・産業振興を目指して、2017年4月、西日本旅客鉄道（株）ならびに（株）ファーム・アライアンス・マネジメントと業務協力に関する協定を締結。あわせて、GAPを事業性評価に活用した融資“本業支援サポートローン「GAP 認証者サポートプラン」”の取り扱いを近畿の地方銀行で初めて開始。これからも「金融」の役割を通じて、滋賀の豊かな恵みを生かすビジネスをこれからもサポートしてまいります。

**【特徴】**

取り組みを通じて、生産者へ販路開拓支援、国際認証取得支援を実施し、競争力のある農業ビジネスの創出を支援。取り扱い開始から GAP 認証者サポートプラン実行実績は4先。（2018年7月時点）

014-FY2018-06

＜ニュービジネスサポート資金(SDGsプラン)＞

**【原則2】**

2018年3月より、SDGs に貢献する事業を支援する、「ニュービジネスサポート資金（SDGs プラン）」の取り扱いを開始しました。これは、SDGs を活用し、アウトサイド・インの視点で新規事業に取り組みされるお取引先に向けて、資金繰りや設備投資をサポートする融資商品で、最大1億円を所定の金利から最大0.3%優遇して融資するものです。

**【特徴】**

取り組みを通じて、お取引先の「社会的課題解決を起点にビジネスを創出する」きっかけとなり、地域とお取引先の持続可能な発展につながることを目指しています。

## ■ 株式会社 清水銀行

015-FY2018-01

### 期間を拡大したクールビズの実施

#### 【原則5】

環境省より励行されている夏季の軽装（クールビズ）について、期間を拡大し、平成30年5月1日（火）～平成30年10月31日（水）（女性は平成30年5月21日（月）～平成30年10月12日（金））の間清水銀行全体で実施しております。

#### 【特徴】

本取り組みは地球温暖化防止と、従業員の環境に対する啓発に繋がると考えております。

015-FY2018-02

### しずおか未来の森サポーター活動の実施

#### 【原則7】

- ・平成22年6月16日、静岡県が企業の森づくりを支援する「しずおか未来の森サポーター制度」に基づき、静岡県及び静岡市と森作り協定を締結しました。
- ・活動の対象地域を三保松原とし、松林の保全や景観維持のために、植樹や下草刈り、周辺清掃等を展開しております。

#### 【特徴】

上記活動の一環として、毎年11月もしくは12月に内定者による植樹を実施しており、これまで植林したマツは、1,780本となりました。

015-FY2018-03

### 清掃活動への参加

#### 【原則7】

- ・静岡市の貴重な水源である2つの川の水質と自然環境を守るために実施されている興津川・安倍川クリーン作戦へ毎年多数の行員が参加しております。また、同様に富士山一斉清掃にも参加しております。

#### 【特徴】

上記活動は10年以上の継続した取り組みとなっており、平成30年度は9月に活動を実施いたしました。

## ■ 株式会社 きらぼし銀行

021-FY2018-01

環境に配慮した FG 本店ビルと、ロビーを活用した省CO<sub>2</sub> 意識の啓蒙活動(東京きらぼしフィナンシャルグループ本店ビル)

### 【原則1】【原則6】

東京きらぼし FG の本店ビル（平成 22 年 12 月竣工）は、屋上緑化や太陽光発電システム、外気を利用した空調換気システム等の環境技術を採用し、建築物総合環境性能評価システム「CASBEE」において、最高評価の S 評価を取得する等、CO<sub>2</sub> 排出量の削減に取り組んでおります。またこうした環境設備にあわせて、資金面におけるエコ優遇の実施等、金融業務を通じ環境保全の波及・普及を目指すビジネスモデルが評価され、国土交通省より「住宅・建築物省 CO<sub>2</sub> 推進モデル事業」として採択を受けております。

### 【特徴】

FG 本店ビルを環境保全のシンボルと位置付け、省 CO<sub>2</sub> 等を地域に波及・普及していく諸施策を講じております。また、本店のロビーに、導入された環境技術や CO<sub>2</sub> 減効果を紹介する「環境コミュニケーションパネル」を設置し、継続的な環境情報の提供や、お客さまの環境意識の醸成を図っております。

021-FY2018-02

環境負荷の軽減への取組み

### 【原則5】

- ・節電行動の実施  
クールビズ・ウォームビズ実施のほか、照明の消灯や OA 機器の電源 OFF 等の具体的な施策を通知し、銀行全体として節電に取り組んでおります。
- ・ATM の省電力化  
動作時・待機時ともにエコモードで稼働し、従来と比較し 40%の省電力化が図れる新型 ATM を一部の店舗で導入しております。
- ・環境にやさしい店舗づくり  
店舗の建替えや移転等に伴い、照明の LED 化（太陽光発電による蓄電池併用型）や自然光の取入れ等、環境にやさしい店舗づくりを推進しております。
- ・電動スクーターの導入  
CO<sub>2</sub> 削減の取組みの一環として、電動スクーターを一部の店舗で導入しております。

### 【特徴】

当行は、地球温暖化対策のための国民運動「COOL CHOICE」に賛同し、省 CO<sub>2</sub> への行動を日頃から心がけるよう行内に周知しております。

021-FY2018-03

環境配慮型新研修センター(「きらぼし銀行 多摩研修センター」)

### 【原則7】

- ・周囲の緑地に溶け込む建築とし、敷地内樹木等の保存に配慮しております。
- ・屋上緑化、自然換気、太陽光発電などを行い、積極的に環境に配慮しております。

### 【特徴】

同研修センター計画のコンセプトのひとつを「自然を生かす建築」として建設した研修センターとなっております。

---

021-FY2018-04

「環境社会検定試験(eco検定)」資格を行内評価制度ポイント対象科目に追加

**【原則7】**

環境意識の高まりに伴い、ビジネスと環境の相関を的確に説明する力が求められていることを踏まえ、「環境社会検定試験 (eco 検定)」資格を当行の単位認定制度のポイント対象科目としております。

**【特徴】**

企業の社会的責任 (CSR) 対応等を考慮し、行内評価制度ポイント対象科目に追加。本検定導入により、お客様への提案力の強化のほか、行内での環境マインド向上を目指しております。

---

021-FY2018-05

環境への配慮や災害時帰宅困難者の受入に対応した本店

**【原則3】【原則7】**

きらぼし銀行本店ビルは、バリアフリーに配慮しているほか、太陽光発電や雨水利用などの環境設備を有すると共に、震度 6 強の大地震にも機能を維持することができる基礎免震構造を採用しております。また、災害時に帰宅困難者を受け入れるため、200 人の方が 3 日間過ごすことができる飲料水・食料・簡易トイレ等の備蓄品を備えております。

**【特徴】**

災害への取組みとして、港区と「災害時における帰宅困難者等への支援に関する協定書」を締結しております。

---

## ■ 株式会社 武蔵野銀行

022-FY2018-01

### 持続可能な地域社会づくりへの本業を通じた貢献

#### 【原則2】原則4】

持続可能な地域社会づくりに貢献するため、2018年9月より「むさしのSDGs 私募債『みらいのちから』」の取扱いを開始しました。私募債を発行される企業さまから受け取る手数料の一部で、ご指定いただいた学校等への書籍・楽器・スポーツ用品等の寄贈や、SDGsの目標達成に向け取組むNPO法人への寄付を行っています。（むさしのSDGs 私募債は、より幅広い分野での地域社会への貢献を図るため、2016年8月より取扱いを行っている「むさしのCSR 私募債」の商品内容・名称等を改定したものです。）

022-FY2018-02

### 地域の課題解決に取り組むNPO法人の支援

#### 【原則2】【原則4】【原則7】

活気溢れる地域社会づくりに向け、高齢者福祉や子育て支援、まちづくりなど、地域の様々な課題解決に取り組むNPO法人を資金面から支援するため2014年7月より、「むさしのNPO サポートローン」のお取扱いを行っています。

022-FY2018-03

### 公益信託「武蔵野銀行みどりの基金」

#### 【原則3】

公益信託「武蔵野銀行みどりの基金」は、埼玉県内における自然環境保全及び創出に資する活動を行う個人又は団体の皆さまのご活動資金の一部を助成するものです。2018年度までに延べ259団体、総額約6,800万円の助成金を贈呈しております。

022-FY2018-04

### 文化・芸術・スポーツの振興

#### 【原則4】

① 地域の文化・芸術の振興に貢献するため、毎年「大宮薪能」に協力しているほか、子どもたちにプロの演奏する素晴らしい音楽に触れる機会を提供することを目的に、ヴァイオリニストの吉田恭子さんに協力いただき、2009年より、小学校の音楽室でのヴァイオリンコンサートを開催しています。（これまでに40校、3,200人を超える小学生がコンサートを観賞）

また、2018年より、地域の子どもたちの豊かな心を育むため、劇団四季と一般財団法人舞台芸術センターが主催する小学生招待事業「こころの劇場」埼玉公演を応援しています。

② 地域のスポーツ振興を願い、サッカーJリーグ「大宮アルディージャ」とトップパートナー契約を締結し、プレゼンツマッチを開催しているほか、子どもたちにサッカーを通じスポーツの楽しさを理解してもらえればと、大宮アルディージャのコーチの方々に協力いただき、地元小学生を無料で招待する「武蔵野銀行サッカー教室」を開催しています。

このほか、プロ野球「埼玉西武ライオンズ」を応援し、スペシャルマッチを開催しているほか、2018年10月よりスタートした卓球Tリーグの「TT彩たま」の金融機関パートナーも務めています。

③ 地元出身のアスリートの支援にも取り組んでおり、2018年4月、さいたま市出身のテコンドー選手を行員として採用しました。当行では選手が競技に専念できる環境づくりなどのサポートを行っています。

022-FY2018-05

### 環境に配慮した事務集中拠点の建設・燃料電池車の導入

#### 【原則5】

①「新事務センター」では、LED 照明の導入、地元環境及び生態系に配慮した施設の緑化を実施しています。特に緑化については、公益財団法人日本生態系協会の JHEP（ジェイヘップ：生物多様性を高める事業を評価する認証制度）の認証を金融機関としては初めて取得しています。

② トヨタ自動車の燃料電池車「MIRAI」2 台を、営業用車両として活用しています。

---

022-FY2018-06

---

#### 従業員への環境教育

---

##### 【原則7】

公益財団法人埼玉県生態系保護協会及び「あらかわ市民環境サポーター」の皆さんのご協力を得て、毎年、新入行員研修で荒川河川敷の「三ツ又沼ビオトープ」の外来植物駆除活動を行なっております。

---

022-FY2018-07

---

#### 企業内ボランティア組織「武蔵野ボランティアクラブ」による社会貢献

---

##### 【原則7】

企業内ボランティア組織「武蔵野ボランティアクラブ」には、500 名を超える役職員が登録しており、これまでに延べ400 名超が、環境保全、子ども向け金融教育、東日本大震災被災地での復興支援などの活動に参加しています。

---

022-FY2018-08

---

#### 「むさしのハーモニー株式会社」の設立

---

##### 【原則4】

障がいのある方の活躍の場の拡大を目的に、「むさしのハーモニー株式会社」を設立し、2017 年 6 月より事業を開始しました。2018 年 4 月には「特例子会社」の認定を受け、社員 5 名を雇用し事業拡大に向け取り組んでいます。

---

## ■ 株式会社 横浜銀行

023-FY2018-01

### 個人向け環境配慮ローンの取り扱い

#### 【原則2】

太陽光発電による安全・安心な低炭素社会の実現などをめざし、住宅へのソーラーパネルの普及を支援する「横浜銀行ソーラーローン」を取り扱っています。

023-FY2018-02

### 環境分野など今後成長が見込まれる分野への資金供給強化

#### 【原則2】

環境、エネルギーなどの今後成長が見込まれる分野で事業に取り組む企業に対し、「成長分野支援戦略ファンド〜輝き」や「成長支援ファンド」を取り扱っているほか、平成25年6月からは「〈はまぎん〉環境格付融資制度」の取り扱いも開始し、環境分野に取り組む企業を金融面で支援しています。

023-FY2018-03

### マイスマート通帳(Web専用の無通帳口座)によるペーパーレス活動と環境保全活動に取り組む団体への協力

#### 【原則3】【原則5】

紙の通帳を発行しない Web 専用の無通帳口座である「マイスマート通帳」をお客さまにご選択いただいた結果、削減できた紙資源購入費の一部で、神奈川県内の環境保全活動に取り組む団体へ寄附をおこないました。

023-FY2018-04

### 地域環境の美化活動

#### 【原則4】

各エリア、支店単位で、地域の海岸や河川の清掃活動に、行員やグループ社員がボランティアとして参加し、地域の方々と協力して取り組んでいます。

023-FY2018-05

### 営業活動エリアにおける都市緑化活動

#### 【原則4】

自治体と連携し、神奈川県内において、植樹・植栽などの緑化活動をおこなっています。

023-FY2018-06

### 環境負荷軽減に向けた、省エネ・省資源への取組み

#### 【原則5】

主要ビルによる電力・ガス、ガソリン、紙などの使用量削減に努め、数値の把握および当行ホームページなどにおいて情報開示をおこなっています。また、全部店においてクールビズ・ウォームビズを実施し、省エネ・省資源への取り組みを進めています。

023-FY2018-07

### 電気自動車の導入

#### 【原則5】

神奈川県電気自動車普及活動に賛同し、本店の営業用車両として日産自動車の電気自動車「リーフ」を導入しています。業務用車両の CO<sub>2</sub> 排出削減に努めるとともに、本店内に設置した充電設備をお客さまに無料で開放することで、県内における充電ネットワークの構築に協力しています。

---

023-FY2018-08

---

電子交付サービス等による紙資源削減の取り組み

【原則5】

インターネットバンキング（〈はまぎん〉マイダイレクト）において、封書やハガキで郵送している投資信託、預金、ローンの報告書類などを電子ファイルで交付する「電子交付サービス」や、紙の通帳を発行しない Web 専用の無通帳口座である「マイスマート通帳」を取り扱っており、紙資源の削減に努めています。

---

023-FY2018-09

---

ディスクロージャー誌、ホームページなどでの情報開示

【原則6】

ディスクロージャー誌、当行ホームページなどにおいて、当行のエネルギーや資源の使用量を開示しているほか、環境に関する取り組みについて紹介しています。

---

023-FY2018-10

---

行員の環境に対する意識の向上への取り組み

【原則7】

行内イントラネットにおいて、各部店における清掃活動や書き損じハガキの収集、ボランティア活動等の紹介をおこない、行員の環境に対する意識の向上に取り組んでいます。

---

## ■ 株式会社 山形銀行

028-FY2018-01

### 環境方針・環境行動指針の制定

#### 【原則1】

山形銀行では、2008年1月、環境保全活動に対する当行の基本的な考え方を明確化し、活動への動機づけを強化するため、県内金融機関としては初となる「環境方針および環境行動指針」を制定しております。

028-FY2018-02

### エコ関連商品のご提供

#### 【原則2】

山形銀行では、環境関連商品（環境格付、エコ私募債等）を取り扱っております。

028-FY2018-03

### やまがた絆の森プロジェクトへの参加

#### 【原則4】

山形銀行では、山形県創設の「やまがた絆の森プロジェクト」に参加し、協定を締結しております。山形県および県内の信用金庫と連携を図り、活動する森の名称を「ぐるっと花笠の森」として、県内4地域で植樹や下刈りなどの森林整備活動を行っております。

また、2010年度から「やまがた蔵王国定公園の森」の協定を山形県および、公益財団法人山形県林業公社と締結し、蔵王国定公園の間伐を実施しております。間伐により森林は日当たりが良くなり、より多くのCO<sub>2</sub>吸収効果が得られます。

#### 【特徴】

CO<sub>2</sub>森林吸収認証によるカーボンオフセットは東北初、「山形県CO<sub>2</sub>森林吸収量等評価認証制度」による認証は第1号となります。

028-FY2018-04

### エコキャップ推進運動、役職員のエコ活動実践

#### 【原則4】【原則5】【原則7】

ペットボトルキャップを収集し、そのリサイクルによる収益金で発展途上国の子どもたちにワクチンを提供する「エコキャップ推進運動」を、東北芸術工科大学と共同で2009年7月より実施しております。また、クールビズ・ウォームビズの実施や、全行早帰り日（やまぎんエコ5デー）の設定、紙使用枚数の削減など、役職員によるエコに対する取り組みを行っております。

#### 【特徴】

エコキャップ推進運動に賛同していただいた多くの学校・各団体、お客さまからご協力をいただき、運動開始から約9年間で約1億1千万個を超えるエコキャップが集まりました。

（2018年3月末までの実績：キャップ回収個数 112,238,438 個、ポリオワクチン 100,910 人分、CO<sub>2</sub>削減効果 822 トン）

**■ 株式会社 第三銀行**

029-FY2018-01

## さんぎん「熊野古道定期預金」の取扱い

## 【原則2】

「熊野古道定期預金」のお預け入れ実績に応じた寄付金を、平成17年から毎年実施しています。寄付金は東紀州地域振興公社を通じて、世界遺産である熊野古道の保全のため活用されています。お客様は「熊野古道定期預金」をお預け入れいただくことで、間接的に熊野古道の保全活動に参画していただけます。

「熊野古道定期預金」をお預け入れいただいたお客様と当行が一緒になって、熊野古道の保全に貢献させていただくことが「熊野古道定期預金」の趣旨です。平成17年度以降これまでに、1,403万円の寄付を実施しています。

029-FY2018-02

## 「キッズISO14000プログラム」の取組み

## 【原則3】

平成19年度より、地域の小学校での出前環境授業である「キッズISO14000プログラム」を取組んでいます。このプログラムを通じて、小学生のみならず家庭へも派生する環境意識の向上を図っています。平成19年度より、延べ1,090名の小学生に対し実施しています。

029-FY2018-03

## 企業の森への参画による森林保全活動

## 【原則3】

三重県の企業の森「針葉樹の森 元気回復」プランへ参加し、「さんぎんの森」づくりを実施しています。約5haの杉・ひのき林の間伐や管理を森林組合へ委託し、CO<sub>2</sub>吸収効果、自然災害の予防、水資源の保全効果等に貢献します。また職員や家族による間伐等の森林保全活動にも取組んでいます。

029-FY2018-04

## 電気自動車用の急速充電器の設置

## 【原則5】

低炭素社会実現に貢献できる電気自動車の普及を目的として、電気自動車用急速充電器を6支店に設置しました。365日24時間運用体制で、地域の利用者はもちろん、伊勢志摩を訪れる観光客に対しても、温室効果ガス排出削減への環境を提供しています。

029-FY2018-05

## 超小型電気自動車「コムス」の導入

## 【原則5】

地球温暖化対策への貢献のため、超小型電気自動車「コムス」を5台導入しました。「コムス」は、主に女性行員による個人向け営業担当者の営業車両として活用します。

## ■ 株式会社 伊予銀行

030-FY2018-01

### いよぎん環境クリーン資金

【原則1】【原則2】【原則3】【原則4】【原則5】【原則6】【原則7】

「いよぎん環境クリーン資金」として、環境保全に関する資金や、排出権（信託受益権を含む）取得資金、環境配慮への取組みについて第三者から認定・認証を受けているお客さまの一般の運転資金・設備資金などにご利用いただける商品を取り扱っています。

030-FY2018-02

### 伊予銀行エバーグリーンの森

【原則1】【原則2】【原則3】【原則4】【原則5】【原則6】【原則7】

愛媛県、大洲市、愛媛の森林基金との連携のもと「伊予銀行エバーグリーンの森」森林づくり活動協定を締結し、役職員および家族等による森林づくりのボランティア活動をしています。

030-FY2018-03

### 公益信託伊予銀行環境基金「エバーグリーン」

【原則1】【原則2】【原則3】【原則4】【原則5】【原則6】【原則7】

平成20年3月から、ふるさと愛媛で環境保護活動に取り組んでいるみなさまを支援しています。現在までに、128先に約47百万円の助成金を贈呈しています。

030-FY2018-04

### 「森のあるまちづくり」をすすめる会

【原則1】【原則2】【原則3】【原則4】【原則5】【原則6】【原則7】

愛媛県、松山市、地元企業のみなさまのご賛同をいただき、伊予銀行が中心となって『森のあるまちづくり』をすすめる会」を平成22年8月に発足しました。「森づくり」の第一人者である宮脇 昭氏（横浜国立大学名誉教授）のご指導を受け、遊休地などに土地本来の樹種を植え、緑豊かなまちづくりの活動を展開しています。現在68団体、植樹累計本数は約4万8千本です。

030-FY2018-05

### 環境配慮型企業向け私募債（無担保社債）

【原則1】【原則2】【原則3】【原則4】【原則5】【原則6】【原則7】

一定の財務基準を満たし、かつ環境配慮型経営を行っている優良企業が、その信用力を背景に発行する無担保社債です。一般の銀行保証付私募債より保証料を低く設定しています。

## ■ 株式会社 池田泉州銀行

031-FY2018-01

### 環境関連商品の取扱い

#### 【原則2】

池田泉州銀行では、地域の環境保全を応援する融資商品を取扱っています。

#### 【特徴】

地域の環境保全を応援する融資商品として、省エネ、節電、低公害車導入、汚水処理、CO<sub>2</sub>の削減、省エネ機器等環境負荷低減に寄与する製品の製造等、環境保全に向けた取組みや環境配慮型経営を実践される事業者を対象に「環境応援ローン」を取扱っています。なお、本ローンは、ISO14001、エコアクション21等の環境関連の認証を取得されている事業者に対する金利優遇制度を設けております。

031-FY2018-02

### 環境に配慮した店舗づくり

#### 【原則5】

池田泉州銀行では、節電や省エネに配慮した「節電対応型店舗」への切り替えを進めています。

#### 【特徴】

新設や移転店舗を中心に、屋上緑化をはじめ太陽光発電システム、電動バイクの導入を進め、地元の環境保全に配慮した店舗づくりに努めています。さらに、改装を機会に、LED照明機器を積極的に取り入れるなど、節電や省エネに配慮した設備を導入した「節電対応型店舗」への切り替えも進めています。

031-FY2018-03

### 自然環境保全活動に当行の行員と家族が参加

#### 【原則7】

池田泉州銀行では、緑を増やすことで地球温暖化を防止し、次世代の子供たちや動物に暮らしやすい環境を残すことを願って、「共生の森・草刈イベント」、「共生の森・植樹祭」に、毎年当行の行員とその家族がボランティアとして参加しています。

#### 【特徴】

「共生の森」は、大阪府やNPO、企業等の団体が協働で、堺市臨海部の廃棄物処分場跡地で森づくりを進めているもので、自然の回復力を活かしながら、野鳥や小動物が生息する大規模な“ビオトープ”を創造していこうという取組みです。

## ■ 株式会社 鹿児島銀行

032-FY2018-01

### 環境格付、融資、サポートによる環境配慮型経営に取り組む企業の支援

#### 【原則1】

- ・環境格付の付与
- ・環境格付付与先に対する「かぎん環境格付融資」の実施
- ・環境に関する各種支援制度（補助金制度等）の案内
- ・再生可能エネルギー事業における創業支援の実施
- ・再生可能エネルギー事業における、当行主幹事によるシンジケートローン等を通じた地域金融機関による金融支援の実施

#### 【特徴】

環境配慮型経営に取り組む企業を総合的にサポートしています。

032-FY2018-02

### 環境に配慮した商品・サービスの提供

#### 【原則2】

- ・屋久島ボランティア預金（利息の一部を（財）屋久島環境文化財団に対して寄付）
- ・太陽光発電ローン（太陽光発電を設置する住宅の新築・増改築に対する貸出）
- ・エコ住宅金利優遇制度（環境に配慮した住宅の新築・増改築に対して金利を優遇）
- ・教育ローンにおける金利優遇（環境関連学部学科進学資金に対して金利を優遇）

#### 【特徴】

預金やローン等の商品・サービスを開発・提供することにより、個人のお客様の環境に配慮した取組みを支援しています。

032-FY2018-03

### 環境に配慮した地域社会の活動に対する主体的な取組みを実施

#### 【原則3】

- ・「環境パートナーシップかごしま（エコパかごしま）」に委員として参加
- ・「九州森林の日植樹祭」での行員による植樹活動を実施
- ・「かごしま環境パートナーズ協定」を締結し、県有林の間伐を実施
- ・「かごしまエコファンド制度」によるCO<sub>2</sub>吸収量のクレジットを購入

#### 【特徴】

地域づくりのフィナンシャルリーダーとして、環境に配慮した地域社会の活動に対する主体的な取組みを実施しています。

032-FY2018-04

### 銀行業務運営における環境負荷の軽減

#### 【原則5】

- ・屋上緑化の実施
- ・太陽光発電の導入
- ・小型風力発電機の導入
- ・高効率化空調設備への更新
- ・天井照明のLED化
- ・電気自動車・ハイブリッド車の導入
- ・ペーパーリサイクル・蛍光灯リサイクルの実施
- ・グリーン購入・3R（リデュース、リユース、リサイクル）の実施
- ・節電の取組み（冷暖房運用管理の徹底、クールビズ、ウォームビズ等）の実施
- ・お客様に対する頒布品として環境に配慮した商品を採用

**【特徴】**

日常の銀行運営において環境負荷軽減を実施しています。

---

## ■ 株式会社 北陸銀行

033-FY2018-01

### 環境関連融資商品の推進について

#### 【原則1】【原則2】【原則3】

当行では、当行独自の基準により、企業の環境経営に対する取組み内容を評価し、その評価結果に応じて格付を付与し、格付に応じた金利引下げを行う「エコリード・マスター」（平成 21 年 11 月取扱開始）、「エコ私募債」（平成 22 年 6 月取扱開始）、「ほくぎんエコサポート北海道」（平成 23 年 7 月取扱開始）といった、環境関連融資商品を積極的に推進しています。

これからも、お取引先の環境に配慮した経営を促進するため、金融面からサポートしています。

#### 【特徴】

- ・「持続可能な社会の形成に寄与する企業」の発展に資する金融商品を提供しています。
- ・環境配慮型経営に取り組んでいる企業を正当に評価し、融資条件に反映させることで、積極的な資金供給による地域の活性化を図っています。

033-FY2018-02

### 再生可能エネルギー事業に対する取組み状況について

#### 【原則1】【原則2】【原則3】【原則4】

当行は、お取引先企業に対する目利き力を高め、お取引先により良いソリューションを提供できるよう「産業調査室」を設置しています。

産業調査室は、平成 24 年 7 月の固定価格買取制度の開始以降、「再生可能エネルギー事業」について知見の向上に努めており、地域のお取引先が同事業への参入を検討する際に、事業計画策定支援や計画の検証といった面で事業化を支援しています。

再生可能エネルギーは、環境配慮の面以外にも、過疎化が進展していく地方農村部における有力な収益源となり、持続可能な社会の形成に大きく寄与するものと考えています。

買取価格の低下など再生エネルギー普及を巡る国に施策は大きく変化していますが、当行では、引き続き再生エネルギー事業への支援を通して、環境への配慮はもとより、エネルギーの地産地消や地域内の収益還流による持続可能な地域社会の維持に貢献できるよう、取り組んでいきます。

#### 【特徴】

- ・「持続可能な社会の形成に寄与する企業」の発展に資する金融機関の知見を還元しています。
- ・地域の持続可能性を高める取組みに対するサポートをしています。

033-FY2018-03

### 美術館『ほくぎんギャラリー・ミレー』について

#### 【原則1】【原則4】【原則6】

平成 24 年 9 月、富山市の中心街「中央通り」に、美術館「HOKUGIN GARELIE MILLET（ほくぎん ギャラリー・ミレー）」を開館しました。

この美術館は、中心市街地活性化に貢献するための活動の一環として、当行が区分所有している高層ビルの 1 階部分および当行の所蔵美術品（フランス絵画の巨匠、ジャン＝フランソワ・ミレーの絵画 14 点をはじめとする 53 点のヨーロッパ絵画）を、ギャラリー・ミレー運営委員会※に無償貸与して展示しているもので、同委員会が当館の管理・運営を担っています。

ギャラリー・ミレー運営委員会では、より多くの方にご覧いただけるよう、入館料を 200 円とし、地元商業施設や富山市などとの連携による優待割引も実施しています。県内施設との連携やまちなかの回遊性を高めようと、「アートのみちめぐりパスポート」を販売するなど富山県の魅力を県内外に発信しております。また「夏休み★あつまれ！アートキッズ」と題した子ども向け鑑賞会の開催や課題に取り組む小中学生の受け入れ、加えて「スケッチを愉しむ大人の時間」といったイベントを通して、子どもたち教育の場、生涯学習の場としての活用にも注力しています。

また、北陸銀行では、同じく中央通りにある演芸ホール「てるてる亭」の運営にも協力するなど、中心市街地の活性化を芸術面から積極的にサポートしています。

※ ギャラリー・ミレー運営委員会は、当行の趣旨にご賛同いただき、全面協力をいただいている富山県、富山市、中央通商店街振興組合を中心に設立された非営利の任意団体です。

#### 【特徴】

- ・行政機関や商店街組合との協力により、公共性の高い施設の提供を行っています。
- ・芸術面から、中心市街地活性化に協力しています。

033-FY2018-04

#### 「桜満開プロジェクト」への参加について

#### 【原則1】【原則4】【原則6】

当行は桜ヶ池エコビレッジプロジェクト推進委員会※が開催する桜ヶ池エコビレッジ「桜満開プロジェクト」に参加しています。

本プロジェクトは富山県南砺市の桜ヶ池を桜の名所に再生させる取り組みであり、地域の皆さまとともに池周辺の清掃活動、及び桜の苗木の植樹活動を行っています。

※桜ヶ池エコビレッジプロジェクト推進委員会は南砺市エコビレッジ構想に賛同する南砺市・南砺市商工会・南砺市観光協会・一般企業などで構成されています。

#### 【特徴】

- ・経営理念「地域共栄」の実現に向け、地域の皆さまとともに CSR 活動に取り組んでいます。

033-FY2018-05

#### 「なんとの森づくり事業」への参加について

#### 【原則1】【原則4】【原則6】

当行は五箇山合掌造りの世界遺産登録 20 周年を機に富山県南砺市遊部自治会が推進を開始した「なんとの森づくり事業」に共同参加し、茅の植栽活動を行っています。

本事業は合掌造りの屋根に使う茅を植栽し、茅不足の改善を図ることを目的として実施されるものです。

#### 【特徴】

- ・経営理念「地域共栄」の実現に向け、地域の皆さまとともに CSR 活動に取り組んでいます

033-FY2018-06

#### 次世代型店舗の促進について

#### 【原則1】【原則5】

---

当行はお客さまの利便性と環境に配慮した店舗作りに取り組んでいます。営業店では点字ブロック、段差のない出入口、多目的トイレなどバリアフリーに配慮した設備の導入を進めているほか、近年新築した店舗では、輻射式空調の導入による空調の効率化および LED 照明の活用による省エネ化を実現しています。(本店内の照明は全て LED 化対応済み)

今後も多様なお客さまにも安心してご利用いただける、より良い店舗作りを促進していきます。

**【特徴】**

- ・様々なお客さまにご利用いただける、安心・便利な店舗作りに取り組んでいます。
- ・LED 照明、高効率機器の採用により使用電力量の低減を図っています。

---

033-FY2018-07

---

ペーパーレス化の推進について

**【原則1】【原則5】【原則7】**

---

当行はタブレット端末、ペーパーレス会議システム、電子決裁システムの導入を通じ、業務効率化を図ると共にペーパーレス化を推進しています。また全店で印刷物の印刷形式を「白黒・両面・2UP」に徹底しており、行員一人一人が意識的に印刷物の削減に取り組んでいます。

**【特徴】**

- ・印刷物削減により、環境負荷の軽減に積極的に取り組んでいます。
-

## ■ 株式会社 北海道銀行

035-FY2018-01

### 持続可能な社会形成に向けた環境商品・サービスの提供について

#### 【原則2】

##### ・道銀エコ私募債

ISO14001、エコアクション21、北海道環境マネジメントスタンダード等、環境にかかる公的認証を得ている企業および北海道銀行のISO14001取得支援サービスをお申し込みいただいている企業に対して、通常の私募債よりも発行条件を優遇し、環境配慮型企業を資金調達面から支援いたします。

##### ・環境に配慮したリフォームローンにおける金利優遇

ソーラーパネル設置や省エネ型ガスシステム設置など環境に配慮したリフォームの為のリフォームローンお申し込みに対して、基準金利より0.5%金利を引き下げる対応を行っています。

#### 【特徴】

北海道の法人・個人のお客さまに対して積極的に上記商品・サービスを提供しています。

035-FY2018-02

### 産学官連携による「道銀の森」での取り組みについて

#### 【原則4】【原則7】

##### ・産学官の連携事業として、2009年に「道銀の森」を設立。

産～北海道銀行

学～北海道大学の東名誉教授が考案した“カミネツコン”による植樹方式を採用

官～北海道の「水源の森づくり事業」のスキームを活用

##### ・実際の植樹には、「北ぐにの森づくりサークル」との協力を得て、毎年1ヘクタールの敷地にミズナラ・ヤチダモ・シラカバ・アカマツなど2,000本の植栽を行い、2013年の第5回植樹で10,000本を実現。

##### ・2014年以降は補植や下草刈りなどのメンテナンスを実施。

035-FY2018-03

### 省資源・省エネルギー等の環境負荷軽減に向けた取り組みについて

#### 【原則1】【原則5】【原則7】

環境負荷軽減の取り組みとして、二酸化炭素排出量目標を電気使用量削減目標に切り替えて取り組んでいます。具体的な実施事項は次のとおりです。

- ① クールビズ・ウォームビズの実施。
- ② 不要な照明の消灯および未使用PC・プリンタ・家電等の電源OFF。
- ③ 定時退社日を設定し、17時以降の電気使用量の削減を図る。
- ④ 極力エレベーターの利用を控えて階段を利用する。

ほしみ研修センターは「札幌市建築物環境配慮制度」CASBEE札幌Aクラスを獲得しております。また、NEDO（独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）との共同研究事業対象に採用されている太陽熱利用による給湯施設の設置により環境負荷の軽減に取り組んでいます。

035-FY2018-04

### 「環境理念」「環境行動指針」「環境キャラクター」による取り組みの情報開示について

#### 【原則1】【原則5】【原則6】

2008年8月に「環境理念」「環境行動指針」を策定して、社会の持続的可能性を高める北海道銀行の活動

のベースとしております。

・「環境理念」

地球人 北海道銀行～わたしたちは、地球から多くの恵みをもたらって生活しています。わたしたちには、笑顔あふれる未来のために、この恵みを次の世代へ引き継いでいく責任があります。北海道銀行は、地球人として、この責任を果たすべく、環境に配慮した活動を行います。

・「環境行動指針」

- ① 環境に関する法規を遵守し、環境に配慮した地域活動を行います。
- ② 役職員全体の環境保全に対する意識を高め、営業活動、日々の生活における環境負荷の軽減に努めます。
- ③ 地域社会に対し、環境保全、環境改善につながる金融商品・サービスの提案を行います。

・2009年2月に環境キャラクター「えころ Do」を策定しました。

わたしたちが住む北海道と地球をやさしく守ること、それを実践する活動をイメージして銀行内の公募により作成されました。

名称は環境を表す「エコロジー」とステップ Do など北海道銀行の各種商品・サービスに広く使用している Do (ドウ=やってみよう!) を組み合わせた造語です。

035-FY2018-05

役職員による社会貢献活動について

【原則3】【原則4】【原則7】

札幌大通公園などを含め、各本支店所在地において、役職員が地域のボランティア清掃等を実施しております。また、各市町村で実施される町内会行事や祭りへのボランティア参加を通じて、地域の皆さまとの交流を深めています。

035-FY2018-06

金融教育への取り組みについて

【原則1】【原則4】

- ① 夏休み期間中に小学生を対象にした金融教育イベント「夏休み 親子で銀行体験」を開催。お金と銀行に関する講義や1億円の重さを体感、お札を数える体験会の実施等により楽しくお金や銀行について知っていただきました。
- ② 高校生がクイズを楽しみながら金融・経済に関する知識を習得し、お金の関わり方やライフデザインを考えるきっかけとしてもらうことを目的に、毎年エコノミクス甲子園を開催しています。地元の金融機関とともに北海道地区予選大会および北海道大会の運営を行っています。

035-FY2018-07

障がい者・高齢者等に配慮したサービス向上について

【原則4】【原則1】

- ① 耳の不自由なお客様にも利用しやすいよう、「コミュニケーションボード」、「耳マーク表示板」を全支店に設置。また、目の不自由なお客様にも利用しやすいよう、「ホームページ読み上げサービス」を開始しました。
- ② 「認知症サポーター」を営業店に配置しています。

## ■ 株式会社 千葉銀行

039-FY2018-01

### お客さまによる環境に配慮した取組みの支援

#### 【原則1】【原則2】【原則3】【原則5】

- ・環境に関連した融資商品の拡充  
環境に配慮した経営を実践している事業者を支援すべく、2012年、環境格付融資制度（ちばぎんエコ・ステップ）を創設しました。また、発電事業参入に向けた、太陽光発電事業支援融資制度（ちばぎんエコ・パワー）も取扱っています。
- ・本業をつうじた環境への貢献  
再生可能エネルギーの活用に取り組むお客さまを広く支援しており、2017年12月にバイオマス発電事業に対するプロジェクトファイナンスを組成するなど、取組みを強化しています。

039-FY2018-02

### 温暖化対策への取組み

#### 【原則1】【原則5】【原則7】

店舗等への太陽光発電システムや風力発電設備の設置、屋上緑化、燃料電池自動車や電気自動車の導入、LED電飾ポスターケースの導入、クールビズ・節電ビズの実施、ライトダウンキャンペーンへの参加等の取組みを実施しています。

039-FY2018-03

### グループ役職員一丸となった、CSR活動への積極的な取組み

#### 【原則1】【原則6】【原則7】

- ・グループCSR活動方針に基づくCSR活動の推進  
千葉銀行グループは、地域とともに歩む地方銀行グループとして、本業等をつうじて全てのステークホルダーの皆さまからの期待にお応えするとともに、持続可能な地域社会の実現に貢献できるよう「グループCSR活動方針」を掲げ、グループ役職員一丸となってCSRに取り組んでいます。社会貢献の分野においては、「ひと」「環境」「産業」の「未来を育む」をキーワードとした各種活動を展開しています。
- ・CSR活動に関する情報開示  
ディスコロッジャー誌での紹介やCSR活動に関する専用ホームページの設置など、様々な媒体を活用して、CSR活動等に関する積極的な情報開示に努めています。

039-FY2018-04

### 美化活動

#### 【原則3】【原則4】【原則7】

- ・県内における美化活動  
県内各地の海岸や公園、店舗周辺等で、定期的に役職員・OBのボランティアによる清掃活動を行っています。また、2009年3月より、千葉県の主導する印旛沼再生のためのアダプト制度（印旛沼連携プログラム）の一環として、印旛沼の水質保全活動（印旛沼クリーンウォーク）に参加しています。

039-FY2018-05

### 緑化活動

#### 【原則3】【原則4】【原則7】

- ・「ちばぎんの森」森林整備活動  
千葉県内にて、「ちばぎんの森」森林整備活動（育樹活動）を積極的に行っています。2003年より活動を開始し、富津市鬼泪山にて二カ所の整備を行い、2010年からは、松くい虫の被害や東日本大震災の津

波の影響により、失われつつある海岸保安林の再生に取り組んでいます。

津波発生時の減災効果向上や景観整備による観光振興等への期待を込め、2010年より長生郡白子町にて、2012年からは山武市蓮沼にて「ちばぎんの森」の森林整備活動を実施しました。

2018年5月からは、五カ所目となる「ちばぎんの森」森林整備活動を山武市蓮沼にて開始し、当行役員・OB等のボランティアにより、5,000本のクロマツ・トベラ・マサキを植樹しました。植樹後は定期的の下草刈り等の育樹活動を継続してまいります。

---

## ■ 株式会社 秋田銀行

040-FY2018-01

### 〈あきぎん〉森づくり活動

#### 【原則3】【原則6】【原則7】

由利本荘市の水林地区海岸林は、松くい虫の被害地であったことから、その再生のため平成 21 年と 22 年にクロマツの苗木 2,700 本を植樹し、以降は苗木の生育を補助するための下刈りおよび枝打ち活動を継続して行っております。今では大きいもので 4 メートルを超えるまでに成長しております。

040-FY2018-02

### カーボン・オフセット

#### 【原則5】

大館北秋田森林組合が発行する秋田県産 J-VER クレジットの購入を皮切りに、八峰町、秋田市および大館市がそれぞれ発行する J-VER クレジットも購入しました。

このクレジットにより、お客様にご利用いただいている現金封筒や、当行が秋田市・大館市に寄贈している市民封筒の作成の過程で発生する CO<sub>2</sub> とオフセット（相殺）しています。

#### 【特徴】

この取り組みが、お客様の環境問題に対する意識向上に少しでも役に立つよう、作成した封筒には、J-VER クレジットによるカーボン・オフセット封筒である旨の表示をしております。

040-FY2018-03

### 〈あきぎんエコ宣言〉

#### 【原則7】

環境問題への取組方針として制定した「あきぎんエコ宣言」に基づき、省エネルギーへの取組み、地球温暖化防止に向けた活動を積極的に進めております。

#### 《あきぎんエコ宣言》

- ① 室内の温度設定をこれまで同様夏季 28°C、冬季 20°C に設定するとともに、クールビズ、ウォームビズにも取り組みます。
- ② シュレッダー車の活用により、紙資源のリサイクルに努めるほか、両面印刷の励行など紙の使用枚数削減に努めます。
- ③ エコ定期など環境保全に役立つ商品ラインナップの拡充に努めるほか、贈答品についてもエコ対応商品の導入に努めます。
- ④ 低燃費車の導入を順次進めるとともに、アイドリングストップにも努めます。
- ⑤ 照明器具および待機電力の利用削減に努めます。
- ⑥ 松枯れ再生などの森林育成に積極的に取り組みます。

## ■ 株式会社 八十二銀行

041-FY2018-01

環境問題を CSR(企業の社会的責任)の根幹と位置づけ積極的かつ継続的な環境改善を通じて持続可能な地域社会の形成に寄与している。

### 【原則1】

八十二銀行グループは、環境保全活動を CSR《企業の社会的責任》の根幹と位置づけ、積極的かつ継続的な環境改善をつうじて持続可能な地域社会の形成に寄与します。当行は地方銀行としての役割を十分認識し、ご融資等の本来業務を通じお客さまや地域の皆様の環境改善に資する活動を使命と考え、「エコロジーバンク 82」を標榜し、役職員一丸となって活動を展開しています。

2018年8月、環境省が創設した「エコ・ファースト制度」において、「エコ・ファースト企業」の認定を受けました。当行の認定により認定企業は、全国で45社、銀行業界で2社となりました。なお、長野県内の企業では初めての認定となります。

当行の「エコ・ファースト約束」が銀行業界トップの活動内容であると環境大臣より評価されたものです。(統合報告書「八十二銀行の現況」内環境報告書 p46 参照)

041-FY2018-02

銀行業の特性を生かし、本来業務を通じてお客さまの支援とリレーションシップ向上に努め、地域社会の環境改善に寄与する活動を展開している

### 【原則2】

八十二銀行は、「銀行本来業務による環境保全活動」への取組みとして、銀行業の特性を生かし、本来業務(融資、情報収集・提供、EB等の機能サービス、ISOコンサルティング業務等)を通じてお客さま支援とリレーションシップ向上に努め、地域社会の環境改善に寄与する活動を展開しています。環境保全への取組みをご支援する主な商品として、環境配慮企業向け私募債(信州エコ・ボンド「山紫水明」)や、低公害車・環境配慮型住宅購入資金への金利割引、環境格付に応じた金利割引等を実施しています。2018年8月にエコカー減税対象車を購入されたお客さま向けの「マイカーローン(エコメリット)」を「マイカーローン(エコ型)」へ名称変更しました。合わせて、マイカーローン(エコ型)初年度の平均残高の0.1%を行政・民間が連携し地球温暖化防止活動を推進する「長野県環境保全協会」へ当行が寄付する仕組みへリニューアルしました。寄付金は長野県内のCO<sub>2</sub>排出削減、地球温暖化防止に役立てられます。

また、環境配慮型金融商品・サービスを通じた二酸化炭素排出量削減寄与量を集計し、CSR報告書において開示しています。

(統合報告書「八十二銀行の現況」内環境報告書 p47「3つの柱1：銀行本来業務による環境保全活動」参照)

041-FY2018-03

地域社会の一員として、主体的に環境ボランティア、環境教育、啓蒙活動を実施し、地域の環境改善と意識向上を図っている。

### 【原則3】【原則4】

八十二銀行は、地域社会の一員として、主体的に環境ボランティア、環境教育、啓蒙活動を実施し、地域の環境改善と意識向上を図っています。例えば、「地域貢献と環境教育の充実」への取組みとして、「生物多様性保全」への取組み、環境ボランティア活動の取組み、Kids' ISO(キッズ・アイエスオー：子どものための環境教育プログラム)の実施、環境コミュニケーションなどを推進しています。

生物多様性保全に関しては、2011年6月に「生物多様性保全基本姿勢」を制定し公表しています。

(統合報告書「八十二銀行の現況」内環境報告書 p49「3つの柱3：地域貢献と環境教育の充実」参照)

### 【特徴】

- ・当行は職員の子弟向けにも「Kids'ISO」を実施しております。2017年度は、「入門編」が12名、初級編は1名の子どもたちが実施しました。
- ・29年度は、「環境ボランティア活動」に、延べ4126名の役職員が参加しました。
- ・当行の従業員などに対する環境教育が評価され、「環境人づくり企業大賞2016」で優秀賞を受賞しました。

041-FY2018-04

「ふるさとの森林(もり)を守る活動」の実施

【原則4】【原則7】

- 「ふるさとの森林(もり)を守る活動」を積極的に展開
  1. 長野県が推進する「森林(もり)の里親事業」に基づき、長野県内5団体と『八十二の森』森林(もり)の里親契約を結び、役職員が森林整備活動に取り組んでいます。(21年より)
    - ・29年度、7回の活動で延べ683名の役職員が参加しました
  2. 年間各人1回環境ボランティア参加運動を実施(21年より)各行政が主催する環境ボランティアの参加者を通報で募集を行い、積極的な参加を推進しています。
    - ・29年度は環境ボランティアに延べ4,126名の役職員が参加しました。
  3. 戸隠森林植物園内にある「戸隠森林学習館」のネーミングライツを取得(24年7月1日より)戸隠森林植物園内にある森林学習館のネーミングライツ(命名権)を取得し、森林学習館の名称を「八十二森のまなびや～ecologyBank82 戸隠森林館～」としました。森林学習館の取組みは、当行の目指す環境教育や生物多様性保全の考え方に合致し、地域貢献活動の一環として取得に至りました。
  4. 生物多様性保全に資するボランティアの実施
 

生物多様性保全活動の一環で、特定外来生物アレチウリの駆除活動に参加しました。

    - ・29年度は、長野県内7ヶ所で計11回アレチウリの駆除活動を行い、役職員延べ223名が参加しました。

【特徴】

- ・豊かな自然環境に恵まれた長野県に基盤を置く当行は、環境に配慮し、自然環境と共存しながら地域社会とともに発展することを目的に、従前より環境問題への取組みを進めています。長野県は県土の8割が森林で占めており、緑の社会資本として様々な恩恵を享受しています。しかし、林業従事者の減少等により自然の荒廃がすすんでいます。当行の「ふるさとの森林(もり)」である長野県の森林を守る活動を積極的に展開し、持続可能な地域の形成に寄与しています。
- ・上記の活動が評価され、平成25年1月、長野県ふるさとの森林づくり賞森林環境教育の部で「長野県知事賞」を受賞しました。

041-FY2018-05

社会の持続可能性を高める活動が経営の重要な課題ととらえ、取組みの情報開示を実施

【原則5】

八十二銀行は、社会の持続可能性を高める活動が経営の重要な課題ととらえ、取組みの情報開示を実施しております。CSR報告書における「環境報告」において、取組みを開示するとともに、環境保全活動による実績データを「環境会計」として報告しています。また、26年度より、スコープⅢの算定を行い、サプライチェーンを含めた温室効果ガス排出量の把握を行っております。また、29年度CDP気候変動におきましては、「B(マネジメント)」の評価を受けました。  
(統合報告書「八十二銀行の現況」内環境報告書 p49 参照)

【特徴】

当行では、2004年度より環境会計を銀行界で初めて導入し、環境保全活動のコストと、それによる経済効果及び環境保全効果を定量的に把握しております。この結果を公表し、当行の環境保全活動について一層皆様にご理解いただくとともに、永続的かつ効果的な環境保全活動を展開していくための資料としております。

041-FY2018-06

環境に影響を与える可能性のある設備の管理強化などにより汚染予防に取り組んでいるほか、職員一人ひとりが

---

行内はもちろん各家庭においても、省エネ・省資源活動に地道に取り組んでいる

---

**【原則5】【原則7】**

八十二銀行は、行用車へのハイブリッドカー導入や、環境に影響を与える可能性のある設備の管理強化などにより汚染予防に取り組んでいるほか、職員一人ひとりが行内はもちろん各家庭においても、省エネ・省資源活動に地道に取り組んでいます。

具体的な取組みとして、エコ通勤（マイカー通勤原則禁止）の取組み、クールビズ・ウォームビズの実施、環境配慮設備の導入、グリーン購入などを推進しており、社内における環境活動の一層の促進をはかるため、2004年度より「エコロジー大賞」を実施し、環境活動を積極的かつ模範的に推進した部店を社内表彰しております。

また、平成28～29年度には、営業店105店舗のロビー・ATMコーナーの照明をLED化し、大幅な省エネルギーを実現しました。

（統合報告書「八十二銀行の現況」内環境報告書p48「3つの柱2：自らの環境負荷低減活動」参照）

**【特徴】**

- ・当行グループ12社が、「国土交通大臣表彰（平成22年交通関係環境保全優良事業者等大臣表彰）」を受賞いたしました。これは、環境保全活動に積極的に取り組み、顕著な功績のある者を表彰する制度で、エコ通勤と環境保全全般に対する取組み姿勢が評価されました。同賞受賞は金融界では初めてのことであり、当行にとっては2005年（平成17年）の環境大臣賞受賞以来、2度目の大臣賞受賞となりました。
  - ・24年10月には、長野県より「循環型社会形成推進功労者知事表彰」を受賞しました。これは、溶解システムの構築などの先駆的な活動及び長期的かつ地道な環境保全活動が、地域の循環型社会形成のために貢献していると評価されたものです。
-

## ■ 株式会社 東北銀行

042-FY2018-01

### 「とうぎんの森」づくり活動の実施

#### 【原則1】【原則7】

東北銀行では、県内金融機関で初めて、岩手県の「企業の森づくり」制度を利用し、「とうぎんの森」づくり活動を実施しています。これまで、計 14 回、当行役職員とその家族、町役場の職員など延べ 985 名が参加、草刈りや丸太の搬出、植栽など森林整備活動を行っています。

#### 【特徴】

本活動により岩手県から CO<sub>2</sub> 吸収量の認定を 2 度受けています。

042-FY2018-02

### 環境関連商品の取扱い

#### 【原則2】

東北銀行では、平成 22 年 5 月より、「とうぎんエコ・ローン」を取扱いしています。

事業者の環境への取組状況を当行独自の「環境格付」によりスコアリング評価し、格付に応じて金利の引下げを行うことで環境保全に積極的な事業者を支援、育成しています。

#### 【特徴】

銀行の本来業務を通じて、環境保全に取り組んでいます。

042-FY2018-03

### カーボン・オフセットの取組み

#### 【原則4】

平成 29 年度中に当行で作成した印刷物や協賛したイベント等に関し、カーボン・オフセットを実施しました。オフセットした CO<sub>2</sub> 排出量は、20 t 相当になります。この取組みは平成 24 年度から行っており、当行の自助努力で CO<sub>2</sub> の削減が困難な作成物等について、可能な範囲で CO<sub>2</sub> 排出量を計算し、J-クレジットとオフセットしています。

## ■ 株式会社 第四銀行

045-FY2018-01

### カーボン・オフセットへの取組み

#### 【原則1】【原則2】【原則3】【原則4】【原則6】

- ① 「使えば使うほど、環境へ貢献できるATM」をコンセプトとして、ATMのご利用1件につき20gのCO<sub>2</sub>を、新潟県内のクレジット※1でカーボン・オフセットする「グリーンATM」に取り組んでいます。
- ② 新潟県カーボン・オフセット※1制度のさらなる活用・促進を図るため、新潟県と「新潟県カーボン・オフセット制度 コーディネーターに関する協定」を締結しています。あわせてカーボン・オフセットクレジットを有する森林事業者等と「新潟県カーボン・オフセット制度 コーディネーターにおける紹介業務に関する契約」を締結し、当行は「コーディネーター」として、地球温暖化対策などに取り組むお客さまに対して、クレジットの売買・活用を紹介しています。

#### ※1「新潟県のクレジット」

新潟県の森林を整備することで増加する「CO<sub>2</sub>の吸収量」をクレジット（温室効果ガス排出削減・吸収量）として県が認証したもので、企業が排出するCO<sub>2</sub>と相殺（オフセット）し、環境活動等への活用が可能。

#### 【特徴】

- ・ 取組み状況については、随時ホームページで開示をしております。

045-FY2018-02

### 環境配慮型商品・サービスの展開

#### 【原則2】

環境に配慮した商品・サービスを展開しており、主なものは以下の通りです。

- ・ 環境格付け融資制度や環境配慮型私募債を通じた資金調達サポート
- ・ 「エコアクション 21」認証取得のための支援プログラム
- ・ 太陽光発電普及促進に向けた専用ローン
- ・ 信託報酬の一部を公益財団法人尾瀬保護財団へ寄付する投資信託「自然環境保護ファンド尾瀬紀行」など

#### 【特徴】

- ・ コンサルティング推進部に環境分野の専担者を配置

045-FY2018-03

### 環境保全活動の実践

#### 【原則4】【原則7】

- ① 森林整備活動「だいの森づくり」  
地域の緑豊かな森を未来へつないでいくため、森林保全活動に取り組んでいます。  
2009年度より活動している新潟県東蒲原郡阿賀町の「だいの森」に加え、2017年度より新潟県胎内市の荒井浜森林公園において植栽活動を行っています。
- ② 不要小型家電回収  
希少金属の有効活用による環境負荷軽減を目的として、不要小型家電の回収を行っています。

#### 【特徴】

- ① 「だいの森づくり」は新潟県が実施する「森づくりサポート事業」を活用
- ② 回収した不要小型家電は、新潟県内の社会福祉施設に送られ、障がい者の就労支援の一環として、希少金属を取り出す作業に使用される

## ■ 株式会社 福島銀行

046-FY2018-01

### 「公益信託福島銀行ふるさと自然環境基金」による助成活動

#### 【原則3】【原則4】

福島県における自然環境保全を図り、自然と人間の調和の取れた社会づくりに資することを目的に、平成4年に「公益信託福島銀行ふるさと自然環境基金」を設立しました。

自然環境の保存及び活用に関する実践活動・普及啓発・調査研究に取り組む団体に対し助成を行っております。

#### 【特徴】

平成29年11月に「福島県耶麻郡猪苗代町立翁島小学校」、「喜多方自然史研究」、「NPO法人自然と人間の共生プロジェクト」、「夏井川流域住民による川づくり連絡会」の4団体に対し助成を行いました。設立からの累計で、66団体に対して総額1,522万円を助成しております。

046-FY2018-02

### 尾瀬環境保護活動

#### 【原則2】【原則3】【原則4】【原則6】【原則7】

国立公園尾瀬の自然保護のための活動に取り組んでおります。

店頭・街頭での募金活動や、お客様をお連れした尾瀬のツアーを開催し、お客様へ尾瀬の魅力や自然環境保護活動を紹介し、啓蒙活動に取り組んでいます。

また、社員のボランティア活動として尾瀬の「ゴミ持ち帰り啓蒙活動」に参加するなど、積極的に自然保護活動に取り組んでおります。

また、店頭・街頭での募金活動を社員60名、県内4カ所で実施し、10万円の浄財が集まりました。

046-FY2018-03

### CO<sub>2</sub>削減

#### 【原則5】【原則7】

夏季エアコン設定28℃、冬季暖房設定20℃として、節電および使用燃料の削減を行っております。また、店内照明器具のLED器具への切替や全店にゴーヤの種を配布し、「緑のカーテン」運動を推進しております。営業車両についてはエコカーへの入替を進めております。

## ■ 株式会社 千葉興業銀行

047-FY2018-01

「エコ(eco)でやさしい店づくり」

### 【原則1】【原則3】

新店舗を「エコ (eco) でやさしい店づくり」をテーマに、「お客さまにやさしい」「地球にやさしい」「環境にやさしい」の3つのコンセプトに基づいて建設しました。ハイブリッド街路灯、カーボンオフセット認証カーペットや床材の使用、国内初の調湿建材として登録認定されている壁材等を導入しております。

### 【特徴】

環境に配慮した店舗づくりの取組みです。

047-FY2018-02

「千葉県下一斉ゴミゼロ運動」と「国道をきれいにする会」への継続参加

### 【原則1】【原則7】

春の「県下一斉ゴミゼロ運動」に、行員・スタッフおよびその家族約1,000名がボランティア参加しております。また、国道14号・357号沿線の11企業・団体が組織される「国道をきれいにする会」に参加し、毎月沿道の清掃を実施しております。

### 【特徴】

環境整備活動への取組みです。

047-FY2018-03

住宅ローン・コスモス環境ローン(ウィズガス住宅ローン・オール電化住宅ローン)

### 【原則2】

千葉興業銀行では、地球に優しい住宅の建設・購入をお考えの方向けに、コスモス環境(エコ)ローンを提供し、金利を割引きしています。

- ・ウィズガス住宅ローン  
ご融資対象者：家庭用ガスコージェネレーションシステム等(「エコウィル」)を設置される方。
- ・オール電化住宅ローン  
ご融資対象者：東京電力(株)の電気料金メニュー「電化上手」(季節別時間帯別電灯)を契約し、全電化住宅割引が適用される方。

047-FY2018-04

「ちば興銀の森」森林整備活動

### 【原則3】【原則4】【原則7】

松喰い虫等の影響で壊滅状態にある千葉県九十九里海岸の海岸保安林再生を目指し、「ちば興銀の森」活動(匝瑳市新堀海岸)に取り組んでおります。平成30年度は4月に新入行員100名によるクロマツ・マサキ・トベラ合計1,000本の植栽と、10月にボランティア79名による草刈等の森林整備活動を実施しました。

047-FY2018-05

「環境リスク調査融資促進利子補給事業」の指定金融機関に採択

### 【原則2】

環境省が実施する「環境リスク調査融資促進利子補給事業」において、補助金執行団体より指定金融機関の採択を受けました。再生可能エネルギーの普及を目的として、要件に合致する設備投資を行う事業者へ対象融資の利子補給金が国から交付されます。

## ■ 株式会社 京葉銀行

048-FY2018-01

### Pay-easy利用で環境保全をサポートする「エコプロジェクト」

#### 【原則4】

「Pay-easy（ペイジー）収納サービス」を利用して税金・各種料金をお支払い頂いた場合、納付1件につき5円を、当行が「ちば環境再生基金」に寄付致します。

①当行ATM、②インターネットバンキング、③モバイルバンキングの3つのお取扱いチャネルを利用して、お支払い頂けます。また、12月末日を基準として1年間における金額を算出し、翌年3月までに寄付を行い、その状況を当行ホームページにて公表しています。

#### 【特徴】

お客さまと協働して環境保全に取り組んでおります。

048-FY2018-02

### 千葉大学と協同した「千葉大学×京葉銀 eco プロジェクト」への取り組み

#### 【原則3】【原則4】【原則5】【原則6】【原則7】

地域活性と環境に貢献するため、千葉大学と京葉銀行が協同して eco プロジェクトに取り組んでいます。千葉大学環境 ISO 学生委員会のメンバーを中心として、下記のような様々な環境活動を行っています。

#### ① 学生委員会の環境活動支援

国内外の環境系シンポジウムや大会等で、千葉大学の学生による先進的な環境への取り組みの発信を支援するなど、京葉銀行が持つ知見やノウハウを生かし、学生を支援しています。

#### ② 学生による「エコアクション 21」取得コンサルティング

京葉銀行が取引先企業を紹介し、学生が企業に対して行う「エコアクション 21（環境マネジメントシステムの認証）」取得コンサルティングや環境レポート作成補助を通じて、県内企業の「エコアクション 21」の取得を促進しています。

#### ③ 学生発案のユニークな環境貢献企画

地域の方々や、京葉銀行の関係者に対して、環境意識の啓発につながるイベント等を行っています。学生がコンテンツを作成、イベントを運営し、京葉銀行は個々の企画の開催段取りを行い、学生に環境教育や実務教育の機会を提供しています。

#### 【特徴】

地域の大学と協同し、環境活動促進を含めたさまざまな付加価値の提供に努めています。

## ■ 株式会社 大光銀行

049-FY2018-01

### 環境に配慮した商品の取扱い

#### 【原則3】

- ・たいこう環境融資「エコライナー」  
環境保護・環境保全に積極的に取り組む企業・事業主の皆さまを支援するため、当行所定の金利から一定の金利を引下げする環境融資の取扱いを行っております。
- ・たいこう環境対策支援私募債  
環境保護・環境保全に積極的に取り組む企業の皆さまを支援するため、環境配慮型企業の皆さまが発行する私募債の事務委託取扱手数料率・保証料率の引下げを実施しております。
- ・住宅ローン  
環境対策設備を設置している住宅の場合、当行所定の金利から一定の金利引下げを実施しております。
- ・マイカーローン  
エコカー（グリーン税制対象車、ハイブリット車、天然ガス車、電気自動車等）を購入される場合、当行所定の金利から一定の金利引下げを実施しております。

(<http://www.taikobank.jp/company/eco/index.php>)

049-FY2018-02

### 環境保護への取組み

#### 【原則3】【原則5】

- ・エネルギー使用料削減への取組み  
地球温暖化防止への取組みとして、室内温度の設定やクールビズを実施しております。また、電力使用量の削減などエネルギー使用量の削減に努めております。
- ・環境に配慮した店舗新築  
店舗を新築する際は、建築素材に再生材や間伐材を極力採用し、省エネタイプの照明機器や空調設備の導入を行っております。また、机やイスなども再生材やリサイクルのための分別設計・材料表示されたものの購入など環境に配慮した店舗づくりを行っております。
- ・ペーパーレス化の促進  
紙の使用量を削減する取組みとして、行内文書のペーパーレス化を促進しております。
- ・資源の再利用  
紙資源の再利用を目的として、名刺やお客さまへお配りする手帳に再生紙を使用し、粗品についても順次、エコマーク付のティッシュなど環境に配慮した商品を積極的に採用しております。また、行内で使用するパソコンのプリンタートナーのリサイクル化を実施しております。
- ・エコカーの導入  
CO<sub>2</sub>排出量を削減する取組みとして、社用車にハイブリッドカーを順次導入しております。

(<http://www.taikobank.jp/company/eco/index.php>)

## ■ 株式会社 阿波銀行

050-FY2018-01

### あわぎんECOプロジェクトの実施

#### 【原則1】

2008年から「あわぎんECOプロジェクト」をスタートさせ、CO<sub>2</sub>削減に向けた各種施策を展開しています。具体的には、環境保護に向けた各種金融商品の取扱いや、エコカー・電気自動車の導入、クールビズ・ウォームビズおよび全行ライトダウン運動の実施など、お客さまと職員が身近に取組める活動を多岐にわたり実施しています。

#### 【特徴】

改正省エネ法に対応し、定量的にCO<sub>2</sub>を計測しています。

050-FY2018-02

### 環境保護に寄与する商品の取扱い

#### 【原則1】【原則2】

金融機能を通じて、お客さまの環境保護に向けた取組みを応援しています。

#### ■ 「あわぎんエコ・ローン」

環境保全への取組みを行うお客さまに、CO<sub>2</sub>排出削減にかかる設備資金、公害防止施設の設備資金、ISO 認証取得のための資金等をご融資する際に通常より金利を引下げ、環境保全への取組みを促進します。

#### ■ 「あわぎんソーラーローン」

太陽光発電や家庭用蓄電池の設備を導入するお客さまにご利用いただけるローン商品です。家庭への太陽光発電および蓄電池設備の設置を促進し、省エネルギー化に貢献します。

050-FY2018-03

### 森づくり活動および過疎化がすすむ農山漁村の支援活動の実施

#### 【原則4】

2009年に徳島県と締結した「とくしま協働の森づくり事業」パートナーシップ協定に基づき森林保護につながる寄付を実施したほか、職員ボランティアによる「あわぎんの森」森づくりボランティア活動を継続的に実施しています。

また、2011年から過疎化が進む農山漁村の支援を目的とした「とくしま農山漁村（ふるさと）応援し隊」事業に参画し、ボランティアによる農作業等の支援を通じて、過疎地域を守り森林保護につながる活動を展開しています。

050-FY2018-04

### アドプト・プログラム吉野川「うちの土手」清掃ボランティア活動の継続実施

#### 【原則4】

平成11年7月から、アドプト・プログラム吉野川の主旨に賛同しアドプト契約を締結しています。吉野川大橋から西へ600メートルの南岸を「うちの土手」（「うち」とは徳島弁で「わたし」の意味）と命名し、年3回の清掃ボランティア活動を継続的に実施しています。毎年約600名の職員および家族が参加しています。

また、平成15年8月には、県西部の5店舗がアドプト契約を締結。四国一の清流で知られる吉野川支流の穴吹川河口周辺を「分家うちの土手」と命名し、年2回の清掃活動を継続的に実施しています。毎年約180名の職員および家族が参加しています。

**■ 株式会社 中国銀行**

052-FY2018-01

## 環境配慮型店舗の導入

## 【原則1】

「人と地球環境に優しい店舗づくり」をコンセプトに環境配慮型店舗を順次導入しております。環境配慮型店舗では、営業室・ロビーの照明に全面的にLEDを使用するなど環境整備の導入により、総使用電力量を削減することが可能となり、CO<sub>2</sub>排出量の削減効果も見込まれます。

052-FY2018-02

## ちゅうぎん環境配慮型融資

## 【原則2】

中国銀行では、環境に配慮した経営を行う事業者をサポートするため、ちゅうぎん環境配慮型融資を提供しています。当行所定の「環境格付チェック表」による評価を行い、「環境格付」が一定以上の事業者の方が対象になります。また、当行所定の「環境格付」に応じて最大年0.2%の金利引下げ制度があります。

052-FY2018-03

## 再生可能エネルギー発電融資案件の取組

## 【原則2】

中国銀行では、お取引先が実施する再生可能エネルギー発電事業（メガソーラー、バイオマス発電等）に対して、プロジェクトファイナンス、ABL（アセットベースドレンディング）の取組み等によりファイナンスを実施しています。中国銀行では今後とも再生可能エネルギー発電事業への支援体制強化を通じて地域活性化に努めていきます。

※メガソーラーとは、1メガワット（1,000キロワット）を超える大規模太陽光発電施設のことです。

※バイオマス発電とは、生物を由来とする再生可能な有機物資源（バイオマス）を用いて発電することです。

052-FY2018-04

## エコ私募債の取組み

## 【原則2】

当行では、環境に配慮した経営をおこなう事業者をサポートするため、「エコ私募債」の取扱いをおこなっております。「エコ私募債」は、「ISO 14001」認証取得企業や「エコアクション21」認証・登録企業、当行所定の「環境格付チェック表」による評価で「環境格付」が一定以上の企業などを対象とし、一定の発行条件を優遇する制度です。

052-FY2018-05

## CSRへの取組みについて

## 【原則3】

当行では、CSR活動にあたって、ステークホルダー（利害関係者）を現在および将来の「お客さま」「株主のみなさま」「地域社会」「従業員」などと幅広くとらえ、頭取を委員長とするCSR委員会を設置しております。

CSRの土台・中核として、コンプライアンスの徹底と適切なコーポレートガバナンスにより企業の誠実性を堅持し、「良き企業市民」として行動します。

社会貢献活動では、地域金融機関として本業を通じた地域貢献を第一義とし、本業を超えた幅広い社会貢献活動についても力を注ぎます。

このような活動を通じ、地域社会とともに発展してまいりたいと考えております。

052-FY2018-06

## 「ちゅうぎんの森」事業の取組み

---

**【原則4】**

中国銀行では、平成20年度から平成29年度まで「ちゅうぎんの森」整備事業として、岡山県真庭市の風倒木被害地への整備事業を行っていましたが、新たに平成30年度から期間5年間の新たな整備計画を策定し、森林の多面化機能（表面侵食防止・水質浄化・二酸化炭素吸収など）の回復・維持に取り組んでまいります。

- ・活動の対象とする森林：岡山県真庭市黒田地内（愛称「ちゅうぎんの森」）
- ・整備面積：16 ha
- ・平成30年3月30日真庭市と覚書締結。活動期間5年間

---

052-FY2018-07

---

**太陽光発電設置**

**【原則5】**

中国銀行創立80周年記念事業の一環として、本店ビル（本店西側4階屋上）に太陽光発電を導入致しました。平成29年度の年間発電量は13,925 kWh/年、年間CO<sub>2</sub>削減量換算（試算）で9トンとなります。

---

052-FY2018-08

---

**経済産業省および環境省が行う利子補給金事業の指定金融機関に採択**

**【原則5】**

経済産業省資源エネルギー庁が行う「省エネルギー設備投資にかかる利子補給金事業」の指定金融機関に採択されました。これにより国の予算の範囲内で、トップランナー機器の導入等省エネに効果のある設備を導入する際の借入金に対し利子補給制度の利用が可能となります。

また、環境省が行う「環境リスク調査融資促進利子補給事業」の指定金融機関に採択されました。これにより国の予算の範囲内で、環境影響に配慮した発電設備等を導入する際の借入金に対し利子補給制度の利用が可能となります。

---

**株式会社 筑波銀行**

053-FY2018-01

## オフィス環境による負荷削減、全従業員による環境保全の取り組み

## 【原則1】【原則4】【原則5】

筑波銀行では環境負荷軽減の取り組みとして、冷暖房の温度調節、クールビズ・ウォームビズを実施するほか、新築店舗への太陽光発電システムの導入や紙使用量（コピー用紙）の削減等を行っています。また環境保全に配慮した行動への取り組みとして、茨城エコ事業所に登録、テレマティクスサービス導入によるエコドライブの実践、車両更新時の低公害車の導入等を行っています。さらに「日本の森を守る地方銀行有志の会」を通じた活動に参加し、「筑波銀行あゆみの森」および「筑波銀行の森」における植樹活動等も実施しています。

053-FY2018-02

## 当行の業務運営による地域環境改善への貢献

## 【原則2】【原則3】

筑波銀行では、当行の業務運営による地域環境改善への貢献に向けた取り組みとして、エコ商品の充実を図っています。取扱い商品には、エコ住宅の住宅ローン、エコリビングローン（エコリフォーム向け）、ECOローン（個人事業者・法人向け設備資金）、エコカー向け資金等があります。その他にもつくば農家ローン「豊穰」では、エコファーマー認定者および認定農業者への貸出には1.0%以内の金利引下げ、太陽光発電、エコキュート、エコウィル、氷蓄熱システム、エコカー等の設備資金には0.5%以内の金利割引を実施しています。

053-FY2018-03

## 社会貢献活動

## 【原則7】

筑波銀行では、社会貢献活動の理念と方針を定め、それに基づく活動を展開しています。文化芸術分野では、つくば本部ビルに併設したギャラリーの貸出しや定期的な企画展の開催、社会福祉分野では公益信託「筑波銀行愛の社会福祉基金」を通じた助成活動、教育分野では茨城大学、産業能率大学、土浦第一高等学校との連携協定に基づく活動をはじめ、公益信託「筑波銀行記念奨学基金」を通じた奨学金の贈呈のほか、エコノミクス甲子園茨城大会や茨城県学童軟式野球大会を開催しています。

東日本大震災以降、『あゆみ』プロジェクトとして、JTBの協力を得ながら、「るるぶ」を9市町・8誌発行しており、累計発行部数は120万部を突破するなど観光振興にも積極的に取り組んでいます。

また、2011年に筑波ボランティアクラブを発足し、つくばマラソン、かすみがうらマラソン兼国際盲人マラソン、「霞ヶ浦・北浦地域清掃大作戦」や地域で開催されるイベントへの参加など、役職員一丸となったボランティア活動を展開しています。

## ■ 株式会社 山口銀行

054-FY2018-01

### 空き家対策ローン

#### 【原則2】

山口銀行は、個人のお客さま（所定の要件を満たす方）を対象として、空き家の解体から活用まで支援するため、空き家対策ローンを提供しています。

資金使途は、空き家解体費用、空き家購入およびリノベーション費用です。

054-FY2018-02

### UJIターン者向け住宅ローン

#### 【原則2】

山口銀行は、個人もしくは個人事業主のお客さま（所定の要件を満たす方）を対象として、山口県内に移住される方の「住」の不安に対応するため、UJIターン者向け住宅ローンを提供しています。

資金使途は、居住用不動産の取得・増改築・改修資金、およびこれに係る付帯工事費、諸費用です。

054-FY2018-03

### エコローン

#### 【原則2】

山口銀行は、個人のお客さま（所定の条件を満たし、山口県の認定を受けられる方）を対象として、エコローンを提供しています。

資金使途は、エコカー（低公害車購入資金）およびエコリフォーム（住宅用太陽光発電システム整備資金、省エネ設備設置資金、屋上緑化・壁面緑化・保水性舗装・駐車場緑化・高反射舗装整備資金）です。

054-FY2018-04

### 環境格付融資

#### 【原則2】【原則3】

山口銀行は、環境への取組強化の一環として、「環境格付融資制度」の取扱いを実施しています。

本制度は、環境に配慮した事業者に対し、山口フィナンシャルグループ独自の環境格付を行い、その評価結果に応じて金利を優遇するものです。

054-FY2018-05

### やまぎんメガソーラー発電所

#### 【原則5】

山口銀行はメガソーラー発電事業を展開するオリックス株式会社との合意により、当行グループ会社が所有する遊休不動産を活用して、大規模太陽光発電所「やまぎんメガソーラー発電所」を建設しました。本件はオリックス株式会社が山口県で手がける初のメガソーラー事業となります。

054-FY2018-06

### 森林整備活動「未来へつなげよう『やまぎんの森』」

#### 【原則7】

山口県の「やまぐち森林づくりビジョン」、「森林整備等 CO<sub>2</sub> 削減認証制度」に基づき、山口県及び森林所有者様のご協力の下、森林整備活動を「未来へつなげよう『やまぎんの森』」と命名し、役職員が実際の整備活動に従事する取組を展開しています。

なお、「未来」には子供たち次世代に対する思い、また「つなげよう」には継続的に取り組んでいくという決意を込めています。

**【特徴】**

地域に根ざす金融機関として地域の豊かな自然環境を次世代へ引き継いでいくこと、また CO<sub>2</sub> 削減による地球温暖化対策の一助となることを目的として取り組むものです。

054-FY2018-07

竹バイオマス発電事業に係るプロジェクトファイナンス取組

**【原則2】【原則5】**

山口県は全国第4位の竹林面積を有し、従前より伐採・廃棄等の課題を抱えており、竹林の有効活用を模索していました。現在、竹材を主な燃料原料とするバイオマス発電が計画されており、山陽小野田市において発電所建設が進んでいます。山口銀行は、本事業にプロジェクトファイナンスによる融資対応を予定しており、平成31年度中の商業運転開始を計画しています。

054-FY2018-08

長門支店内装の木質化

**【原則3】【原則7】**

山口銀行長門支店のATMコーナー壁面、ハイカウンターロビー側壁面、記帳台を地元長門市の森林間伐材を使用した内装としました。

**【特徴】**

長門市は地元産木材（間伐材）の活用について行政をあげて奨励しており、公的木造建造物にはなるべく県産木材を活用している。長門支店の木質化は環境に配慮した経営姿勢であること、また地元と足並みを揃えた取り組みとして、多くのメディアに取り上げられました。

054-FY2018-09

地元県産木材の間伐材を活用した販促用ノベルティの採用

**【原則3】【原則7】**

開店感謝月間用のノベルティに、地元県産木材の間伐材を活用したコースターとマグネットバーを採用（YMFGグループ3行で共通の採用）。

**【特徴】**

材料はグループの主要地盤である、福岡県・山口県・広島県の森林間伐材を活用し、加工は東日本大震災の被災地となった福島県で行った。そのメッセージはノベルティに同封したメッセージカードに記載しました。

## ■ 株式会社 もみじ銀行

055-FY2018-01

### 環境格付融資

#### 【原則2】【原則3】

もみじ銀行は、環境への取組強化の一環として、「環境格付融資制度」の取扱いを実施しています。  
本制度は、環境に配慮した事業者に対し、山口フィナンシャルグループ独自の環境格付を行い、その評価結果に応じて金利を優遇するものです。

055-FY2018-02

### 森林保全活動「もみじ銀行の森」

#### 【原則7】

広島県と「森林保全・管理協定」を締結し、「ひろしまの<sup>もり</sup>森づくりフォーラム」に参画することによって、地元広島県の保有する森林において除伐および育林活動を実施することで、環境保全に貢献するとともに、地域の発展に寄与する取組みを行っています。

平成23年4月に第1回を実施し、毎年3~4回、行員とその家族が参加し保全活動を行っています。

055-FY2018-03

### 空き家対策ローン

#### 【原則2】

もみじ銀行は、個人のお客さま（所定の要件を満たす方）を対象として、空き家の解体から活用まで支援するため、空き家対策ローンを提供しています。

資金使途は、空き家解体費用、空き家購入およびリノベーション費用です。

055-FY2018-04

### UJI ターン者向け住宅ローン

#### 【原則2】

もみじ銀行は、個人もしくは個人事業主のお客さま（所定の要件を満たす方）を対象として、広島県内に移住される方の「住」の不安に対応するため、UJI ターン者向け住宅ローンを提供しています。

資金使途は、居住用不動産の取得・増改築・改修資金、およびこれに係る付帯工事費、諸費用です。

055-FY2018-05

### 地元県産木材の間伐材を活用した販促用ノベルティの採用

#### 【原則3】【原則7】

開店感謝月間用のノベルティに、地元県産木材の間伐材を活用したコースターとマグネットバーを採用（YMFG グループ3行で共通の採用）。

#### 【特徴】

材料はグループの主要地盤である、福岡県・山口県・広島県の森林間伐材を活用し、加工は東日本大震災の被災地となった福島県で行った。そのメッセージはノベルティに同封したメッセージカードに記載しました。

## ■ 株式会社 北九州銀行

057-FY2018-01

### 北九州市主催「ひまわり BIG リコンテスト in SCHOOL」への共催

#### 【原則1】

北九州市の小中学生等を対象として、北九州市の花である「ひまわり」を種から育ててもらうことにより、郷土愛の醸成や緑の普及・啓発を図ること等を目的として、「ひまわり BIG リコンテスト in SCHOOL」を北九州市と共催した。コンテストでは「ひまわり」の直径・背丈を競うほかに、当行では生徒の取組みや熱意を考慮して「特別賞」を提供している。

#### 【特徴】

地方公共団体と連携した地域に根ざした活動であり、また次代を担う小中学生等を対象とした環境への取り組みである。

057-FY2018-02

### 環境格付融資

#### 【原則2】【原則3】

北九州銀行は、環境への取組強化の一環として、「環境格付融資制度」の取扱いを実施しています。本制度は、環境に配慮した事業者に対し、山口フィナンシャルグループ独自の環境格付を行い、その評価結果に応じて金利を優遇するものです。

057-FY2018-03

### 空き家対策ローン

#### 【原則2】

北九州銀行は、個人のお客さま（所定の要件を満たす方）を対象として、空き家の解体から活用まで支援するため、空き家対策ローンを提供しています。

資金用途は、空き家解体費用、空き家購入およびリノベーション費用です。

057-FY2018-04

### UJI ターン者向け住宅ローン

#### 【原則2】

北九州銀行は、個人もしくは個人事業主のお客さま（所定の要件を満たす方）を対象として、福岡県内に移住される方の「住」の不安に対応するため、UJI ターン者向け住宅ローンを提供しています。

資金用途は、居住用不動産の取得・増改築・改修資金、およびこれに係る付帯工事費、諸費用です。

057-FY2018-05

### 地元県産木材の間伐材を活用した販促用ノベルティの採用

#### 【原則3】【原則7】

開店感謝月間用のノベルティに、地元県産木材の間伐材を活用したコースターとマグネットバーを採用（YMFG グループ 3 行で共通の採用）。

#### 【特徴】

材料はグループの主要地盤である、福岡県・山口県・広島県の森林間伐材を活用し、加工は東日本大震災の被災地となった福島県で行った。そのメッセージはノベルティに同封したメッセージカードに記載しました。

## ■ 株式会社 東邦銀行

059-FY2018-01

### 環境配慮型金融商品の提供

#### 【原則2】【原則5】

収受した信託報酬の一部を公益財団法人尾瀬保護財団に寄付する投資信託「尾瀬紀行」を取り扱っております。

また、ESG や SDGs に対する社会的関心が高まっていることを受け、お客さま、とりわけ法人事業者の社会的ニーズに応えるため、今年度より「ESG/SDGs 貢献型融資・応援型私募債」を創設しました。

#### 【特徴】

環境配慮型商品の提供を通じ、お客さまの環境に配慮した取組みを応援しております。

059-FY2018-02

### 森や水の大切さを教える小学生向け特別授業の実施

#### 【原則4】

シドニーオリンピック競泳日本代表の萩原智子氏や森林セラピストの小野なぎさ氏を講師に招き、田村市立大越小学校において、“水”を生む森の大切さを教える授業と“水”の恩恵で行える水泳教室を開催いたしました。自然の大切さを教えると同時に郷土愛を育むことができ、また、オリンピックによる水泳指導は子どもたちの素晴らしい思い出となりました。

#### 【特徴】

本活動は、福島県内の教育・スポーツ支援、また田村市との包括連携協定の一環として開催いたしました。

059-FY2018-03

### 「とうほう・みんなの森づくり」による植林活動の実施

#### 【原則4】【原則7】

当行は2009年から、福島県が推進する「企業の森林（もり）づくり」活動に参画し、須賀川市、喜多方市、北塩原村、いわき市において植林活動を実施しております。

昨年度からは、東日本大震災において甚大な津波被害を受けた地域の海岸防災林再生を目的に、クロマツの苗の植樹活動を行っており、南相馬市、相馬市で実施しております。

「とうほう・みんなの森づくり」は今年で11回目の開催を迎え、これまで当行役職員とその家族、OBなど延べ3,000人以上が参加し、約3,350本を植樹しております。

#### 【特徴】

本活動により2010年から8年にわたり福島県から二酸化炭素吸収量の認証を得ております。

059-FY2018-04

### 環境に配慮した店舗づくり

#### 【原則5】

店舗の新築や建替えには太陽光発電システムを搭載し、グリーンカーテンやLED照明を導入するなど省エネルギーに努めております。

#### 【特徴】

ハード面以外にも店舗内の温度設定や照明の減灯による省電力にも併せて取り組んでおります。

059-FY2018-05

### 地球温暖化防止のための「福島議定書」事業への参加

#### 【原則5】【原則6】【原則7】

省エネルギー対策として、働き方（クールビズ、ノー残業デーの推進）や環境配慮（エコキャップ収集、エコカーの導入）へ組織的に取り組み、電気使用量の減少、CO<sub>2</sub>排出量削減に努めました。

**【特徴】**

CO<sub>2</sub>排出量削減に向け、具体的な数値目標（前年度比削減2%）を掲げ取り組んでおります。

---

## ■ 株式会社 トマト銀行

060-FY2018-01

### 環境方針の作成・公表

#### 【原則1】

2009年7月に環境方針を制定し、環境保全に対する当社の基本的な考え方を明確化しました。同年9月に環境方針に基づき、環境目標を設定し、環境方針とともに公表しています。

060-FY2018-02

### トマト環境格付け融資の取組

#### 【原則2】

2009年8月に、企業の環境保全についての取組を14項目で評価し、評点の合計点が高いものから順にS、A、Bの3段階に格付けし、S格、A格の企業に対しては金利優遇を行う融資制度を創設し、取組んでいます。

060-FY2018-03

### トマト・エコ私募債の取組み

#### 【原則2】

2010年3月に、ISO 14001の認証等を受けて継続的に環境保全に取り組んでいる企業、当社環境格付けがA格以上の企業または、環境保全を目的とした設備の導入を実施する企業に対し、私募債発行時の引き受手数料を優遇する商品を開発し取組んでいます。

060-FY2018-04

### トマトECO定期預金の取扱い

#### 【原則2】

キャンペーン期間中、インターネットバンキング、ATM等ペーパーレスのチャンネルで受入れる定期預金に対し利率を優遇し、預り総額の一定割合を社団法人岡山県緑化推進協会に寄付することを通じ、環境保全の重要性をPRしています。

060-FY2018-05

### カーボンオフセットの取組み

#### 【原則4】

本年10月に開催された「トマト6時間リレーマラソン」において、岡山市が創出したクレジットを購入してカーボンオフセットに取組み、参加者に地球温暖化防止と環境保全の大切さをアピールしました。(平成26年度以降5年連続実施)

060-FY2018-06

### オフィスにおける環境保全活動の取組

#### 【原則5】

環境目標に「オフィスにおける環境保全活動」を位置づけ、電力、紙の使用料削減と廃棄物の減量・リサイクルの促進につき数値目標を設定して取組んでいます。

060-FY2018-07

### 店舗への省エネ・新エネ機器の導入

#### 【原則5】

既存店の空調設備を順次省エネタイプに更新するとともに、照明のLED化を進めています。また、設置可能な店舗の屋上に太陽光発電設備を設置し、新エネルギーの普及に努めています。

---

060-FY2018-08

---

環境保全活動状況の公表

---

【原則7】

環境目標の達成状況につき、毎年モニタリングを実施し、その結果をホームページ上に公表しています。

---

060-FY2018-09

---

日常的な活動における環境配慮の取組み

---

【原則7】

毎年、全社的にクールビズ、ウォームビズ、ライトダウンキャンペーン、旭川流域の清掃活動等に取り組み、職員の環境に対する意識の向上に努めています

---

## ■ 株式会社 岩手銀行

061-FY2018-01

県内各市町村との地方創生の連携に関する協定の締結および民間事業者との地方創生の取組みに関する包括協定の締結

### 【原則1】【原則4】

- ・各市町村が進める地方創生の取組みに協力することを目的として、平成27年12月～29年4月にかけて県内27市町村と連携協定を締結した（30年9月末現在、締結先合計27市町村）。今後、各市町村が掲げる取組みに対して具体的な協力・連携を進めていくこととしている。
- ・また、地方創生の取組みを強化することを目的として、東京海上日動火災保険（株）、三井住友海上火災保険（株）と地方創生の取組みに関する包括協定を締結した。

061-FY2018-02

県内3金融機関「大規模災害等発生時における連携・相互支援に関する協定」の締結

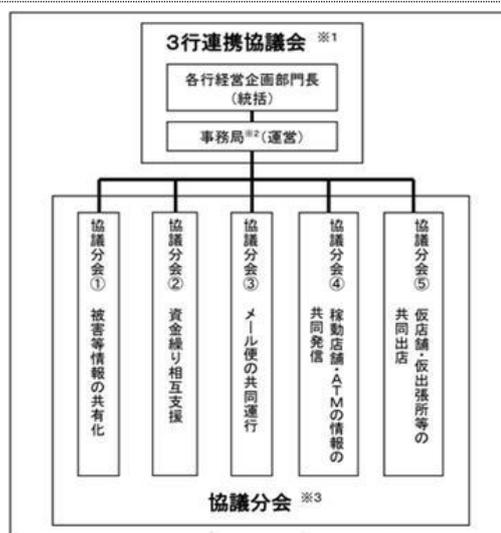
### 【原則1】【原則3】【原則6】

岩手銀行、東北銀行、北日本銀行の3行は、大規模災害などの発生時に業務継続に向けて連携し相互に支援していく対応策を協議・検討するため、「大規模災害等発生時における連携・相互支援に関する協定」（以下、「災害時3行連携協定」）を締結することいたしました。

この「災害時3行連携協定」は、東日本大震災発生時に「メール便の共同運行」や「仮出張所などの共同出店」など3行が実際に連携して業務継続対応を行った経験を踏まえ、今後も大規模災害等が発生した場合には、連携して業務継続に向けた活動を相互に支援することで、地域の金融機能の中心的役割を担う地方銀行の社会的責任を全うしていくこととするものです。

この「協定」に基づいて、大規模災害などの発生時には「3行連携協議会」（統括事務局：岩手銀行総合企画部）を立ち上げ、業務継続対応策を迅速に協議・検討することとしており、具体的には「被害状況等の情報の共有化」「資金繰りの相互支援」「メール便の共同運行」「稼働する店舗・ATM情報の共同発信」「仮店舗・仮出張所の共同出店」などの事項について協議することを予め定めています（体系図は右図参照）。

こうした連携・相互支援の仕組みは、平成25年3月12日に実施された3行共同による緊急時対応訓練「ストリートワイド訓練（※4）」の総括の中から組成されております。



連携の体系図



■ 3行連携協議会



■ 協議分室

【参考】ストリートワイド訓練（H25.3.12）の様子  
協議分会①「被害情報等の情報の共有化」を兼務

- (※1) 各行の経営企画部門次席者で構成
- (※2) 各協議分会は各行の所管部門長と担当で構成
- (※3) 各企業が自らの策定している業務継続計画 (BCP:Business Continuity Plan) の実行性を確認するため、複数の企業または組織をまたいだ形で行う訓練。海外では広く使われている訓練手法

**【特徴】**

当行は、東日本大震災の教訓を風化させることなく、今後も「金融機能・サービスを最大限維持させる」という地域金融機関としての社会的責任を全うしてまいります。

061-FY2018-03

**岩手銀行、青森銀行、秋田銀行の3行による「大規模災害発生時における相互支援協定」の締結**

**【原則1】【原則3】【原則6】**

岩手銀行（頭取 田口 幸雄）、青森銀行（頭取 浜谷 哲）、秋田銀行（頭取 湊屋 隆夫）の三行は、大規模災害発生時において、当該災害により被災した参加行の金融機能の維持または早期復旧を相互に支援してため、「大規模災害発生時における相互支援協定」（以下、「三行相互支援協定」）を締結することといたしましたので、お知らせいたします。

「三行相互支援協定」は、大規模災害等が発生した場合に、北東北三県に本拠地を置く三行が相互に支援することで、地域の金融機能の中心的役割を担う地方銀行の社会的責任を全うしていかうとするものです。

この協定に基づいて、大規模災害などの発生時には「応急対策および復旧活動等に必要の要員の派遣」や「車両、通信機器等の貸与」、「仮店舗等の施設の提供」や「飲料水、食料品、生活支援物資等の提供」などを相互に支援することとなります。

なお、当行、青森銀行、秋田銀行の北東北三行は、平成12年にATM相互開放（AAIネット）を行っているほか、平成15年には北東北三行共同ビジネスネット（Netbix）を立ち上げ、三行の支店網を活かした法人顧客ニーズのマッチングなどに取り組んでいます。

当行は、東日本大震災の教訓を風化させることなく、今後も「金融機能・サービスを最大限維持させる」という地域金融機関としての社会的責任を全うしてまいります。

061-FY2018-04

**NTTデータ「地銀共同センター」参加行とNTTデータによる「大規模災害発生時における相互支援協定」の締結**

**【原則1】【原則3】【原則6】**

株式会社岩手銀行（頭取 田口幸雄）は、2015年5月20日、NTTデータ地銀共同センター（以下、「地銀共同センター」）の参加13行および地銀共同センターを運営する株式会社NTTデータと「大規模災害発生時における相互支援協定」を締結しましたのでお知らせいたします。

今回締結した協定に基づき、大規模災害発生時においても各参加行がお客さまに安定した金融サービスを提供できるよう、業務運用面およびシステム運用面の2つの側面から、被災銀行の金融機能の維持そして早期復旧に向けた支援に相互に協力してまいります。

**1. 協定の概要**

(1) 本協定は、大規模災害等が発生した場合に、広域にわたる地銀共同センター参加行のネットワークを活かし、支援物資の提供などの支援を行うことで、地域金融機関の社会的責任を全うする目的で協定するものです。

(2) 主な支援内容は以下の通りです。

- ① 支援物資の提供 食料、飲料水、生活必需品など
- ② 施設の提供 被災行員の受入れができる避難場所や宿泊施設など
- ③ 業務支援 業務継続に必要な資器材（ATM、端末、PC等）の提供など
- ④ 情報連携 被害状況等の情報共有、行員の安否確認の支援など
- ⑤ その他必要な支援

(3) 参加行間で相互支援を行うに当たり、被災した参加行を円滑に支援できるよう、NTTデータグループの全国拠点網を活かし、株式会社NTTデータが参加行の被災状況を一元的に集約し、事務

局としての役割を担います。

2. 締結日

平成 27 年 5 月 20 日（水）

3. 今後について

地銀共同センター参加行および株式会社 NTT データで、災害時相互支援に係る情報交換を継続的に  
行っていくとともに、実効性向上のための共同訓練、および対策強化の検討を行う予定です。

4. 地銀共同センター参加行

平成 27 年 5 月 20 日現在、14 行が参加

061-FY2018-05

震災時元本免除特約付き融資「バックアップ・プラン」の創設

【原則1】【原則3】【原則6】

- ・地元企業の大規模地震リスク対策として震災時元本免除特約付き融資「バックアップ・プラン」を創設した。当行の主たる営業基盤は東日本大震災の被災地域でもあり、地元のお取引先に対して、発生自体を避けることができない震災への対策強化を進めていくことは、地域金融機関として大きな意義があると考え創設した。
- ・予め定めた震度観測点において、震度6強以上の大規模地震が発生した場合に予め定めた割合（100%または50%）で当該融資の借入元本が免除される特約が付与された融資商品。大規模地震発生時の直接被害、間接被害の有無に関わらず、震度6 強以上の地震発生により借入元本が免除される。借入元本の免除部分については元本免除益となり、大規模地震発生時の財務面でのダメージの補填が可能となるほか、新たな資金調達余力が生じる。

061-FY2018-06

漆の林づくりパートナー協定の締結

【原則1】【原則3】【原則4】【原則7】

- ・二戸市と締結した「地方創生の連携に関する協定書」の連携・協定内容に基づいて「漆の林づくりパートナー協定」を締結し、パートナー企業として漆の植栽や保全管理などの漆林づくりを行っている。漆林の愛称は「いわぎん漆の郷」とした。
- ・二戸市の漆の林づくりサポート事業は、二戸市が企業や団体自らが漆の植栽や管理を行う漆林づくりを支援することによって、特産である漆のPRや文化財の修理等に必要な漆の原料となる原木の確保を目的として新たにスタートさせた取組みで、当行はパートナー企業の第1号として協定を締結した。行員からボランティアを募り、地元の中学生と一緒に漆の植栽・管理を行っている。

## ■ 株式会社 広島銀行

062-FY2018-01

### 環境保全関連商品・サービスへの取組み

#### 【原則2】

環境保全に配慮した金融商品・サービスの提供を通じ、地域における環境保全に向けた事業・取組みを支援するため、〈ひろぎん〉地球環境対応支援制度「エコ・ハーモニー」等の法人のお客さま向け融資や、ファミリーローン（エコ・ソーラープラン）等の個人のお客さま向け融資の商品・サービスを提供しています。

#### 【特徴】

法人・個人のお客さま向け融資のほか、環境配慮型の贈答品の採用等も実施。

062-FY2018-02

### 環境に配慮した営業車両の導入

#### 【原則5】

「広島県生活環境の保全等に関する条例」及び広島市の「自動車環境管理制度」に基づき、「自動車使用合理化計画書」及び「自動車環境計画書」を策定し、営業車両の低公害車等へ買替を行っています。その他にも、「カーシェアリング」の利用や、ガソリンバイクから「電動アシスト自転車」への買替等、環境に配慮した配車を積極的に展開しています。

#### 【特徴】

3年毎に低公害車等の導入計画を策定のうえ、低公害車等の導入率向上への対応を実施。

062-FY2018-03

### 森林を守る活動～森林整備活動の実施

#### 【原則7】

郷土の豊かな自然環境を守り、将来の世代により良く引き継いでいく為、2010年10月から「ひろぎんの里山」で森づくり活動を展開。当初計画通り、2014年度までの5ヵ年で、延べ3ヘクタールの山林に栗・クヌギなど合計1,530本の植樹を実施。2015年度から下草刈りを中心とした森林整備活動を行っています。

#### 【特徴】

本年度（第4回森林整備活動：2018年9月実施）は、役職員約80名が参加。来年度以降についても「ひろぎんの里山」などの森林整備活動等を継続予定。

## ■ 株式会社 宮崎銀行

064-FY2018-01

### 「みやぎん環境格付」の取得

#### 【原則2】【原則3】

環境負荷低減への取り組みを積極的に行っている企業を支援するため「みやぎん環境格付」を制定。本格付を取得された企業の皆さまは、環境格付に応じて当行所定金利から最大 0.8%の金利割引を行う「みやぎん環境格付制度」をご利用いただけます。

064-FY2018-02

### 地域の清掃活動実施

#### 【原則3】

環境保全の取り組みとして、各エリアにおける清掃活動に参加しています。特に、大淀川流域の清掃活動については、上流域（都城地区）に 100 名、下流域（宮崎地区）に 160 名と多数の行員が参加し、地域の皆さまと一緒に河川の清掃活動を実施しました。美しく住みよい町づくりに貢献しています。

#### 【特徴】

地域の清掃美化活動への参加。

064-FY2018-03

### 省エネ・環境に配慮した店舗づくり

#### 【原則3】【原則5】

店舗新築の際には、太陽光発電設備の設置、県産材の利用などにより、自然環境に配慮した店舗づくりを実施しています。設置店舗は現在 11 ヶ店となりました。

#### 【特徴】

環境に配慮した取り組みを着実に実施しています。

064-FY2018-04

### 電気自動車充電スタンド設置

#### 【原則3】【原則5】

宮崎県が推進する「宮崎県次世代自動車充電インフラ整備ビジョン」に賛同し、九州の地銀として初めて電気自動車（EV）用の急速充電スタンドを 6 ヶ店に設置いたしました。今後も、電気自動車の普及を支援し低炭素社会の実現に貢献してまいります。

#### 【特徴】

地域と一体となった環境保全活動。

## ■ 株式会社 山梨中央銀行

066-FY2018-01

### 環境ビジネスへの取組み

#### 【原則2】

- ・「グリーン世銀債ファンド」の取扱い  
新興国における「地球温暖化防止プロジェクト」のために、世界銀行が発行する「グリーンボンド」を主な投資対象とした環境ファンドです。お客さまにも間接的に地球温暖化防止にご協力いただけます。
- ・太陽光発電システム設置工事に関するリフォームローンの金利引下げ  
住宅用太陽光発電システム設置工事を含むリフォーム資金につきまして、リフォームローン金利の引下げを行っております。
- ・「省エネ対象プログラム」によるサポート  
「省エネ・節電診断」や、省エネ対策に対応する補助金等公的支援策の活用サポート、資金調達に関するご相談など、さまざまな情報をご用意し、皆さまの省エネ対策をサポートしております。
- ・山梨中銀「地域活力強化ファンド」の取扱い  
太陽光発電、燃料電池等の設備導入や空調・ボイラーの省エネ設備の導入等、幅広い資金ニーズにご利用いただける融資商品を取り扱っております。

#### 【特徴】

環境に配慮した各種商品の提供

066-FY2018-02

### 地域社会との連携による環境保全活動への取組み

#### 【原則4】

- ・里地里山保全・再生事業の実施  
人と自然が調和した里地里山の保全を推進し、後世に引き継ぐ活動を行っております。2011年8月からは中央市の耕作放棄地を「山梨中銀ふれあいの里山」と命名し、地域の農家、森林組合の皆さまのご指導のもと再生させ、さまざまな野菜の栽培を行っております。また、隣接する荒廃した森林の整備、植樹活動も実施しております。これまで、延べ38回の活動に、2,751名の役職員とその家族が参加いたしました。
- ・富士山の清掃活動に参加  
2013年6月から、「世界遺産～美しい富士山を未来へ～」のスローガンのもと、富士山の価値の保護・保全や観光振興等に取り組んでおります。  
2018年8月に行われました「公益財団法人富士山をきれいにする会」が主催する「富士山環境美化前期クリーン作戦2018」には、役職員とその家族216名が参加し、富士山5合目周辺や忍野八海周辺の清掃を行いました。今後も世界文化遺産に登録された富士山および周辺地域の環境保護・保全活動に積極的に取り組んでまいります。
- ・やまなしグリーンキャンペーンおよびエコドライブ運動への参加  
山梨県が推進する環境美化活動「やまなしグリーンキャンペーン」および「エコドライブ」運動に参加して、店舗周辺の道路・公園等公共の場の清掃活動や、環境に配慮した運転を行うなど、全行を挙げて環境美化・環境保全活動を展開しております。「平成30年度やまなしグリーンキャンペーン」では、延べ1,689名が参加し、延べ314か所の清掃を行いました。「エコドライブ」運動には、508台の所有車両および2,475名の役職員が参加いたしました。

#### 【特徴】

地域社会との連携による環境保全活動・環境美化活動、職員ボランティア参加型による活動

066-FY2018-03

## 当行自らの環境負荷低減への取組み

### 【原則5】

- ・太陽光発電システムの設置  
CO<sub>2</sub>排出量削減への取組みとして、太陽光発電システムを明見支店、小笠原支店および昭和支店に設置しております。また、猿橋支店の駐車場には、太陽光と風力を利用したソーラー風力外灯を設置しております。
- ・ノベルティグッズにおける環境配慮型商品の購入  
当行で採用するノベルティグッズ（お客さまへの贈答品）につきましては、天然素材や製造時に発生するCO<sub>2</sub>排出量を相殺した商品など、環境に配慮した商品の購入を実践しております。
- ・燃料電池自動車の導入  
地球温暖化防止に向けて営業用車両にハイブリッド車や低燃費自動車を積極的に導入しております。また、走行中に二酸化炭素や排気ガスを出さないことから「究極のエコカー」といわれる燃料電池自動車（FCV）「MIRAI」を2台導入しております。
- ・使用済み制服のリサイクル  
使用済みとなった制服については、断熱材等の繊維二次製品として還元するリサイクル処理を行っております。

### 【特徴】

太陽光発電システム等の導入等による環境負荷軽減への取組み

## ■ 株式会社 宮崎太陽銀行

068-FY2018-01

### 街の環境美化活動「ラブリーマイタウン運動」

#### 【原則3】

「わが街を愛そう〜ラブリー・マイタウン」は、地域社会への貢献を目指す宮崎太陽銀行が掲げたスローガンです。「小さな親切運動」の中で、同運動宮崎支部の支部長企業として多くの企業と連携し、銀行周辺や商店街の清掃美化活動に各支店が一丸となって参加するなど、美しい街づくりに貢献しています。

068-FY2018-02

### 大淀川の保護活動にボランティア参加

#### 【原則3】

■すべての生命の源は水。その水を湛え、地域の人々の生活と文化を支えてきた川。宮崎太陽銀行は、ふるさとのシンボルでもある「大淀川」を守るため、NPO 法人大淀川流域ネットワークの河川環境保護活動にボランティアとして参加しています。

■簡易測定キットを使って行う「水質調査」、宮崎市の行政、民間企業等が大淀川沿いの清掃活動を行う「大淀川クリーンアップ活動」などの運営やボランティアとして行員が参加。貴重な体験を通じ、自然保護の重要性を学んでいます。

068-FY2018-03

### 環境に配慮した自然エネルギーの有効活用

#### 【原則5】

■宮崎太陽銀行は本店ビル駐車場にソーラーパネルを設置し、駐車場・ビル周囲の街路灯に太陽光を利用し、昼間に蓄えた電力で人々の足元を照らしています。

■本店ビルの建物の地下には、埋設されたタンクに雨水を貯水し、トイレの排水や周辺植栽への散水に利用しています。

## ■ 株式会社 青森銀行

069-FY2018-01

### 省エネ関連設備を有する住宅関連融資において優遇金利を設定

#### 【原則2】

住宅ローンの金利優遇項目として、オール電化、省エネ断熱化等を有する住宅の新築や増改築を設定しております。

#### 【特徴】

持続可能な社会形成に資する金融商品を提供し、省エネに関する意識を高めることを目的としております。

069-FY2018-02

### 「企業による環境再生の森づくり活動」への参画

#### 【原則4】

青森・岩手県境において発生した産業廃棄物の不法投棄問題に対し、青森県が策定した計画に参画。2014年、2015年には、当行より役職員とその家族が参加し、不法投棄現場跡地へ広葉樹の苗木を計 3,000 本植樹いたしました。以降、青森県が実施する「育成状況の確認、苗木の成長補助を目的とした下草刈り」へ参加し、本計画への参画を継続しております。

#### 【特徴】

森林整備の取り組みとして青森県が展開する「企業による環境再生の森づくり活動」への参画を通じ、継続的に自然環境の再生を支援しております。

069-FY2018-03

### CSR 私募債(寄贈オプション付き)の引受

#### 【原則2】

地域の子供の成長支援や就労支援ならびに環境保全等、地域貢献を目的として、2017年7月より「CSR 私募債(寄贈オプション付き)」の取扱を開始しました。

#### 【特徴】

発行額に対し、所定割合を当行が拠出し、発行企業が希望する学校や児童福祉施設、自治体等へ学用品、種苗、樹木等を寄贈することで、地域社会へ貢献してまいります。2018年9月末時点では、累計 44 先の CSR 私募債(寄贈オプション付き)を発行しております。

069-FY2018-04

### 地公体と連携した空き家の利活用促進

#### 【原則2】

地公体と空き家利活用に関するパートナーシップ協定書を締結し、地公体が認定する空き家物件のリフォームや解体等を行う個人を対象に、金利優遇をいたします。

#### 【特徴】

空き家の利活用に関する取組を行うことにより、住民が安心して暮らせるまちづくりの推進及び地域経済の活性化に貢献してまいります。

069-FY2018-05

### 「白神山地」周辺地域での育樹活動

#### 【原則4】

日本ユネスコ連盟等が実施する「まもろう地球のたからもの」プロジェクトの一環として、2008年から行われ、2012年までに白神山地周辺の山林にスギやモミジなど約10万本を植樹し、2013年からはその苗木を育てる育樹活動を続けています。本年は当行ボランティア職員を含む、県内外15団体、106名が参加し、苗木周辺の草刈り等の育樹活動を行いました。

**【特徴】**

「まもろう地球のたからもの」プロジェクトでは、世界遺産や地域遺産活動をはじめとする人類共通の「たからもの」を未来へ引き継いでいくための取組みを行っています。当行も2017年よりこの取組みに参加しており、今後も継続的に自然環境の育成に貢献してまいります。

---

## ■ 株式会社 北都銀行

072-FY2018-01

### 東北 3 生協と風力発電事業を共同展開

#### 【原則1】【原則2】【原則3】【原則4】【原則5】

2013年12月、東北復興を目指す東北3生協（みやぎ生協、いわて生協、コープあきた）、風力発電事業会社ウェンティ・ジャパン等と協同で、秋田県において風力発電事業を展開しておりました。事業展開による地域活性化の促進を企図し、地域金融機関として、ファイナンス面を中心にサポート。2016年10月に風力発電所が完成し、発電事業が開始されました。

#### 【特徴】

環境に配慮した活動を行っている東北3生協が再生可能エネルギーの導入を検討している中、弊社とウェンティ・ジャパンが連携して、風力発電の具体的な事業化を提案したことをきっかけに合意に至りました。

072-FY2018-02

### 風力発電事業会社の設立支援

#### 【原則1】【原則3】【原則4】【原則6】

秋田県内で営業する設備会社や風力発電会社が、2012年9月28日に新規に設立した風力発電事業会社へ、フィデアグループとして出資するとともに、当行から出向者を派遣し会社運営を支援。

2013年に風車を2基建設し、7月から売電を開始。

#### 【特徴】

同社を事務局として、2013年9月に秋田県内で風力発電に関連する産業を創出することを目的に秋田風力発電コンソーシアム「秋田風作戦」を設立。県内の製造業や大学など産学官が連携し、次世代型風力発電機の製造を目標に研究を進めます。

072-FY2018-03

### 木質バイオマス発電事業プロジェクトへの取り組み

#### 【原則1】【原則3】【原則4】【原則6】

秋田県内の未利用材間伐材などを活用した木質バイオマス発電に対する支援を実施。当行と新生銀行が幹事行となり、建設にかかる費用のうち総額106億円の協調融資（シンジケートローン）を組成しました。2016年7月に発電所が完成し、発電事業が開始されました。

#### 【特徴】

地元未利用材を活用することで、適正な森林管理、地元林業や関連産業への経済波及等、環境保全、及び地域活性化に貢献するもの。

**株式会社 足利銀行**

073-FY2018-01

**「あしぎん環境対応サポート資金」の取扱****【原則2】**

平成24年4月より、「あしぎん環境対応サポート資金」の取扱いを開始しております。

本融資商品は、「環境配慮型企業サポートプラン」と「環境保全取組み企業サポートプラン」の2つのプランがあり、前者は、ISO14001等、当行の定める機関からの認定・認証を取得し、既に環境問題に取り組んでいる事業者様に対して必要な事業資金を提供するものであり、後者はこれから環境問題に取り組もうとしている事業者様に対して、環境保全に係る事業資金を提供する商品です。地球温暖化防止や原子力発電所事故の影響によるエネルギー問題解決等、環境保全に向けた取組みが大きな社会問題となっていることを踏まえ、環境問題に取り組む事業者の皆さまを資金面から支援することを目的としております。平成25年3月には太陽光発電事業を行うお客さま向けの融資商品として「あしぎん太陽光発電支援融資」の取扱いを開始しました。

**【特徴】**

福島原子力発電所事故の影響によりエネルギー不足が大きな社会問題となっており、各事業者様においても、従来にも増して環境へ配慮した取組みが求められております。このような状況の中、環境問題に取り組む事業者様を資金面で支援するために創設いたしました。

073-FY2018-02

**日光杉並木保護への取組み****【原則3】**

日光杉並木の保護、環境保全への協力・支援を目的として、「日光杉並木オーナー制度」に基づき、特別史跡及び特別天然記念物である日光杉並木街道に属する杉を継続的に購入しております。平成25年度は5本の杉を購入し、平成30年10月現在、一団体としては最多の80本（1本10,000千円）の杉を保有しております。

なお、杉の購入代金は、栃木県が「日光杉並木街道保護基金」で運用しており、その運用益は、並木杉の樹勢回復事業や杉並木保護の普及広報事業といった保護事業に活用されています。

**【特徴】**

日光杉並木街道は、日光街道、例幣使街道、会津西街道の3つの街道からなる総延長37kmに及ぶ、日本が世界に誇る並木道であり、国の特別史跡及び特別天然記念物の二重指定を受けています。1625年から20数年の歳月をかけて植えられた並木杉の数は、一説には5万本ともいわれていますが、現在では12,500本ほどに減少しています。原因としては、台風などの自然災害や杉自身の老齢化のほか、車社会の進展や街道周辺の開発による樹勢の衰えなど生育環境の悪化が指摘されています。

栃木県では、世界に誇る日光杉並木を守るため、「日光杉並木街道保存管理計画」を定めて、様々な杉並木保護事業に取り組んでおり、「杉並木オーナー制度」もその一つです。日光杉並木は、長い年月をかけて守り育てられた地域の歴史的資産であり、同時に、自然環境資産でもあります。当行では、こうした地域の資産・資源を守り、未来へとより良い形で引き継ぐべく、制度が開始された平成8年よりオーナーとなり、多くの並木杉を購入してきました。

073-FY2018-03

**足尾での植樹活動****【原則4】【原則7】**

NPO 法人足尾に緑を育てる会（※1）と連携し、新入行員に対する CSR および環境教育の一環として、日光市足尾町の松木渓谷での植樹活動を実施しています。平成 30 年 5 月には、銀行内のみならず、より多くの企業に環境保全活動の機会を提供するとともに、環境意識の向上をサポートすべく、当行の研修プログラムを提供し、共同で社会貢献活動研修を実施しました。

具体的には、当行の新入行員 188 名と栃木県産業協議会（※2）の会員企業の新入社員 92 名が、丸一日かけて同一内容・同一工程の研修に参加し、相互の交流・親睦を図りつつ、足尾に 574 本の苗木の植樹を行いました。植樹活動に伴い、地元足尾町の公害の歴史を学んでいます。

### 【特徴】

「足尾」は、日本の公害の原点として、環境問題における意義や内外における知名度が高いものの、栃木県内では鉱毒事件や過疎化といったマイナスイメージが根強いのが実情です。森林保全活動や環境教育をさらに強化していくにあたり、一步踏み込んだ取組みとして、当行の研修プログラムを、栃木県産業協議会を通して県内の複数の企業に提供することにいたしました。経済成長の光と影を象徴する「足尾」において、当行と地域企業の新入社員が共同で植樹活動等を行うことをきっかけとして、環境に配慮した活動・行動が栃木県内企業全体の取組みとなるよう働きかけていきたいと考えています。

（※1）NPO 法人足尾に緑を育てる会は、「足尾の山に 100 万本の木を植えよう」などをスローガンに発足。これまでの植樹活動等が評価され、23 年 12 月には、日本ユネスコ協会の「プロジェクト未来遺産」に登録されています。

（オフィシャルブログ：<http://blog.goo.ne.jp/ashio-midori/c/9b9be804bde794ab876dd310bb742300>）

（※2）栃木県産業協議会は、昭和 56 年、栃木県内の有力企業経営者の経済団体として設立され、定期的な勉強会等を通じて情報交換や異業種交流、後継者育成などを行っています。当行は事務局の役割を果たすなど、積極的に支援しており、平成 30 年 10 月現在の会員企業は 99 社となっております。

073-FY2018-04

## 「あしぎんの森」

### 【原則4】【原則7】

栃木県県民の森（栃木県矢板市）に「あしぎんの森」を創設し、24 年度から 2 回にわたり植樹活動（当行役職員とその家族約 550 名の参加）を行いました。この植樹活動により、とちぎカーボンオフセット制度に基づき、24 年度は 1.84 トン、25 年度は 1.04 トンの CO<sub>2</sub> 削減が認証されました。26 年度から苗木が成長しやすい環境に整備するため、成長を遮る下草の除去と歩道の整備を行っています。

### 【特徴】

栃木県の山々は、県北西部の日光連山や県北東部の那須連峰などに代表され、その山々が育んだ水は、那珂川、鬼怒川、渡良瀬川などとなり、栃木県内、そして関東平野を潤し、太平洋に注ぎます。しかしながら、生活様式、木材需要など社会環境の変化から、手入れの行き届かない森林が増加するなど、栃木県の森林も健全と言えない状況であることが問題になりつつあります。

「企業等による森づくり推進事業」とは、企業等が社会貢献活動の一環として行う森林整備活動を推進することにより、首都圏の貴重な水源である栃木県の山々の森林を守り、森の持つ公益的機能の向上と森林・林業に対する理解の促進を図ることを目的とした栃木県の事業です。

当行では、事業の趣旨に賛同し、職員に対する環境教育および次世代教育という観点も加味し、職員家族参加型の自発的なボランティア活動として取り組んでおります。

## ■ スルガ銀行

074-FY2018-01

### ふじのくに水の循環ワークショップの開催

#### 【原則1】【原則3】【原則4】

ふじのくに静岡の豊かな自然を次世代に継承していくために、地域の自然環境について学ぶワークショップを実施しています。地元の子どもたちをご招待し、富士山から駿河湾までの水の旅を学んだり、水の生きものを中心とした化石の観察やアンモナイトのレプリカを作ったりすることで、家族みんなで自然の大切さを学ぶ機会となっています。

074-FY2018-02

### エコオフィス化の推進

#### 【原則1】【原則5】【原則6】

##### (1) 環境配慮店舗の設置

店舗の新設やリニューアルオープンの際に、環境に配慮した設備の導入を継続的に推進しております。自動調光が可能な LED 照明や店舗屋上への太陽光パネルの設置、エコガラスの利用など、環境にやさしい設備を導入しており、多くの新店舗で CASBEE 静岡 A ランク、CASBEE かながわ A ランクを取得しております。

##### (2) 屋上緑化の実施

スルガ平本部内の屋上の一部を緑地化しています。断熱効果や雨水の流出緩和、大気の浄化などの省エネ効果が期待されるほか、社員の環境に対する意識向上につながっております。

##### (3) 電力・紙使用量の削減への取り組み

省エネ機器の積極導入や、設備・機器の更新時に不要箇所を徹底して見直すなどの節電施策により、電力使用量の削減に取り組んでいます。また、各種帳票類や通達文書、マニュアル、申請文書などのデータ化によるペーパーレス化に取り組んでいます。

074-FY2018-03

### 「ライトダウン」「COOL BIZ」の実施

#### 【原則1】【原則5】【原則6】

環境省が温室効果ガス削減のため推進している、室温 28℃でも快適に過ごせるライフスタイル「COOL BIZ」を 6 月 1 日から実施しております。

また、社員のワークライフバランス実現と環境に配慮した経営の実現に向けて、「18 時以降のライトダウン」（早帰り実施日）を実施しています。2018 年度は、これまでの全社共通ライトダウン日（年 8 回）の実施に加え、営業店・本部部署独自のライトダウン日（年 4 回）を設定し、取り組みをより強化しています。

074-FY2018-04

### 環境関連商品・サービスの取扱い

#### 【原則1】【原則5】【原則6】

金融サービスの提供により地域における環境の改善をめざし、下記の環境関連商品・サービスの取扱いを実施しています。

##### ・環境関連の投資信託の取扱い

地球環境問題への関心の高まりを受け、環境に関する投資信託を取扱っております。

環境問題への取組状況、地球温暖化対策に関連する企業、再生可能エネルギー、未来型燃料、クリーンテクノロジーの開発など、ファンドごとに特色ある投資信託をご提供しております。

また、投資信託全商品で「取引報告書」等の書面をインターネットバンキングで閲覧いただける「電

---

子交付サービス」をご提供しております。

・インターネットバンキング機能の充実

お客さまのお取引の履歴をご自宅に郵送するブックフリーサービス（無通帳サービス）に代わり、インターネットバンキングを利用して過去の取引レポートや入出金明細をご照会いただく「デジタル通帳（Webブックフリー）」サービスを積極的にご紹介しております。

また、店頭に来店せずにインターネットバンキングからキャッシュカード（Visa デビット機能付きを含む）の紛失・盗難・再発行を行なうことができるようになりました。

これらインターネットバンキングの機能を拡大していくことで、紙資源を使用せず、郵送等によるエネルギーも使用しない環境にやさしいサービスを提供しております。

・インターネット支店口座開設のペーパーレス化

当社インターネット支店の ANA 支店、D バンク支店、T ポイント支店、リクルート支店は、口座開設のお申込みがペーパーレス（申込用紙記入不要）、印鑑レス、本人確認資料撮影により、Web 上で完結します。このたび、アプリから簡単にお申込みいただけるようになり、ますます便利になりました。

今後もペーパーレスの推進により、紙使用量の削減を図るとともに、より便利なサービスを提供してまいります。

---

074-FY2018-05

---

静岡県の富士山環境保全施策への協力

【原則3】【原則4】【原則6】

【「富士山ごみ減量大作戦」等の環境保全施策への参加・協力】

「富士山ごみ減量大作戦」をはじめとした静岡県が主催する富士山周辺の環境保全活動に、当社社員がボランティアとして定期的に参加し、富士山麓での清掃活動を実施しています。

また、富士山の環境保全に取り組む「ふじさんネットワーク」が開催する自然観察会などのイベントについて社員が参加し、地域環境への知見を高める取り組みを実施しています。

【インターネットバンキングでの「ふじさんネットワークへの募金活動】

「ふじさんネットワーク」への募金を、当社インターネットバンキングで受付しています。

当社のインターネットバンキングをご利用いただいているお客さまが、登録している代表口座から「ふじさんネットワーク」への募金の際の振込手数料を無料としています。

---

## ■ 株式会社 荘内銀行

078-FY2018-01

### 「小さな親切」の活動

#### 【原則3】【原則4】

荘内銀行では、「小さな親切」の会の山形県鶴岡地区の事務局を務め、毎年7月の第一日曜日に市内中心部で行う公園周辺の清掃活動を運営しています。当行役職員や市内の会員企業の従業員が参加するこの活動は年々浸透し、500名を超える規模となっております。

#### 【特徴】

平成30年度は、昨年度に引き続き開催された海浜清掃活動に参加した他、県内各地で開催される清掃活動に多くの役職員やその家族が参加しています。

078-FY2018-02

### 「荘銀かねやま絆の森」の森づくり活動

#### 【原則3】【原則7】

荘内銀行では、平成22年に企業の森である「荘銀かねやま絆の森」を山形県金山町に設置し、山形県及び地元林業者と協定を結び、森づくり活動を展開しております。平成27年より、従来の協定締結者に金山町を加えた4者で協定を締結し、活動は2期目に突入しています。

これまでに植林、裾枝打ち、下刈り、遊歩道整備に取り組んできたほか、整備された森林が持つ防災機能やバイオマス・エネルギーなど地域における再生可能エネルギーの導入可能性について学ぶ勉強会などを開催し、森づくりの楽しみと地域特性を活かした学びの場を提供しています。

#### 【特徴】

平成30年度の活動では、植林した杉林の除伐・裾枝打ち作業、きのこ植菌・ブルーベリー植樹体験、地元食材を使った料理体験、自然観察体験を実施しました。グループ企業である北都銀行からの参加者や、同様に活動する山形県内他企業、協定参加者である地元自治体、林業者と連携し、情報やノウハウの共有が進んでいます。

078-FY2018-03

### 「荘内銀行ふるさと創造基金」による地域の教育・文化活動の振興

#### 【原則1】【原則3】

真に豊かで潤いのある地域社会を築くため、平成13年に公益信託荘内銀行ふるさと創造基金を設置し、新たな「地方の時代」に向けて、山形県内の地域特性を生かした、自主的・主体的な学校教育、社会教育、文化活動に助成金を贈呈し、教育・文化活動の振興を支援しています。

#### 【特徴】

平成30年度は、子ども向け環境教育や地域コミュニティ活性化に向けたイベントの実施、子ども食堂の運営を通じた食育活動など、70件の幅広い取り組みを行う団体に助成金を贈呈しました。

## ■ 株式会社 百五銀行

079-FY2018-01

### CO<sub>2</sub>削減への取組み

#### 【原則1】【原則5】

当行が独自に策定した環境保全活動計画のなかで前年度比 1%以上の電力使用量削減の目標を掲げ、日常業務における省エネ活動に取り組んでいます。

キャッシュコーナーや営業店内の照明の LED 化など設備面の省エネ対策のほか、働き方改革による時間外労働の減少などにより、2017 年度の電力使用量および当行全体のエネルギー<sup>※</sup>使用による CO<sub>2</sub> 排出量は、前年度比 3.0%以上の削減となりました。

また、当行の本館ビル 2 棟は、4 面自然採光や自然換気システム、LED 照明の採用などにより、環境に配慮した建物となっています。たとえば、丸之内本部棟では、エレベーター設置部分が最上階まで吹抜け（エコボイド）となっており、暖められた空気がエコボイド内で上昇気流を発生させて、フロア全体の自然換気を促進しています。これにより、空調電力の節電にもつながっています。

※ CO<sub>2</sub> 排出量の対象となるエネルギーは電力、A 重油、都市ガス、LP ガスを含みます

#### 【特徴】

自行内外で CO<sub>2</sub> 削減に取り組んでいます。

079-FY2018-02

### 環境保全型金融商品・サービス

#### 【原則2】【原則3】

地域の皆さまの環境保全活動を支援するため、貸出金利を優遇する環境保全型金融商品・サービスを提供しています。

個人のお客さま向けには、百五多目的ローン（リフォーム、マイカー）を、法人のお客さま向けには、百五環境格付融資「エコ・フロンティア」、百五 CSR 私募債、百五環境融資「太陽光発電事業融資」、環境に関するビジネスマッチングなどを取り扱っています。特に「エコ・フロンティア」（平成 22 年 3 月取扱開始）は、平成 30 年 9 月末現在、205 件 31,934 百万円の取扱実績となりました。また「太陽光発電事業融資」（平成 24 年 9 月取扱開始）は、平成 30 年 9 月末現在、653 件、54,850 百万円の取扱実績となりました。

#### 【特徴】

地域の環境保全活動の支援に取り組んでいます。

079-FY2018-03

### 森林保全活動「百五の森」

#### 【原則4】【原則6】

三重県が取り組む森林づくり事業に賛同し、平成 18 年から「百五の森」植樹活動を行っています。

これまで計 4 回、当行役職員とその家族など延べ約 900 人が参加し、2,765 本の植樹を行いました。

そして、平成 30 年 5 月には、当行の創立 140 周年と全国の地方銀行 64 行が参加している「日本の森を守る地方銀行有志の会」設立 10 周年の記念事業として、三重県多気郡多気町丹生の山林で、当行役員、新入行員による森づくり活動を行いました。

#### 【特徴】

自行内外で CO<sub>2</sub> 削減に取り組んでいます。

## ■ 株式会社 北國銀行

080-FY2018-01

### 災害時給水用(兼消火用)タンクを埋設

#### 【原則3】

災害時給水用（兼消火用）タンクを埋設し、2011年9月1日（防災の日）より稼動しています。大規模地震等によりライフラインが寸断された場合でも、貯水量分の飲料水を確保できます。災害等は自行内での使用のみならず、埋設地周辺住民の方々への提供も目的としています。

#### 【特徴】

災害時に周辺住民の方々への飲料水の提供も目的とした給水用タンクの埋設

080-FY2018-02

### 役職員、家族による森林整備活動「北國の森」づくり

#### 【原則7】

北國銀行は、環境保全活動の一環として、2010年より石川県森林公園内「北國の森」において役職員・家族による森林整備活動に取り組んでいます。

- ・2010年10月 ヤマモミジなど70本を植樹（参加者70名）
- ・2011年以降は毎年7月、下草刈等を実施し約70名が参加。10月、ヤマモミジ、ヤマボウシ、コナラなど植樹。その他に花菖蒲、アヤメ、山菜を植栽（約50名が参加）。
- ・2014年から敷地内を散策できるよう遊歩道整備にも取り組んでいます。

#### 【特徴】

環境保全活動の一環として、石川県が実施する「企業の森づくり推進事業」に参画し活動しています。

## ■ 株式会社 北洋銀行

081-FY2018-01

### 個人のお客さま向け商品を通じた取り組み

#### 【原則1】【原則2】【原則3】【原則4】【原則7】

1. リフォームローン エコリフォーム金利割引  
省エネ改修工事、太陽光発電工事等の環境配慮型工事の普及を後押しし、CO<sub>2</sub>排出量削減に協力するため、これらの工事を対象とした金利を通常のリフォームローン金利より優遇しています。
2. ZEH（ネット・ゼロ・エネルギーハウス）対応住宅ローンの対象物件の拡大  
「NearbyZEH」物件を対象として追加。これにより、省エネ・高性能な住宅を幅広く普及させ、低炭素社会の実現や効率的なエネルギー利用に貢献するとともに、お客さまの住宅がより優良な資産となることを後押ししています。
3. 居住環境改善に向けたローン商品の提供  
各自治体を中心として居住環境の整備改善に向けた空き家住宅の除去が進められており、この取り組みをサポートすべく「リビングローン（空き家解体優遇）」という商品を用意しました。  
また、「空き家対策」という社会問題に対応するため「空き家対策相談窓口」を設置。道内自治体の推進する地方創生事業を積極的にサポートしています。

081-FY2018-02

### CSR 基本方針・取組テーマと推進体制

#### 【原則1】【原則2】【原則4】【原則6】【原則7】

1. CSR 基本方針  
札幌北洋グループの「経営理念」に基づき、当グループを支えていただいている全てのステークホルダーの持続的発展に資する行動を全行で実践し、金融商品・サービス・情報等の提供、支援活動に努めます。

##### ※札幌北洋グループ経営理念

お取引先に良質なサービスを提供し、お客さまと共に発展する。  
企業価値の増大を図り、株主と市場から高い信認を得る。  
職員がその能力を十分に発揮できる働きがいのある職場をつくる。

2. ESG 取組方針
  - (1) 環境方針
  - (2) 社会貢献方針
  - (3) ガバナンス方針
3. SDGs に係る重点取組テーマ
  - (1) お客さまとの共通価値の創造
  - (2) 環境保全
  - (3) 医療福祉
  - (4) 教育文化
  - (5) ダイバーシティ

#### 4. CSR 推進体制

「CSR 委員会」を設置し、銀行全体での CSR 推進方針・推進策等の協議ならびに進捗管理等を行っています。同委員会で協議された事項は、必要に応じて取締役会においても協議し、決定した推進方針・

推進策等を全行に展開しています。

081-FY2018-03

### 当行自身の環境負荷低減への取り組み

#### 【原則1】【原則5】【原則7】

##### 1. 古紙リサイクル

保管期限が経過した伝票や帳票類などは、厳重な管理のもとで破碎処理されたあと再生紙の原料としてリサイクルされています。

##### 2. 省エネルギー

店舗照明器具のLED化、空調設備・高圧受変電設備の高効率機器への更新、節電対応等により省エネを推進しています。

081-FY2018-04

### 法人のお客さま向け商品・ご提案を通じた取り組み

#### 【原則2】【原則3】【原則7】

##### 1. 環境配慮型企業向け私募債「北洋エコボンド」によるサポート

環境に配慮した取り組みを自主的・積極的に行っている企業に対して金利優遇した私募債を発行し、環境配慮型企業をサポートしています。環境への取り組みは北海道や札幌市とも連携を強めていることから、主な対象企業を「北海道グリーンビズ認定制度」「さっぽろエコメンバー登録制度」の登録企業としています。2010年4月の取り扱い開始以来、多くの環境配慮型企業の皆さまにご利用いただいています。

##### 2. 再生可能エネルギーへの融資

北海道は「太陽光」「風力」「バイオマス」などの再生可能エネルギー資源の宝庫です。こうした地域資源を活用した新エネルギーの導入による、地域の雇用創出や経済活性化に貢献するため、発電事業者への参入を検討されるお客さまへのご融資を積極的に推進しています。また、地域金融機関の中では先進的なプロジェクトファイナンスの組成も行い、様々なファイナンススキームを提供しています。

##### 3. 環境成長分野を対象とした融資ファンド「飛翔NEO（はばたきネオ）」

2014年4月から成長分野に対して融資面でサポートする、ほくよう成長サポートファンド「飛翔NEO（はばたきネオ）」を取り扱っています。このファンドは、様々な種類の再生エネルギーの宝庫である北海道の地域性を考慮し、「環境エネルギー」分野等を中心に「農林水産」や「観光産業」、「働き方改革」等10分野を対象としています。

##### 4. 環境ビジネス支援ファンドの設立

2011年7月に、環境関連に特化した道内初の「環境ビジネス支援ファンド」を設立しました。環境関連ビジネスを行うお客さまの株式を当行が引き受けることにより、お客さまの発展・信用力強化、地域経済の活性化を目指します。ファンド総額は3億円で、環境保全や再生エネルギー分野に取り組む道内中小企業を中心に、株式公開を目指していないお客さまも含め、幅広く対象としています。

081-FY2018-05

### 北海道の生物多様性保護への取り組み

#### 【原則2】【原則3】【原則7】

##### 1. 「ほっく一基金の設立」

環境保全活動への取り組みとして、北海道の生物多様性保全を目的とした「ほっく一基金」を2010年に設立しました。

「ほっく一基金」では、官民連携からなる「ほっく一基金選定協議会」の助言のもと、北海道の生物多様性保全に取り組んでいる団体等を助成しています（2018年10月現在 延べ63先総額5,300万円）

## 2. 「ほっく一定期預金の取り扱い」

「ほっく一基金」の主な原資として、満期案内不発行かつ「環境配慮型専用通帳」を採用した「ほっく一定期預金」をお取り扱いしています。当行は、お客さまにお預け入れいただいた金額の一定割合相当額と満期案内不発行による郵便料相当額を当基金に拠出しています。お客さまは「ほっく一定期預金」を通じて間接的に「ほっく一基金」に参加し、北海道の生物多様性保全に貢献いただくことができます。

081-FY2018-06

## 役職員による社会貢献活動の実施

### 【原則3】【原則4】【原則7】

#### 1. 「ほっく一の森 記念植樹」の実施

当行創立100周年記念事業として、環境保全と地域貢献を目的に、夕張市にて記念植樹を実施しました。当行役職員およびその家族等約60名がボランティアとして参加し、キハダの苗木170本を植樹しました。

#### 2. 「全行一斉ごみ拾い活動」の実施

当行創立記念日である8月20日前後に、店周及び近隣地域を対象とした「全行ごみ拾い活動」を実施しています。2018年度は、延べ1,718名の役職員が参加しました。各営業店において日々店周清掃は行っていますが、全行役職員一丸で行う機会を設けたことで、改めて「環境保全への意識を高める」きっかけになっています。

081-FY2018-07

## 職員に対する取り組み

### 【原則4】【原則6】

#### 1. ワークライフバランスへの取り組み

働きがいのある職場づくりのためにワークライフバランスの実現に取り組み、仕事と家庭の両立を積極的に支援する制度を導入しています。2014年10月には仕事と家庭の両立支援に積極的な取り組みを行い効果が出ている企業を表彰する厚生労働省の「平成26年度均等・両立推進企業ファミリー・フレンドリー企業部門」で「北海道労働局長優良賞」を受賞しています。

#### 2. 女性の活躍支援

職員全体の約4割を占める女性職員の一層の活躍を支援するため、女性活躍支援室を人事部内に設置しています。ここでは、女性職員のキャリア・アップやライフ・プランについての相談や育児休業中の職員の職場復帰の支援を行っています。2016年4月に道内企業で初めて「女性活躍推進法」に基づく認定マーク（愛称：えるぼし）の最高評価である「3段階目」を取得したほか、2016年12月には内閣府「女性が輝く先進企業表彰」で「内閣府特命担当大臣表彰」を受賞しました。

当行は引き続き、女性がより活躍できる環境の整備に努めてまいります。

081-FY2018-08

## 障がい者、高齢者に配慮した金融サービス向上の取り組み

### 【原則4】【原則6】

北洋銀行では、2016年4月1日施行「障害者差別解消法」、少子・高齢化社会の進展を踏まえ、障がい者、高齢者に配慮した金融サービスの態勢整備を推進してきました。

1. 店舗・設備・サービス

- ・ 視覚障がいのお客さま対応の音声案内付 ATM、操作ボタンや文字を大きくした見やすく操作しやすい「ユニバーサルデザイン画面」を導入した ATM の設置拡大、耳の不自由なお客さま対応として「耳マーク」、「コミュニケーションボード」、「筆談ボード」を全店に設置しています。
- ・ 車いす配備店舗の拡大、耳が遠いお客さま・聞こえづらいお客さま対応として全店に「助聴器」を配備、店舗建て替え時のバリアフリー設計等、安心・便利な店舗づくりに取り組んでいます。
- ・ 視覚障がいのお客さまへ点字通知サービスによる預金残高・取引明細の通知を行っております。

2. 社内研修

- ・ 障がいのあるお客さまや、ご高齢のお客さま等あらゆるお客さまの立場にたつて同等のサービスを提供するための社内研修を実施しています。

また、単なる介助技術だけではなくコミュニケーションに重点を置いた資格「サービス・ケア・アテンダント」認定者や「認知症サポーター」を営業店に配置しています。

081-FY2018-09

北海道の障がい者スポーツ支援への取り組み

【原則4】【原則6】

「パラスポーツ応援債の取り扱い」

お客さまが私募債を発行することにより、当行が「ほっく一障がい者スポーツ基金」より道内の障がい者スポーツに取り組む選手や団体等に寄付金を贈呈する私募債「パラスポーツ応援債」の取り扱いを2017年2月より開始しました。2018年度の贈呈は13先、寄付金の総額は694万円となります。

当行は、2020年の東京パラリンピックに向けて、地域のお客さまと共に障がい者スポーツを積極的に支援していきます。

**株式会社 西京銀行**

082-FY2018-01

## 環境保全活動への取組み

## 【原則1】【原則7】

西京銀行では、2011年に、環境保全活動に対する当行の基本的な考えを明示するとともに、環境保全活動を体系的にかつ継続的に実施するために、「西京銀行環境方針」を制定しました。CO<sub>2</sub>排出量の削減策としてはクールビズ、ウォームビズの継続実施、退行時間の早期化、清掃ボランティア活動の実施、太陽光発電システムの設置、エコ支援手当の支給、業務用電動バイクの導入を行っており、Fun to Shareにも賛同した低炭素社会づくりに向けた取組みを実施しています。

082-FY2018-02

## 環境保全に配慮した金融商品

## 【原則2】

西京銀行は、環境保全に取り組む事業者の皆さまをサポートするための低金利の事業性ローンである「エコパッション」をはじめ「エコ住宅ローン」、「地球にやさしい環境づくり融資」（山口県制度融資）等の環境配慮型ローンを取扱っています。

## 【特徴】

「エコパッション」については商品改定（内容充実）を行い、本商品をご利用いただいたお客様よりご希望があった場合には、排出削減事業を全面的に応援いたします。また、必要に応じて、Jクレジット認証にかかるコンサルタント会社等への取次ぎも行います。

082-FY2018-03

## 当行の環境保全活動への取組みについて

## 【原則3】

西京銀行は、2011年に「西京銀行環境方針」を制定するとともに、山口県内の金融機関では初めて、「国内クレジット制度」に参加しました。取組の第1弾として、本店所在地である周南市の一大イベント「周南冬のツリーまつり」で排出されるCO<sub>2</sub>排出量を積算し、その相当量を山口県内の商業施設における照明設備の省エネ化で創出される国内クレジット（排出権）を用いて、カーボンオフセット致しました。

第2弾として、当行お客様のCO<sub>2</sub>排出削減事業に共同実施者として参画し、同事業から創出される国内クレジット（排出権）を取得、当行の営業用二輪車が排出するCO<sub>2</sub>とカーボンオフセット致しました。

なお、『国内クレジット制度』に共同実施者として参加する金融機関は中国地方では初めてとなります。

「周南冬のツリーまつり」では2011年度より5年連続でカーボンオフセットを実施。また、2016年3月に開催した「yabスポーツスペシャル第3回西京銀行6時間リレーマラソン」においてもカーボンオフセットを行いました。当行のカーボンオフセットは、山口県内企業で創出した国内クレジットを当行が購入し“CO<sub>2</sub>の地産地消”を実施しています。

## ■ 株式会社 南都銀行

085-FY2018-01

### 環境配慮型金融商品・サービス ラインナップ

#### 【原則1】【原則2】

CSR の一環として、地域における環境保全活動を金融面からも推進していくため、数々の環境配慮型金融商品やサービスをラインナップしています。

#### 【特徴】

〔個人のお客さま向け〕

＜ナント＞エコマイカーローン/エコリフォームローン：

「低公害車」または「低燃費車」に該当する新車の購入や省エネ・高齢者対応のための住まいのリフォームを応援する低金利（＜ナント＞マイカーローン、＜ナント＞リフォームローン比）の商品。

〔事業者のお客さま向け〕

＜ナント＞グリーン私募債：

環境に配慮した経営や環境負荷の低減に資する事業を行っている企業が発行する私募債の引受に際して、保証料や手数料の一部を優遇する商品。

＜ナント＞環境配慮型融資：

環境に配慮した経営を行っている企業の環境配慮にかかる設備資金に対応した、当行所定の環境ランクに基づき金利を優遇する商品。

085-FY2018-02

### 森林保全や林材業活性化支援を通じた地域支援

#### 【原則3】【原則4】

当行は CSR の一環として、「吉野林業関連産業の活性化」や「森林整備による温暖化防止」等をめざす活動である「Yoshino Heart プロジェクト」を支援しており、吉野産割り箸の配付や間伐材を活用した「吉野3.9ペーパー」の冊子類への利用等を通じて、森林保全や林業活性化に対する「木づかい」の必要性の周知に努めています。また、奈良県産材の利用促進に向け奈良県等とも連携しており、当行においても県産材を、新築店舗等を中心に積極的に利用するよう取組んでいます。

現在、「公務・地域活力創造部」が中心となり、林業関連産業の振興を図るため、さまざまな取組を行っています。

#### 【特徴】

- ・ 奈良県や県森林組合連合会、県木材協同組合連合会などで構成する「奈良の木マーケティング協議会」に参加（平成27年5月）
- ・ 川上村と村内林材業4団体が設立した一般社団法人「吉野かわかみ社中」と包括連携協定を締結（平成28年2月）
- ・ 県産材の魅力を伝え利用促進を図るため、奈良県、奈良県木材共同組合連合会との共催で「奈良の木の魅力を伝える説明会」を東京（平成29年7月）、大阪（平成30年3月）で開催。また、これを機に具体的な商談の場を提供するため、平成30年8月「林材業ビジネス商談会」を大阪で開催。
- ・ 海外の木材産業や木材輸出についての知識を深めるため、奈良県との共催により県内の林業・木材産業関係者を対象に、セミナーを実施（平成29年7月）
- ・ 林業・木材関連産業の現状とさまざまな取組みについての理解を深めるため、一般社団法人「吉野かわかみ社中」の協力を得て、奈良県川上村を部隊に行員を対象としたツアーを実施（平成29年11月）

085-FY2018-03

## 「木づかい運動」と「Yoshino Heart プロジェクト」

## 【原則3】【原則4】

「木づかい運動」とは、国産材の積極的な利用を通じて、植樹や間伐等の森林の健全なサイクルを取り戻し、CO<sub>2</sub>をたっぷり吸収する元気な森林づくりをする運動です。

一方、「Yoshino Heart プロジェクト」は、吉野産の杉やヒノキ等の木材を利用した木製品に冠する「Yoshino Heart」というブランドの普及を通じて、吉野産材の需要を喚起することにより、

1. 吉野の林業関連産業の活性化
2. 森林の整備を通じた CO<sub>2</sub> 吸収による地球環境保全 等

をめざす活動です。

当行はこのプロジェクトの「吉野ヒノキ製広告入り割り箸（アド箸）」の仕組みを活用し、首都圏のコンビニエンスストアで「平城線遷都 1300 年祭」の PR を展開したほか、吉野の間伐材チップを製紙原料に活用した「吉野 3.9 ペーパー」の冊子類やポスター等への利用、店頭や各種イベント等における「Yoshino Heart」製品の配付などを通じて、プロジェクトのアピールに努めています。

「Yoshino Heart プロジェクト」支援の一環として、環境にやさしい木製品の配付や「吉野 3.9 ペーパー」の利用を通じ環境面における木材利用の重要性をアピールしていますが、これは「木づかい運動」とも連動する活動です。

## 【特徴】

平成 20 年 11 月に銀行業界で初めて林野庁が推進する「木づかい運動」のロゴマークの使用承認を受けています。

平成 23 年 10 月、「木づかい運動」顕彰の「木づかい運動推進部門」において顕著な功績があったとして、農林水産大臣から感謝状を受章しました。平成 17 年度から毎年実施されている同顕彰において、銀行の受章は当行が初めてです。

「Yoshino Heart プロジェクト」の収益の一部は植樹や間伐等の森林整備に役立てられます。また、このプロジェクトの支援に関し、当行は、地域密着型金融の「地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献（地域の面的再生）」分野における特に優れた取組みとして、平成 21 年 12 月に近畿財務局長より顕彰されました。

085-FY2018-04

## 「吉野の桜を守る会」に参加

## 【原則3】【原則4】

当行は、近年、立ち枯れなど衰退の兆候が目立つようになっている、世界遺産・吉野山（奈良県吉野町）のシロヤマザクラ（約 3 万本）を守るため、官民を挙げて設立された「吉野の桜を守る会」に特別会員として参加しています。

同会に対しては金銭面の支援に留まらず、各種イベントへのボランティア・スタッフの派遣など活動面からも積極的に支援しています。具体的な活動としては、同会が主催するイベントへの協力とともに、「さくら募金」の呼びかけ等を行っています。

## 【特徴】

吉野山の母樹から苗木を育てるための「さくらんぼ拾い」には当行行員もボランティア・スタッフとして参加しています。平成 27 年 1 月には、ボランティア（行員）が育てたシロヤマザクラの苗木約 30 本を吉野山の育樹地へ植樹しました。

085-FY2018-05

## 環境ISO活動への取り組み

## 【原則5】

平成 14 年、本店および事務センターを対象に環境 ISO（ISO 14001）の認証を取得し、その後リサイクルセンターや研修センター等において認証を追加取得しました。

認証対象部署において ISO 規格に準拠した環境保全活動を継続しているほか、認証対象外の支店や関連会社などでも「クールビズ」や「身近な環境活動」を実践するなど、当行グループを挙げて環境保全活動に取り組んでいます。

なお、これまでの活動への意識が十分に定着していることを踏まえ、平成 26 年 2 月、当行の環境マネジメントシステムが ISO 14001 の国際規格に適合していることを自らの責任をもって宣言する「自己適合宣言」に移行しました。移行後も更なる取組み強化に努めています。

---

085-FY2018-06

---

#### リサイクルセンター

##### 【原則5】

保存期限の過ぎた文書の機密保持とリサイクルを目的として、平成 19 年 6 月にリサイクルセンターを設置。

##### 【特徴】

大型シュレッダーで裁断した紙を製紙工場に運んでトイレットペーパーやメモ帳などに再生し、紙ゴミの排出削減と紙資源の循環に貢献しています。

---

085-FY2018-07

---

#### 環境に配慮した店舗の拡充

##### 【原則5】

LED（発光ダイオード）照明や屋上緑化、駐車場緑化など環境負荷低減に向けた店舗設備の採用を進めています。

##### 【特徴】

上記に加え奈良県産材を使用するなど新設ならびに新築移転の店舗から順次、取組みを拡充しています。

---

085-FY2018-08

---

#### エコカーの活用

##### 【原則5】

社用車に低公害車や低燃費車、ハイブリッドカー（HV）、本部用として電気自動車（EV）を導入するなどエコカーを活用しています。

##### 【特徴】

電気自動車には当行キャラクターを施し、当行における環境保全活動の推進や電気自動車の普及促進に寄与しています。

---

085-FY2018-09

---

#### 節電への取り組み

##### 【原則5】【原則6】【原則7】

当行および当行グループは電力需給状況の悪化に対応するため、年間を通じ電力使用量の削減のためさまざまな節電施策を実施しています。

##### 【特徴】

営業店ロビーの温度設定や照明の減灯等お客さまにもご協力いただき、節電に取り組んでいます。

---

## ■ 株式会社 群馬銀行

086-FY2018-01

### 自然環境保護ファンドの取扱い

#### 【原則2】

3県にまたがる尾瀬の地元である群馬銀行、ぐんぎん証券、第四銀行、第四証券、東邦銀行、とうほう証券と委託会社がそれぞれ収受した信託報酬の一部を公益財団法人尾瀬保護財団に寄付する投資信託「尾瀬紀行」を取り扱っています。尾瀬の自然環境を後世まで末永く守り続けることを目的とした当ファンドの販売・運用を通じて地域社会の発展に貢献しています。

086-FY2018-02

### 公益財団法人群馬銀行環境財団の活動

#### 【原則3】

平成7年11月、企業理念である「地域社会の発展を常に考え行動すること」の実践活動の一環として、自然と人間が共生し、地域にふさわしい環境を創造するために公益財団法人群馬銀行環境財団を設立しました。環境保全に関わる啓発事業や助成事業を実施しています。

##### ■ 環境探検隊

平成8年度より毎年60名前後の中学生が参加し、渡良瀬川の源流から下流にかけて、各探検ポイントを見学し、水を通して環境について学習するイベントです。旧足尾銅山精錬所の鉱煙害により荒廃した山々に植樹を行う体験も行います。

##### ■ エコ・キッズ・キャンプ

地球規模での環境破壊が深刻化している今日、将来を担う子供たち（小学生）を対象に、一泊二日で環境問題について「体験学習」を行う機会を作り、環境保全について学んでいただく活動です。平成17年度から実施しております。

##### ■ 群馬銀行環境財団賞

平成9年度より、自然環境・生活環境の保全活動および調査研究等に優れた業績をあげた団体・個人の方々を表彰し、助成金を交付しています。

##### ■ 群馬銀行環境財団教育賞

平成20年度より、群馬県内の小学校、中学校、中等教育学校、高等学校および特別支援学校を対象として、環境改善や保全についての実践的な活動を募集し、その中から優れた活動を表彰し、助成金を贈呈しています。

##### ■ その他

群馬県が実施する環境活動に協賛して特製マイバッグを無料配布しています。また、渡良瀬川の源流地点「足尾の山」に緑を復元する運動を支援し苗木の寄贈を行っています。

#### 【特徴】

公益財団法人群馬銀行環境財団ホームページ <http://www.gunginkankyo.jp/index.htm>

086-FY2018-03

### 「ぐんぎんの森」整備活動

#### 【原則4】【原則7】

環境保全活動の一環として、群馬県と締結した「県有林整備パートナー事業実施協定」により指定された赤城山内の県有林3.69haを「ぐんぎんの森」と命名し、平成23年から整備活動を実施しています。新入行員研修の一環として間伐・枝打ち作業を行うなど行員に対する環境教育を行いながら、森林整備に取り組んでまいります。

■ 株式会社 静岡中央銀行

087-FY2018-01

環境に配慮した店舗作り

【原則5】

店舗の建替えや新築に際して、ロビーや ATM コーナー等に LED 照明を採用しています。

087-FY2018-02

省エネルギーの推進

【原則5】【原則7】

クールビズ・ウォームビズ実施のほか、電気・コピー用紙・水道・ガソリン等の使用量削減に向けた取組みを実施しています。

## ■ 株式会社 常陽銀行

088-FY2018-01

### 環境保全基金「エコーいばらき」による環境保全活動の支援

#### 【原則1】【原則2】【原則3】【原則4】【原則6】

当行は、茨城県内における緑豊かな自然環境と快適でうるおいのある生活環境を守り育てていく活動の裾野を広げること目的に、1992年に公益信託「エコーいばらき」環境保全基金を設置しました。

当基金は、茨城県内で環境保全活動を行う団体・個人を対象に、森林保全、海岸・湖沼の浄化、生活環境の改善や環境教育の普及等の活動、東日本大震災からの復旧・復興にかかる環境保全事業を募集し、運営委員会で審議選定のうえ助成を行っています。

今後とも、より充実した環境保全活動や子供たちの環境保全への関心をさらに高める活動を支援して参ります。

088-FY2018-02

### 環境保全への取組み

#### 【原則2】【原則3】【原則5】【原則6】

茨城県内の全拠点で茨城県から環境にやさしい取組みを行う事業所として「茨城エコ事業所」の認定を受け、また、福島県内では10拠点が「地球温暖化防止のための福島議定書」を締結し、地域と連携した環境保全活動に取り組んでいます。

省エネ対応では、当行全体のエネルギー使用量を把握する体制を整え、例年夏季と冬季に全拠点を対象に「消費電力削減コンペ」を開催し、成績優良拠点を表彰しています。また、店舗設備においても、太陽光発電設備やLED照明の設置など環境に配慮した店舗づくりを進めています。

森林保全活動では、2009年に茨城県・いばらき森林づくりサポートセンターと「いばらき協働の森パートナーズ協定」を締結し、那珂市に「常陽ふるさとの森」を創設し森林保全活動を開始しました。加えて、ひたちなか市や筑波山で植樹活動を実施したほか、2013年には、南相馬市鎮魂復興市民植樹祭に参加し緑の防潮堤づくりにも取り組みました。また、2014年より新入行員育成研修に植樹活動を取り入れ、植樹活動体験を通して環境保全とその社会的使命の大切さを学習しているほか、地元小学校の森林保全体験学習に「常陽ふるさとの森」をご活用いただくなど地域と連携した環境教育支援も同時に行っています。

088-FY2018-03

### 環境関連の商品の取扱い

#### 【原則2】【原則3】【原則6】

常陽銀行では、地域の環境保全に貢献し、環境保全に取り組む企業を積極的に支援するため、環境関連の商品（常陽エコ・セレクトローン、太陽光発電事業支援融資制度「LALA サンシャイン」）を取り扱っています。また、当行グループ会社の株式会社常陽産業研究所では、環境に関する国際規格 ISO 14001 の認証取得支援説明会を開催しているほか、個別コンサルティングを実施するなど、お取引先の ISO 取得支援に取り組んでいます。

088-FY2018-04

### 「環境理念・環境方針」の制定

#### 【原則3】【原則7】

常陽銀行グループは、2008年に「環境理念・環境方針」を制定し、環境保全活動を通じて、当行の事業活動における環境負荷の軽減を図るとともに、環境保全に取り組むお客さまを支援し、地域と連携して持続可能な地域社会の実現に努めています。

#### 【環境理念】

常陽銀行グループは、水と緑に恵まれた茨城県を主要な営業地盤とする企業として、豊かな自然環境を守り育てていくことが、私たちの「社会的使命」と考えています。ふるさとの環境を守り、持続可能な社会を実現するため、地域と連携協力し、環境保全活動に継続して取り組んでまいります。

---

【環境方針】

- ① 省資源、省エネルギー、リサイクル活動を推進し、事業活動によって生じる環境負荷の軽減に努めます。
- ② 環境に配慮した金融商品・サービスの提供を通じて、環境保全に取り組むお客さまを支援します
- ③ 本方針を当行グループ全役員に周知徹底し、一人ひとりが積極的に環境保全活動に取り組みます。

---

088-FY2018-05

---

地域とのふれあい

---

【原則3】【原則7】

常陽銀行では、地域とのふれあいを通じて地域社会・地域経済の発展に貢献するため、公益財団法人常陽藝文センターを通じて、郷土文化の掘り起こし・各種文化の普及活動や郷土の歴史・金融経済に関する資料の収集・公開に取り組んでいます。

各拠点では、地域のお祭りやスポーツ大会、総合防災訓練への参加、クリーン作戦などの環境保全活動、福祉施設への慰問など地域に根ざした活動を行い、地域との交流を深めています。

また、行員個々人のボランティア活動を企業として支援するため「常陽ボランティア倶楽部」を1994年に設立し、福祉、環境、国際交流、地域振興のイベント参加等さまざまな活動を行っています。また、毎年、全店で「タオル一人1本提供運動」を実施し、社会福祉協議会等へ寄贈しています。

---

088-FY2018-06

---

バリアフリーへの取組み

---

【原則4】【原則6】

当行では、「人に優しい銀行をめざして」、バリアフリーへの取組みを進めています。身体が不自由なお客さまやご高齢のお客さまにも安心してご利用いただけるよう、一部を除く営業店に車いすを配備しています。また、視覚障がい者対応ATMや難聴者向けスピーカー「コミュニケーション」などを設置しています。

さらに、「おもてなしの心」と車いすの操作方法など「介助技術」の向上を目指して、行員を対象に「サービス介助士養成講座」を開催し、資格取得者を全営業店に配置しているほか、「認知症サポーター養成講座」を開催し、認知症の方やその家族を温かく見守り支援する「認知症サポーター」を養成する取組みも進めています。

---

## ■ 株式会社 山陰合同銀行

094-FY2018-01

### 環境配慮型商品の提供および金利優遇の実施

#### 【原則2】

##### ■ エコ型銀行保証付私募債

- ・環境に配慮した取組み（ISO14000 取得等）を行っている企業を対象とし、本私募債の発行による資金調達に加え、企業イメージの向上を支援しています。

##### ■ 環境配慮型融資

- ・環境に配慮した取組を評価基準に格付けを行い、一定の格付け以上の場合に金利優遇を行なっています。

##### ■ リフォームローン

- ・太陽光発電・ソーラーシステム・蓄電池購入費用、および設置工事等に伴う費用に利用でき、金利優遇を行っています。

##### ■ 住宅ローン金利優遇

- ・省エネ住宅や環境に配慮した住宅、島根・鳥取県産材を利用した住宅の購入および新築の場合に金利優遇を行っています。

#### 【特徴】

環境配慮型商品の提供等を通じ、お客様の環境に配慮した取組みを支援しています。

094-FY2018-02

### 排出権取引支援

#### 【原則3】【原則4】【原則6】

##### ■ J-クレジット制度の普及・仲介及び事業化支援

- ・全国でもめずらしい鳥取県独自の「J-クレジット地域コーディネーター制度」の創設に積極的に関与し、J-クレジットの普及促進を支援しています。本制度は、地域コーディネーターに仲介手数料制度を組み込むことで、関係する3者（販売者・購入者・コーディネーター）すべてにメリットがあるとともに、コーディネーターの主体的・持続的な活動のインセンティブともなっています。また、この制度を県内外のJ-クレジット事業者にも普及させることにより、広域・面的な取組へと発展しています。
- ・山陰両県及び兵庫県養父市で認証済のJ-クレジットについて、ビジネスマッチング業務として積極的な販売支援を実施し、これまで52件、合計2,355t-CO<sub>2</sub>（2018年9月末現在）の売買契約を仲介しています。
- ・2018年5月には、鳥取県内のJ-クレジットのコーディネート実績が1,000t-CO<sub>2</sub>を超えたことから、鳥取県から「達成の証」、鳥取県日南町、日南町森林組合から「感謝状」を贈呈されました。

##### ■ クレジット創出事業者の事業化支援

- ・地元自治体・地元企業のCO<sub>2</sub>排出削減/吸収事業に対し、クレジット創出を支援しました（旧国内クレジット2件、旧J-VER1件）。また、2018年9月時点でJ-クレジット創出検討事業者（地公体等）へJ-クレジット創出へ向けたアドバイスを実施しています。

#### 【特徴】

クレジットの地産地消を目指す取組みです。J-クレジット販売支援をビジネスマッチング業務として行うことで、継続的な取組みとなるよう工夫しています。また、企業に対して、カーボン・オフセットの提案を行い、SDGs への貢献やESG 経営へのきっかけを提供しながら、企業価値向上への取組みを支援しています。行内に対しては、カーボン・オフセットの独自資料の提供やJ-クレジット仲介の事例を好事例として周知するなど行職員への啓発活動も行っています。

094-FY2018-03

## 森林保全活動と関連団体等のネットワーク構築の取り組み

### 【原則3】【原則4】【原則6】【原則7】

#### ■「ごうぎん希望の森」森林保全活動

- ・鳥取県、島根県、関係市町村の協力により借り受けた森林で、2006年から役職員や家族がボランティアで森林保全活動を行っています。2016年に本活動開始10周年を迎え、活動エリアを山陰両県6箇所（各県3箇所ずつ）に拡充しました。  
（2018年9月末時点 延べ参加人数：8,023人）

- ・「ふるさとの自然を守る」「一人ひとりができることをできる範囲で継続する」という理念のもと、これからも地域のリーディングバンクとして社会的責任を果たしていきます。

#### ■「森林（もり）を守ろう！山陰ネットワーク会議」事務局

- ・山陰両県で森林保全活動に積極的に取り組むボランティア団体やNPO法人のネットワークを構築し、参加団体同士の情報交換等を通じて活動の輪を広げていくため、2006年4月、当行の呼びかけにより発足。当行は事務局を務め、各種イベントの開催や参加団体の活動の紹介を行っています。また、「フレンドシップ店」制度（団体毎に当行営業店を割り当て、イベントへの参加、広報活動への協力等を行う制度）を新設し、営業店と団体とを連携させ、活動の活性化を図っています。

【参加団体数】2006年4月発足時：18団体 ⇒ 2018年9月末現在：52団体

#### ■「日本の森を守る地方銀行有志の会」事務局

- ・森づくりに関する地銀各行の情報やノウハウを共有し、各々の活動に反映させることで、森づくりの取り組みを活性化するため、2008年7月に設立。当行は設立当初から事務局を務めています。

### 【特徴】

山陰両県の約3分の2を占める大切なふるさとの森林を次世代に伝えるため、地域の皆さまと一緒にあって森林を守り育む運動に取り組んでいます。また、全国の地方銀行の仲間とともに、森林保全・地球環境保護に対する問題意識を共有し、継続的な情報交換を行いながら、それぞれの発展的取り組みを促す支援を行っています。これらは、環境保全活動の展開に繋がる活動であり、「SDGs」へ寄与するものと考えています。

094-FY2018-04

## 省エネ・省資源・リサイクルへの取り組み

### 【原則5】【原則7】

#### ■省エネ

- ・省エネ型エアコン、LED照明、太陽光発電システム、電気自動車、ハイブリッド車等省エネ・環境配慮型製品を順次導入しているほか、社内の省エネ意識の向上により消費エネルギーの削減に努めています。

#### ■ペーパーレス化

- ・インターネットバンキングの活用、行内文書の電子化等によりペーパーレス化を進めています。

#### ■リサイクル

- ・廃棄文書のトイレットペーパーなどへのリサイクル、ゴミの固形燃料原料へのリサイクル等に取り組んでいます。

#### ■ライトダウン活動

- ・地元自治体を中心となって進めるライトダウン活動に対し、「一斉ライトダウン」実施日を行内へ周知し早帰りを推進するなどの協力を行っています。

### 【特徴】

年2回行職員へ省エネ節電対策要請等を行うことにより、行員の省エネに対する意識を高めています。

---

094-FY2018-05

---

再生可能エネルギー分野への取り組み

---

【原則5】【原則7】

■再生可能エネルギー事業への参入支援

- ・本部内に専門の担当者を配置し、太陽光、風力、バイオマスなどの発電事業への参入を支援しています。資金面でのご支援に加え、事業パートナーの紹介や連携により事業化の側面支援も行っています。

■大規模案件への対応

- ・大規模な再生可能エネルギー案件に対しては、プロジェクトファイナンス形式によるシンジケートローンにより対応しております。太陽光、風力、バイオマスの発電事業でプロジェクトファイナンス形式によるシンジケートローンのアレンジャー実績があります。

【特徴】

環境への負荷が少なく、枯渇の心配がない自然の力から創る再生可能エネルギー事業参入へのサポートに、本部専門担当者と営業店が一緒に取組んでいます。

---

094-FY2018-06

---

総合特区制度による森林経営活動への支援

---

【原則3】【原則4】【原則6】

■地域活性化総合特区制度を通じた支援

- ・地元自治体が指定を受けた総合特区計画において、バイオマスの利活用等を含めた里山再生の計画を支援しています。
- ・具体的には、林業事業者のバイオマス資源の活用に繋がる設備投資に対し、総合特区利子補給金指定金融機関として利子補給による支援を実施しています。

【特徴】

森林は、国土保全（災害抑制）だけでなく、里山整備を通じた文化伝統の継承といった側面も有しています。そのためにも森林資源の活用や安定した資源の供給体制整備のために金融面での支援を行っています。

---

## ■ 株式会社 七十七銀行

095-FY2018-01

### 地域貢献に関する考え方

#### 【原則1】【原則2】

当行は、地域社会の持続的な発展のためにリーダーシップを発揮して、社会的責任を果たし、地域社会と共生する企業となることを目指しております。また、東日本大震災からの地域社会・経済の一日も早い復興・再生に向け、全力で取り組んでおります。

具体的には、地域への円滑な資金供給とお客さまのニーズに合わせた商品・サービスの提供を行っているほか、地域経済の活性化のために、企業活動のサポートや各種情報の提供を行っています。さらに、地域社会の一員として、地域の自然環境を保全し環境負荷の軽減を図るなど、環境問題への取組みを積極的に推進しているほか、地域社会との交流や文化活動の後援、社会福祉活動等、社会貢献活動に継続的に取り組んでおります。

095-FY2018-02

### 「環境方針」の制定

#### 【原則1】【原則2】【原則7】

当行では、地域金融機関として環境に対する当行の考え方を明確化し、地域の自然環境を保全し環境負荷の軽減を図る取組みを積極的かつ継続的に推進するため、「環境方針」を制定し、公表しております。

本方針のもと、持続可能な社会の形成に向け、環境保全活動を推進してまいります。

### 環 境 方 針

#### （基本理念）

七十七銀行は、良き企業市民として、美しく豊かな自然環境を守り、次の世代により良く引き継いでいく社会的責務があると考えています。

当行は、経営の基本理念である行是の第一に掲げる「奉仕の精神の高揚」という考え方のもと、地域社会と共生する企業を目指し、持続可能な社会の形成に向け環境保全活動に積極的かつ継続的に取り組んでまいります。

#### （行動方針）

1. 環境に関連する法規制、協定およびその他当行が同意する事項を遵守します。
2. 省エネルギー、省資源およびリサイクル活動を推進し、環境負荷の軽減に努めます。
3. 環境に配慮した金融商品、サービスの提供により、環境保全に取り組むお客さまを支援します。
4. 役職員一人ひとりが環境問題に対する認識を深め、地域社会の環境保全活動を推進するために、啓発活動に取り組みます。

095-FY2018-03

### 金融商品・サービスを通じた環境保全活動

#### 【原則2】

当行では、金融商品・サービスを通じて、環境保全活動等の社会貢献活動に積極的に取り組む企業や、個人のお客さまを支援しております。

- ・地球温暖化防止、リサイクル関連設備導入等に取り組む企業を対象とした「＜七十七＞社会貢献活動支援ローン」および「77社会貢献私募債（企業支援型）」をお取り扱いしております。
- ・環境配慮型企業等への投資を対象とした投資信託「フィデリティ・スリー・ベーシック・ファンド（水と大地とエネルギー）」をお取り扱いしているほか、エコカー等を購入するお客さまを対象に、マイカープランの金利引下げを実施しております。
- ・「＜七十七＞ESG 日本株オープン（みやぎの絆）」は、創業140周年を記念し、取扱いを開始いたしました。

た。本ファンドは、当行が受け取る信託報酬の一部を震災により壊滅的な被害を受けた海岸防災林の再生活動のため寄付いたします。

095-FY2018-04

### 東日本大震災からの復旧・復興への取組み

#### 【原則2】【原則3】

当行では、東日本大震災による被害を踏まえ、金融サービスの提供と金融仲介機能の発揮に努めるとともに、地域・お客さまの復興に向けた取組みを金融面から支援し、地域と共にある金融機関としての責務を果たしていく観点から、地域経済の復興と発展への貢献に向けた「復興支援方針」を策定しております。

095-FY2018-05

### リサイクル・省資源への取組み

#### 【原則5】

- ・営業店の文書・帳票などのリサイクル
 

営業店の文書・帳票などの情報資産管理の厳格化と事務効率化を図るため、文書管理システムを導入しています。文書保存用ファイルはとじ具を含め100%紙製のものを使用し、保存期限が経過した情報資産をファイルのまま溶解のうえりサイクルできるようにしております。
- ・環境に配慮した素材を使用した通帳への切り替え
 

当行では、通帳の素材に再生紙としてリサイクルが可能な「紙クロス」を使用しております。また、焼却時の有毒ガス発生を抑制するため、印刷塗料に「植物油インキ」を使用し、磁気ストライプには「脱塩化ビニル」の素材を採用しております。

また、これまで口座開設アプリおよびインターネットバンキングを通じてのみ選択可能としていた「WEB通帳」を2018年4月より、窓口での口座開設時にも選択いただけるように変更し、推進しております。「WEB通帳」とは、紙の通帳を発行しないかわりに、インターネットバンキングなどWEB上で残高照会や取引明細照会を行なっていただくエコで便利な通帳です。
- ・再生紙利用、ペーパーレス化の推進等
 

大量に使用する伝票や封筒、印刷物についての再生紙利用、ペーパーレス化の推進、グリーン購入の推進など、日常的な環境負荷の軽減にも努めております。

095-FY2018-06

### 環境負荷の軽減に向けた取組み

#### 【原則5】【原則6】

- ・クールビズ・ウォームビズの実施
 

温室効果ガス排出削減および節電対策の一環として、夏期にクールビズを、冬期にウォームビズを実施しております。夏期は室内温度を28℃、原則ノー上着・ノーネクタイの軽装とし、冬期は室内温度を20℃として暖かい服装で勤務するなど、地球温暖化防止への意識高揚にも貢献しております。
- ・環境に配慮した営業車両の導入
 

環境負荷の軽減を図るとともに、政府や宮城県が進める水素エネルギーの利活用を後押しするため、トヨタ自動車の燃料電池自動車「MIRAI」を2017年8月に2台導入し、営業車両として利用しております。「MIRAI」は水素を空気中の酸素と化学反応させて自ら発電して走行する車両であり、走行中の二酸化炭素排出量がゼロであることから「究極のエコカー」と呼ばれています。

なお、ガソリン等の使用による温室効果ガス排出の抑制を図るため、営業車両などの更新、追加の際は、全てハイブリット車等環境に配慮した車両を導入しております。

095-FY2018-07

### 環境に配慮した店舗の設置

#### 【原則5】【原則7】

---

当行では、LED 照明および省エネ型空調機を導入した「環境対応店舗」として、2017 年度は相馬支店、将監支店、平支店、女川支店、および利府支店を新築・開店いたしました。また、省エネルギーへの取組みを強化するため、建替えを予定している店舗等を除いた全ての店舗およびキャッシュサービスコーナーを対象に、営業室やロビー等の照明を蛍光灯から LED へ切替えております。

---

095-FY2018-08

---

#### 森林保全活動の実施

---

##### 【原則3】【原則4】

- ・当行では、創業 140 周年記念事業の一環として、2018 年 9 月に宮城県等と締結した「みやぎ海岸林再生 みんなの森林づくり活動」の協定に基づき、仙台市荒浜地区で役員と 2018 年度の新入行員がクロマツの苗木 1,000 本を植樹しました、植樹地は「七十七 未来の森～For the Future～」と命名し、災害から地域を守る海岸防災林となるよう管理してまいります。
  - ・当行は「日本の森を守る地方銀行有志の会」のメンバーとして、美しい健全な自然を次世代に引き継いでいくための活動を行っており、2013 年 4 月に仙台市で開催された「日本の森を守る東北サミット」では、クロマツの苗木 750 本を植樹し、5 年間管理を行なった後、2018 年 3 月に成長したクロマツを林野庁へ返還いたしました。
-

## ■ 株式会社 四国銀行

096-FY2018-01

### エコ住宅ローン、高知県産材住宅ローンの販売

#### 【原則2】

- ・ エコ住宅ローン  
太陽光発電、電化住宅、省エネガス等の設備のある住宅の購入等に金利優遇を実施しています。
- ・ 高知県産材住宅ローン  
高知県産材を 50%以上使用する住宅に対し貸出金利を優遇することにより高知県産材の普及に貢献しています。

#### 【特徴】

全国 1 の森林率である高知県の特性を活かして、地域経済に貢献する取組みです。

096-FY2018-02

### NPOとの協働間伐

#### 【原則7】

行員、家族、お客さまが参加し、NPO こうち森林救援隊と協働で「四銀絆の森」で間伐活動を行っています。

096-FY2018-03

### 「未来を鏡に～四銀絆の森」パートナーズ協定の更新

#### 【原則7】

平成 19 年に高知県、高知市と当行で「協働の森」事業のパートナーズ協定を締結。平成 29 年 4 月に本協定を 10 年更新しました。当行は今後も継続して森林保全活動に取り組んでいきます。

■ 株式会社 南日本銀行

104-FY2018-01

オール電化等の環境へ配慮した住宅を対象とした住宅ローン金利優遇制度

【原則2】

オール電化や省エネルギー住宅等の環境へ配慮した住宅の建築資金については、住宅ローン金利を優遇する金利制度を提供しています。

104-FY2018-02

節電・省エネ・環境へ配慮した取組み

【原則5】

電気自動車やハイブリッド車等の低公害車を営業用車両として導入しています。また、太陽光発電設備の店舗への設置や、エアコンの温度管理やこまめな照明管理等の日常での節電の実践も行い、環境に配慮した省エネルギーへの取組みを実施しています。

## ■ 株式会社 愛媛銀行

107-FY2018-01

### ふるさと振興基金の設立

#### 【原則1】

公益財団法人愛媛銀行ふるさと振興基金は、愛媛銀行の創立 40 周年を記念して、昭和 58 年に設立したものです。愛媛県内における産業経済の発展に寄与する産業活動又は文化活動に対して、顕彰事業および助成事業を継続して行うことにより、ふるさとの振興に寄与してまいります。

107-FY2018-02

### ひめぎんCSR倶楽部の設立

#### 【原則1】

ひめぎん CSR 倶楽部は、行員からの寄付等による「ひめぎん愛・愛ギフト」を主な財源として、環境・福祉・教育及び文化・スポーツへの助成を行うことを目的として設立したものです。これにより、地域社会の環境改善・福祉の向上、教育・文化・スポーツのレベルアップに寄与してまいります。

107-FY2018-03

### 愛媛銀行環境方針の制定

#### 【原則1】

当行は、CSR の重点課題と位置付けている環境保護活動の指針として、平成 20 年に「愛媛銀行環境方針」を制定しました。地域社会の一員として、行員一人ひとりが課題の重要性を認識し、森林整備や使用済み天ぷら油の回収等の環境保全につながる活動を展開することで、地球環境の保護に取り組んでいます。

107-FY2018-04

### 災害等に備えた行内備蓄について

#### 【原則3】

当行は、南海トラフ大地震等、今後予想される災害に備え、本部・全支店・関連会社において、食料・飲料水・携帯用トイレの備蓄をしました。飲料水は、株式会社ぞっこん四国（松山市）が製造販売するミネラルたっぷりの中硬水、トイレは愛媛県内の企業が製造した携帯用トイレ、食料は缶入り乾パンを備蓄し、大災害に備えます。同時に「ぞっこん水」と「携帯用トイレ」に関しては、県産品の販路拡大にも寄与しています。

当行は、今後、行員あるいは、県下の企業へも大災害に備えた備蓄を呼びかけていきたいと考えております。

107-FY2018-05

### ひめぎんふるさと観守り隊について

#### 【原則3】

当行は、ふるさとの発展に役立つ銀行として、社会貢献に取り組むべく、「ひめぎん ふるさと観守り隊」を平成 24 年 8 月 8 日に結成しました。犯罪や事故の未然防止を図るために、愛媛県内の支店長・渉外課長・渉外行員・年金アドバイザー等、外訪活動に従事する者が、外訪活動を通じて収集した情報（緊急情報・犯罪疑い情報・異変情報）を、行政機関に通報・情報提供・相談を行い、安全で安心なまちづくり活動に取り組んでいます。

107-FY2018-06

### 愛媛銀行ecHoの森活動の実施

#### 【原則4】

平成 20 年に愛媛県及び公益財団法人愛媛の森林基金と「企業の森林づくり活動協定」を締結し、「愛媛

銀行 ecHo の森」として定期的に下草刈りや間伐、森林教育などの森林づくり活動を実施しています。平成 29 年度は 7 月に、当行の新入行員約 40 名が参加しました。引き続き森林整備活動と環境教育に積極的に取り組んでまいります。

107-FY2018-07

#### 本店営業部に電気自動車を導入

##### 【原則5】

本店営業部に電気自動車（日産リーフ）を営業用車両として導入しました。従来、当行の営業活動は、主にガソリン車やガソリンバイクにて行っておりましたが、電気自動車を導入するなど CO<sub>2</sub> 排出量削減に努め、今後も環境保全への取組みを積極的に行ってまいります。

107-FY2018-08

#### オフセット・クレジット(J-VER)の購入

##### 【原則5】

当行は、平成 23 年 7 月、愛媛県内で初めて認証された久万広域森林組合のオフセット・クレジット(J-VER)を 20 t-CO<sub>2</sub> 購入いたしました。J-VER 制度は、平成 20 年 11 月に環境省が創設した制度であり、愛媛県のマッチングにより県内で第一号の購入となりました。

また、平成 25 年 11 月には、西予市内の森林間伐によって創出された J-VER50 t-CO<sub>2</sub> を購入しました。

107-FY2018-09

#### 愛媛県内で初のコンバートEV(改造電気自動車)の導入

##### 【原則5】

当行は愛媛県が取り組む新産業創出のための電気自動車の研究開発に協力しています。その一環として、平成 24 年 1 月、愛媛県 EV 開発センターの技術指導を受けた民間会社が県内ではビジネスとして初めて製作したコンバート EV（改造電気自動車）を、当行の営業用車両として導入しました。

当行は、電気自動車の開発・普及およびビジネス化を推進するため、愛媛県 EV 推進協会にも参画するなど、低炭素社会の実現に向けた取組みを支援しています。

107-FY2018-10

#### 「電力マネジメントシステム」の導入について～四国内金融機関初、スマートクロック設置～

##### 【原則5】

当行は、平成 23 年 12 月 1 日より本店および研修所において使用電力量の削減を図るため電力マネジメントシステムを導入しました。電力マネジメントシステムは、スマートクロックと呼ばれる省エネ機器を導入して電力の見える化を行うことにより省エネの取組みを実施するものです。スマートクロックは本店に 3 台、研修所に 4 台の、計 7 台設置して省エネ活動に役立てています。

107-FY2018-11

#### 松山市が発行する国内クレジットの購入について

##### 【原則5】

当行は、低炭素社会の構築に向けた広範な取組みを行っており、平成 24 年 3 月、松山市が発行する国内クレジット（坊ちゃんクレジット、マドンナクレジット）を購入しました。坊ちゃんクレジットは太陽光発電由来の CO<sub>2</sub> 削減効果を、またマドンナクレジットはボイラーの燃料を重油から天然ガスに転換したことによる CO<sub>2</sub> 削減効果をクレジット化したものです。平成 23、24 年度の 2 ヶ年で認証された国内クレジットは 295t-CO<sub>2</sub> であり、当行はこれらのクレジットの約 4 割（114t-CO<sub>2</sub>）を購入しました。

107-FY2018-12

#### 使用済み天ぷら油の回収について

##### 【原則5】

当行は、環境への取組みの一環として、社宅・社員食堂及び愛媛県内の多くの店舗において、当行行員や地域の皆様を対象に使用済み天ぷら油を回収し、バイオディーゼル燃料へリサイクルする取組みに参加しています。使用済み天ぷら油の回収は、ごみの減量、石油使用量の削減、地球温暖化防止等環境保全に役立っています。

107-FY2018-13

#### 木造建築店舗による営業～愛媛県久万産材を使用～

##### 【原則5】

平成 27 年 12 月松山市内の久米支店を、ふるさと愛媛の久万産材を 100%使用した、銀行店舗としては全国初となる木造構造にて新築いたしました。大断面集成材を採用することにより、広々としたロビー空間を演出し、お客様に木の香りや木の温もりを体感していただける店舗となっております。また、愛媛県久万産材を数多く利用することで、地方創生に貢献しております。

107-FY2018-14

#### 「愛媛銀行CSRの取組み」報告書の作成

##### 【原則6】

当行は、「愛媛銀行 CSR の取組み」報告書を作成して、開示しています。  
(<http://www.himegin.co.jp/furusato/pdf/h28>)

107-FY2018-15

#### 傷害保険お申込み業務の電子化、ペーパーレス化について

##### 【原則5】

当行は、平成 29 年 5 月 15 日から販売開始した自転車保険を含む傷害保険について、当行行員のタブレット端末からお申込みができるシステムを導入しました。愛媛県との連携協定をした傷害保険で、タブレット端末から申込みできるシステムの導入は、金融機関で全国初となります。  
本取組を通じて、ペーパーレス化、省資源化に努めてまいります。

107-FY2018-16

#### 落書き消し活動について

##### 【原則5】

当行は、一般社団法人お城下松山が毎年実施している「落書き消し活動」に参加し、市内の美化に努めています。平成 29 年度は 8 月に、当行の行員 24 名が参加しました。  
引き続きコミュニティづくりや環境教美化促進に取り組んでまいります。

107-FY2018-17

#### 西日本豪雨災害による被災地の復旧・復興支援

##### 【原則1】、【原則3】、【原則4】、【原則7】

当行は、被災されたお客様の復旧・復興を後押しするために、ご融資に関する相談会や、「愛媛県中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業（グループ補助金）」実践セミナーの開催、「西日本広域豪雨復興支援ファンド」への出資など、本業を通じた被災地の復旧・復興に資する取組を進めています。また、大洲市、西予市、宇和島市を中心に、役職員による瓦礫の撤去作業などの被災地支援ボランティアを実施しました。  
被災された皆様が一日でも早く平穏な生活を取り戻されるよう、引き続き復興支援に全力で取り組んでまいります。

## ■ 株式会社 関西アーバン銀行

108-FY2018-01

### 環境支援商品の提供

#### 【原則1】【原則2】【原則3】

- (1) 環境関連預金  
「eco 定期預金」  
自然環境保護に役立てていただくため、受入残高の一定割合を環境保全団体へ寄附する商品。
- (2) 環境関連融資  
① 「スマートハウス住宅ローン」  
太陽光発電装置設置済みの住宅購入の他、太陽光発電装置の設置工事費用に係る借入れについて、住宅ローンと同様の期間・金利等の条件を可能とする商品。
- (3) 環境関連投資信託  
「環境ビジネス日本株オープン」  
環境に関する高い技術力を有する企業を中心に、投資魅力のある銘柄に投資する投資信託商品。  
「日興エコファンド」  
環境対応の優れた日本のエコ・エクセレントカンパニーに積極的に投資する投資信託商品。

#### 【特徴】

- 「eco 定期預金」  
取扱い開始以降、寄附累計額は 3,341 万円となる。  
平成 30 年度実績 412 万円
- ① 滋賀県 「マザーレイク滋賀応援基金」 103 万円
  - ② 大阪府 「大阪府環境保全基金」 103 万円
  - ③ 大阪市 「大阪市環境創造基金」 103 万円
  - ④ 公益財団法人 国際湖沼環境委員会 103 万円

108-FY2018-02

### 環境負荷の低減

#### 【原則1】【原則5】【原則7】

#### 環境負荷低減への取組み

- ① 電気使用量の削減
- ② 紙使用量の削減
- ③ 環境配慮型用紙の購入
- ④ 環境問題に対する意識の醸成

#### 【特徴】

#### 全行ベースでの取組み

- ① 「節電運動」の実施（夏期：6月～9月、冬季：12月～3月）
- ② 「クールビズ」「ウォームビズ」の実施
- ③ 「ライトダウン・キャンペーン」への参加
- ④ 「関西エコオフィス運動」「まほろばエコオフィス運動」への参加（東京・名古屋を除く）

108-FY2018-03

### 地域の環境保全活動

#### 【原則3】【原則4】

- (1) 地域の清掃活動  
① 滋賀県「琵琶湖岸」

4月：新人研修時に琵琶湖岸の清掃活動を実施

7月：地元企業の方と一緒に琵琶湖岸の清掃活動を実施（平成30年度は雨天中止）

② 兵庫県「須磨海岸」

9月：関西みらいフィナンシャルグループの一員として、須磨海岸の清掃活動を実施

(2) スポーツ大会協賛

毎年、滋賀県にて開催される「学童野球大会」「中学生卓球大会」に協賛し、環境を啓発型イベントとして、参加者に対しペットボトルキャップのリサイクル活動呼びかけ、集まったキャップは地元の福祉団体へ寄贈。

108-FY2018-04

情報開示(リリース)

【原則6】

(1) ホームページ

「企業の社会的責任」のページで、「CSRの基本方針」「環境方針」をはじめ、「社会貢献活動・環境活動」「地域への貢献活動」等について開示。

また、関西みらいフィナンシャルグループのホームページにも当行CSR活動をリンク貼付。

(2) ディスクロージャー誌

関西みらいフィナンシャルグループのディスクロージャー誌において、4つの重点課題『地域』『次世代』『環境』『ダイバーシティ』に関する活動について開示。

(3) びわ湖環境ビジネスメッセ 2018 に出展

平成30年10月に滋賀県長浜市で開催された、びわ湖環境ビジネスメッセ 2018 に出展し、当行の環境保全に取り組む体制について情報発信。

【特徴】

《びわ湖環境ビジネスメッセ 2018 概要》

環境ビジネスに取り組む企業・団体（約300）が環境製品、技術、サービス、ビジネスモデルを一堂に展示する日本最大級の環境産業総合見本市（来場者数：約27千人）

開催日：平成30年10月17日（水）～19日（金）

場 所：長浜バイオ大学ドーム（滋賀県立長浜ドーム）

主 催：びわこ環境ビジネスメッセ実行委員会（滋賀経済産業協会、他）

108-FY2018-05

環境教育(行内・行外)

【原則3】【原則7】

(1) CSR レポートによる学習

「行内イントラネット」上にCSR・環境をテーマとするレポートを都度掲示し、職員向けCSR・環境活動の啓蒙を実施。

## ■ 株式会社 中京銀行

109-FY2018-01

### 環境関連金融商品の取扱い及び金利優遇について

#### 【原則2】

##### <個人向け金融商品>

- ・環境にやさしいハイブリッド車、電気自動車、天然ガス車、燃料電池車、エコカー減税対象車を購入されるお客さまを対象に、低金利の「エコカーローン」を取り扱っています。
- ・オール電化、給湯暖房システム「エコウィル」、省エネ給湯器「エコジョーズ」に関する設備やエコカー購入を資金用途とする無担保ローンの金利優遇を実施しています。
- ・省エネ電化設備設置住宅、ガス省エネ住宅、太陽光発電設備の設置住宅を購入されるお客さまを対象に、住宅ローンの金利優遇を実施しています。

##### <事業者向け金融商品>

- ・環境問題に対する社会の意識の高まりを捉え、社会貢献度の高い環境ビジネスへの取組みを支援するため、低公害車購入、環境認証取得、地球温暖化対策の実施および公害防除等関連施設の設置を融資対象とした「中京・エコ・ビジネスローン」を取り扱っています。
- ・農業者向け融資商品「中京農業育てるローン」を取り扱い、農業者の方々の幅広い資金ニーズに対応するとともに、農業分野の支援に積極的に取り組んでいます。

109-FY2018-02

### 「エコ」宣言を行い、「環境負荷の低減」、「金融サービスを通じた環境保全」に向けた活動を展開

#### 【原則2】【原則5】【原則6】

創立70周年を機に「エコ」宣言を行い、「環境負荷の低減」「金融サービスを通じた環境保全」に向けた活動を展開しています。

##### ▶ 「エコ」宣言

～ 私たちは、環境に配慮した活動を通じ、地域社会に貢献します ～

活動内容：「環境負荷の低減」「金融サービスを通じた環境保全」に向けた活動

##### ▶ 環境負荷の低減

###### 1. エコカーの導入

役員車両をおよび営業車両全車を、燃料電池車やハイブリッドカーなどのエコカーへ切替え

###### 2. 省エネ

###### ・ 節電：

蛍光灯の間引き、エレベーターの一部休止、省電力型ATMへの更改、環境配慮型店舗への移行、クールビズ・ウォームビズの徹底など

###### ・ 節約：

ATMの取引明細書発行の選択機能の導入、2 in 1 印刷（1紙面に2面を縮小して印刷）・エコ印刷（エコモード印刷、両面印刷）の徹底 など

###### ・ その他：

ベジタブルインキ・FSC認証紙の使用、エコ粗品の使用など

▶ 金融サービスを通じた環境保全

1. エコ定期預金

お預け入れいただいたエコ定期預金の総額の一定割合を公益社団法人等に寄付する

2. エコ投資信託

当行が受け取るエコ投資信託の信託報酬の一部を環境保護団体等に寄付する

3. エコ関連融資

・ エコカーローン：

環境に優しいエコカーを購入されるお客さまにお得な金利プランを提供する

・ エコ住宅・リフォームローン：

- 環境に配慮した住宅を新築・購入されるお客さまへの適用金利を優遇する

- エコ設備（太陽光発電・エコジョーズ等）を設置されるお客さまへの適用金利を優遇する

・ エコ融資（事業性）：

お客さまの環境ビジネス（低公害車等の購入、環境に係る認証の取得等）への取組みを低レートのご融資で応援する（中京・エコ・ビジネスローン）

【特徴】

当行は、環境に配慮した活動を通じて、今後も積極的に地域社会に貢献していきます。

109-FY2018-03

あいち地球温暖化防止戦略 2020 の主旨に賛同し、CO<sub>2</sub>削減目標と排出削減の取組みを宣言

【原則2】【原則5】【原則6】

CO<sub>2</sub>削減目標と排出削減の取組みを宣言することによって、継続的に環境保全活動に取り組んでいきます。

【CO<sub>2</sub>削減目標】

2020年度の温室効果ガス排出量：4,024.2 t-CO<sub>2</sub>（7.0%削減）

【主な宣言内容】

- ・ エコカーの導入（2014年3月末現在93%、2017年までに100%）
- ・ 第2次省エネ型ATMへの更新（更新予定台数：98台）
- ・ 太陽光発電設備の導入（2014年：2店舗）
- ・ エコ定期預金：募集総額の一定割合を環境団体に寄付
- ・ 空調機器の設定温度、運転時間を適切に管理する（夏季：28℃、冬季：19℃、運転時間8:00～17:30）
- ・ 稼働率の低いエレベーターの一部休止

【ランクアップ】

- ・ CO<sub>2</sub>排出削減の取組みが評価され、宣言当初の「★（シングルスター）」ランクから、最上位の「★★★（トリプルスター）」へ、2017年11月20日にランクアップしました。

【特徴】

当行は、環境に配慮した活動を通じて、今後も積極的に地域社会に貢献していきます。

109-FY2018-04

「認知症サポーター」の全店配置について

【原則3】

店頭での対応力の向上ならびに認知症の方やそのご家族の皆さまが安心して暮らし続けられる地域づくりに貢献するため、すべての営業店に1名以上の認知症サポーターを配置しています。

**【特徴】**

認知症サポーターが常駐していることを示し、地域金融機関として更に安心して当行のサービスをご利用いただけるよう、営業店内に「認知症サポーターがいます」ステッカーを掲示しています。

---

109-FY2018-05

---

**オール紙製のチューブファイルの導入による環境負荷を軽減**

---

**【原則5】**

---

コクヨと共同開発した綴じ具まで全て紙製のチューブファイルを利用しています。オール紙製チューブファイルは書類を綴じたままファイルごと全て溶解処理を行い再資源化することができます。プラスチック等の廃棄物削減により環境負荷の低減に貢献しているほか、廃棄書類抜き取りの必要がないため、作業の効率化にもつながっています。

**【特徴】**

環境負荷の削減への貢献に加えて、廃棄書類抜き取りの必要がないため、作業の効率化にもつながっています。

---

## ■ 株式会社 豊和銀行

111-FY2018-01

### 環境配慮型金融商品の取扱い

#### 【原則2】【原則3】

地域金融機関として、地域のお客さまの幅広い資金ニーズへの対応に加え、地域における環境保全活動を金融面からも推進していくため、環境配慮型金融商品の取扱いを行っている。

- ① リフォームローン Q... 太陽光発電設備機器の購入・設置費用、環境配慮型設備機器導入ニーズに対応し、取引状況に応じて優遇金利を適用
- ② リフォームローン..... 同様に、太陽光発電設備機器の購入・設置費用、環境配慮型設備機器導入ニーズに対応。更に、産業用太陽光発電の購入にも対応可能な商品

#### 【特徴】

地域金融機関として、本業での経済貢献のみならず、環境や文化の幅広い分野に注力し、企業の社会的責任活動を通じて、地域の繁栄に寄与すべく、様々な社会貢献活動に取り組んでいる。

本取組みは、地域のお客さまの幅広い資金ニーズおよび環境保全の一助とさせて頂くべく販売をするもの。これらの環境保全等の取組みを地域の方々に知っていただくために、商品の取扱いをホームページで紹介している。

111-FY2018-02

### NPO助成金制度

#### 【原則3】

NPO 助成金制度により、大分県の環境保全、文化振興、福祉・生活向上に役立てて頂き、「ゆたか」な社会を築いていく一助とさせて頂くことを目的に、平成 20 年度より実施しており、平成 30 年度で第 11 回目の開催。

平成 30 年度は、「オンライン」相談事業を行なう「チャイルドラインおおいた（大分市）」、ウミガメが帰ってくる森づくり事業を行なう「福祉コミュニティ KOUZAKI（大分市）」、赤ちゃんからご高齢の方まで、障がいの有無に関わらず過ごせる「みんなのいえ『カラフル』」の運営を行なう「みんなのいえ『カラフル』（竹田市）」、小学生のためのコミュニケーションハンドブック作製プロジェクト事業を行なう「地域ひとネット（大分市）」の 4 団体に助成金を贈呈。

#### 【特徴】

地域金融機関として、本業での経済貢献のみならず、環境や文化の幅広い分野に注力し、企業の社会的責任活動を通じて、地域の繁栄に寄与すべく、様々な社会貢献活動に取り組んでいる。

NPO 助成金制度は、地域の環境保全、文化振興、福祉・生活向上の一助とさせて頂くべく、助成金を贈呈するもの。加えて、これら NPO の環境保全等の取組みを地域の方々に知っていただくために、表彰先をホームページ・ディスクロージャー誌で紹介している。

111-FY2018-03

### 社会貢献活動

#### 【原則6】【原則7】

社会貢献活動は、目的・趣旨等を明確にした通知文書により職員の取組み意識向上を図ったうえで、実施することとしている。平成30年度は、CO<sub>2</sub>ゼロデー運動、街かどクリーン作戦、クールビズ・ウォームビズ等を職員にて取り組んだ。

地域の方々への情報開示のため、ホームページやディスクロージャー誌を活用しており、これまでCO<sub>2</sub>ゼロデー運動実施、街かどクリーン作戦実施、クールビズ・ウォームビズ実施、LED照明導入、カーボンオフセット通帳導入等の取組みを掲載している。

① CO<sub>2</sub>ゼロデー運動

年4回の指定日は、通勤および外訪活動時に、原則乗用車・バイク等を使用しないとする取組み。  
平成30年9月に第40回目を実施。

② 街かどクリーン作戦

従業員組合を中心に、全店の職員で地域清掃を行う取組み。昭和58年に取組み開始、平成29年11月に第55回目を実施。

③ クールビズ・ウォームビズ

服装により冷暖房設定温度を調整。

④ LED照明導入

平成23年12月に第1号店として本店営業部に導入。現在、大分市内の全店舗に設置。

⑤ カーボンオフセット通帳導入

平成24年1月に導入。

**【特徴】**

地域金融機関として、本業での経済貢献のみならず、環境や文化の幅広い分野に注力し、企業の社会的責任活動を通じて、地域の繁栄に寄与すべく、様々な社会貢献活動に取り組んでいる。

行内での積極的な取組みに加え、その取組みを地域の方々に知っていただくために、取組み事例をホームページ・ディスクロージャー誌で紹介している。

---

## ■ 株式会社 紀陽銀行

116-FY2018-01

### 「紀陽銀行 環境方針」の制定

#### 【原則1】

2014年10月、全役職員が環境に配慮する気持ちを持って積極的に自ら考え自ら行動することを目指し、新たに「紀陽銀行 環境方針」を制定しました。

116-FY2018-02

### 環境関連商品の提供

#### 【原則2】

「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」を活用した事業への参入を検討している事業者さま向けに、再生可能エネルギー事業融資「紀陽エコビジネス」を取り扱っています。また、本年10月より、事業者さまの環境に対する取り組みを評価し、格付を付与する環境格付制度を活用した「環境配慮型融資」の取扱いを開始しました。

116-FY2018-03

### 大規模災害対策に向けた支援

#### 【原則3】

紀陽銀行は「南海トラフ巨大地震」などによる被害予想地域を営業エリアとしているため、災害・事故時などの事業の継続・早期再開に備えた事業継続計画（BCP）のサポートに力を入れ、事業者さま向けに「大規模地震対応模擬訓練」やセミナーを開催しています。

116-FY2018-04

### 和歌山県「企業の森」事業

#### 【原則3】

環境保護活動への取り組みの一環として、和歌山県が森林の環境保全を目的として実施している「企業の森」事業に参画しています。2006年4月より、和歌山県日高川町の「紀陽の森」において活動を開始し、毎年、行内にてボランティアを募り、約3,300本の植栽を行うとともに、下草刈り活動に取り組んできました。新たな展開として、和歌山県田辺市においても森林保全活動に取り組むこととなり、2016年11月には、約120名の役職員の手によって、ヤマザクラやウバメガシ等の広葉樹の植栽を行いました。本年10月に約110名の役職員で下草刈りを行い、今後も定期的な活動を継続していきます。

116-FY2018-05

### 地域の環境美化活動への参加

#### 【原則3】

創立100周年を機に、1995年6月に「紀陽銀行小さな親切の会」を発足させ、同時に公益社団法人「小さな親切」運動本部に加入しました。毎年、同会の活動の一環として、各営業店エリアにおいて清掃活動や地元の催し物へのボランティア参加、献血への協力などの活動を行っています。

116-FY2018-06

### 節電への対応

#### 【原則7】

節電への対応として、減灯や不在時消灯、クールビズやウォームビズ等に取り組んでいます。

## ■ 株式会社 高知銀行

117-FY2018-01

### 環境配慮型金融商品の取扱い

#### 【原則2】

##### ■エコ住宅ローンの取扱い

2010年から、太陽光発電等各種省エネ設備を備え、環境に配慮した住宅の新築、増改築、借り換え等に利用できる「エコ住宅ローン」を取扱いしています。

##### ■環境配慮型企业向け私募債の取扱い

2015年から、環境配慮に関する外部認証を取得した企業、国や自治体の認定する他のエコ事業所認定を取得した企業などを対象に、保証料や事務手数料を優遇する取扱いを実施しています。

#### 【特徴】

お客さまの環境に配慮した取組みを支持することにより、持続可能な社会の実現に向けた取組みをサポートしております。

117-FY2018-02

### 地域の環境美化活動への参加

#### 【原則3】

##### ■地域清掃

本部ならびに営業店は、定期的に店舗周辺の清掃活動を実施しております。また、2012年から、毎年5月頃に当行本店から四国八十八ヶ所霊場第30番札所「善楽寺」までの沿道の清掃活動を行うとともに、2015年から、年末大掃除プロジェクトとして地域の観光名所のひとつである「はりまや橋」周辺の清掃活動を行っております。

併せて各地域や高知県主催の清掃活動にも積極的に参加しています。

#### 【特徴】

地域の清掃活動を通じて、社会的共通資本の向上と持続可能な社会の実現に取り組んでいます。

117-FY2018-03

### 環境に配慮した事業運営

#### 【原則5】

##### ■消費エネルギーの削減

電気自動車やハイブリッド自動車の導入、営業店と店外ATM照明のLED化を実施しており、消費エネルギーの削減に取り組んでいます。

##### ■再生可能エネルギーの導入

一部店舗へ太陽光発電設備の設置を行っており、再生可能エネルギーの導入に取り組んでいます。

##### ■クールビズ・ウォームビズの実施

2007年から、地球温暖化防止および節電のため、クールビズ・ウォームビズを継続して実施しています。

クールビズ（5/1～10/31）：冷房温度を28℃に設定

ウォームビズ（12/1～3/31）：室温19℃を目処に設定

#### 【特徴】

環境負荷の軽減活動を通じて、持続可能な社会の実現に取り組んでいます。

## ■ 株式会社 西日本シティ銀行

118-FY2018-01

### 環境ビジネスの発展につながる融資・投資

#### 【原則2】

間伐材等の未利用木材を活用したバイオマス発電事業への融資、太陽光オンサイト発電事業向けファイナンスプログラム、空港跡地を活用した太陽光発電事業へのシンジケートローン組成、ベトナム水力発電事業への協調融資（日系企業のレアアース鉱山開発事業への間接支援）など、環境ビジネスの発展および地域振興につながる融資・投資を提供。

118-FY2018-02

### 環境私募債の受託

#### 【原則3】

環境に配慮した経営を行っている企業（ISO14001 認証取得企業、エコアクション 21 認証取得企業、環境に配慮した経営について国・自治体等から認証・認定・表彰を受けた企業）を対象に、環境私募債を受託。設備資金・運転資金いずれにも利用可能で、通常の銀行保証付私募債よりも発行コストが優遇されるほか、受託時のリリースに伴う“社会的評価による PR 効果”といったメリットがある。

118-FY2018-03

### 環境格付融資

#### 【原則3】

CO<sub>2</sub>削減について一定の誓約\*が可能な法人を対象に、地球温暖化対策に関わる設備資金について、当行所定の“環境格付”に応じた金利優遇（優遇幅 1.1%～1.3%）を適用した融資を提供。

※ “3 年間以内に CO<sub>2</sub> 排出量原単位（または CO<sub>2</sub> 排出量）3%削減”と“5 年間以内に CO<sub>2</sub> 排出量原単位（または CO<sub>2</sub> 排出量）5%削減”のいずれか。

環境省利子補給制度の取扱金融機関の認定を取得しており、同制度の活用もサポート。

118-FY2018-04

### エコ店舗の導入

#### 【原則5】

店舗の建替・移転にあたり、環境配慮機能（太陽光発電、雨水利用、エコガラス、LED 照明、屋内・外緑化など）を採用したエコ店舗を導入（2018 年 3 月まで累計 19 か店）。

118-FY2018-05

### 北九州市の古着リサイクル事業への参加

#### 【原則5】

北九州市が推進する古着リサイクル事業（古着を自動車の内装材・防音材に再生し、北部九州の自動車メーカーに供給）に、不要となった制服を提供。

同事業は、“地域循環型のリサイクル（市内や市近郊で回収した古着を市内企業がリサイクル）”“環境産業・自動車関連産業の振興（市の環境未来技術開発助成制度を活用し、市内企業が効率的なリサイクル技術を開発）”“新規雇用創出”等につながり、同市が目指す「環境と経済が両立したグリーン成長」に寄与。

118-FY2018-06

### 行内広報誌による役職員の環境リテラシー向上

#### 【原則7】

---

地球温暖化をはじめとする環境問題とエネルギー問題、これら問題への対応策、ESG を考慮した投資など、環境にまつわる幅広いテーマについて、行内広報誌（年4回発行）に「ECO なう！」というタイトルで連載解説。

---

## ■ 株式会社 百十四銀行

123-FY2018-01

### 環境配慮型商品の取扱い

#### 【原則2】【原則3】

環境保全に取り組む企業・個人事業主の皆さまを積極的に支援するべく、金利優遇型の商品を取り扱っています。

- ・ 114 環境サポート融資（百十四オリーブファンド）
- ・ 環境配慮型私募債（百十四オリーブ債）
- ・ 114 再生可能エネルギー事業支援融資

123-FY2018-02

### 紙クロス通帳の取扱い

#### 【原則2】【原則3】

2014年4月より取扱い開始している新通帳では、表紙の素材にリサイクルが可能な紙クロスを使用しているほか、印刷にはベジタブルインキ（植物性インキ）を使用し、環境に配慮しています。

123-FY2018-03

### 環境負荷軽減への取り組み

#### 【原則5】

- ◆本店・全営業店にてライトダウン実施  
「ライトダウンジャパン 2018」や「ムーンナイト SHIKOKU」などの取り組みに賛同し、全店で午後8時以降の建物内の消灯につとめたほか、各家庭においても、こまめに消灯を行うなどの節電に取り組みました。
- ◆電気自動車、ハイブリッド車の導入  
走行中のCO<sub>2</sub>排出ゼロの電気自動車「i-MiEV」や、ハイブリッド車を営業車として順次導入しています。
- ◆クールビズ・ウォームビズの実施  
冷暖房需要が拡大する時期の節電対策として、クールビズ・ウォームビズを実施しています。  
2018年実施期間 【クールビズ】 5月～10月  
【ウォームビズ】 11月～3月

123-FY2018-04

### フォレストマッチング 協働の森づくり 森林保全活動

#### 【原則7】

香川県などと「百十四の森」フォレストマッチング協定を締結し、森林保全活動に取り組んでいます。2017年より、四国アライアンス4行において各行が実施している森林保全活動の相互参加を開始しました。2018年10月の活動には、香川県丸亀市の山林で行員とその家族約160名が除間伐・枝打ち作業を行いました。

123-FY2018-05

### 地域の環境美化活動に参加

#### 【原則7】

毎年、高松市が主催している海岸沿いや空港、地元商店街などの清掃活動に、開催地近くの営業店行員や本部行員が中心となって参加しています。香川県内外の営業店においても、地元自治体等とともに水路掃除や、国立公園・寺院の清掃など、地域の環境美化に取り組んでいます。

2018年6月には、高松市主催の不法投棄撲滅クリーン作戦への積極的な参加が評価され、高松市より感

---

謝状が授与されました。

---

123-FY2018-06

---

省エネ・環境に配慮した本店ビル

---

**【原則 5】**

---

本店ビルは既存の壁面ガラスを新ガラススクリーンで二重に覆う「ダブルスキン工法」を用いた大規模改修で省エネに貢献した等の理由から「BELCA 賞<sup>※</sup>ベストリフォーム部門」を受賞しています。2013 年に受賞している「ロングライフ部門」との両部門受賞は全国初です。

※長期にわたり適切な維持保全や優れた改修を実施した既存建築物を表彰する制度。公益社団法人ロングライフビル推進協会（BELCA）が選定。

---

## ■ 株式会社 鳥取銀行

124-FY2018-01

### 環境配慮型商品とサービスの提供

#### 【原則2】

環境配慮型の融資、私募債、ローンなど商品ラインナップの充実に努め、環境に配慮した経営や再生可能エネルギーの導入、環境保全に向けた取組みを金融面から支援しております。また、省エネや再生可能エネルギーに関するビジネスマッチング等を実施しております。

124-FY2018-02

### J-クレジット地域コーディネーターとしての活動

#### 【原則4】

平成23年9月の鳥取県、平成25年6月の鳥取県日南町と県内2自治体からJ-クレジット地域コーディネーターに認定されております。お取引先への「カーボン・オフセット」の紹介を通じて、環境配慮型経営の支援とCO<sub>2</sub>削減に取り組んでいます。なお、直近では平成29年7月に当行取引先と鳥取県との間でのCO<sub>2</sub>吸収量50トン分の「県有林J-クレジット」売買契約を仲介いたしました。

124-FY2018-03

### 「とっとり共生の里づくり」活動への参画

#### 【原則4】

平成27年3月より、「とっとり共生の里づくり」活動へ参画しております。同活動は、高齢化や担い手不足など様々な課題を抱えている農村地域と地域企業が連携することにより、遊休農地の活用による維持管理や農村と企業の交流などを通じて、地域の活性化や持続的な資源保全活動につなげております。

これまでに、計12回、当行役職員とその家族など延べ479人が参加しております。

124-FY2018-04

### J-クレジット購入によるカーボン・オフセット

#### 【原則4】【原則5】

小学生3年生以下を対象とした「キッズサッカーフェスティバル」を毎年開催しており、環境にも配慮したイベントとするため、参加者の移動等で排出されるCO<sub>2</sub>相当量を算定し、その相当分の鳥取県有林J-クレジットを購入し、カーボン・オフセットを実施しています。

124-FY2018-05

### 環境に配慮した業務運営

#### 【原則5】【原則7】

LED照明の導入や冷暖房の温度調整、クールビズの実施によって省エネルギー化に努めています。また、行内文書・帳票の電子化によるペーパーレス化や廃棄資料のダンボールへのリサイクルに取り組んでいます。

124-FY2018-06

### 地域の環境保全・美化活動の実施

#### 【原則7】

地域の環境美化への参画と行員の環境意識向上のため、鳥取砂丘で年2回開催される一斉清掃に参加するほか、豪雪で被害を受けた松林の再生・保全に取り組むなど地域の清掃ボランティア活動を実施しています。

## ■ 株式会社 琉球銀行

128-FY2018-01

### りゅうぎんユイマール助成会

#### 【原則1】【原則3】【その他】

当助成会は、(株)琉球銀行創立45周年を記念して設立され、沖縄県において県民のための社会福祉活動、環境保全活動を実施しているNPO法人等の非営利目的の法人または団体を支援する目的で助成活動を展開しています(平成5年から助成開始)。

毎年2回(上期・下期)厳正な審査を経て、今年度上期は119先の方々へ助成を行いました。

#### 【特徴】

役職員より集まった募金と同額を銀行からの寄付で運営しており、今年度は、グリーンボランティア若壺会へ助成を行いました。

また、子供貧困対策事業の一環として、子供居場所づくりイベント事業を実施している22団体へ助成金を贈呈し、沖縄県内の児童館76先へは遊具を贈呈しました。

128-FY2018-02

### りゅうぎんキッズスクール

#### 【原則1】

県内の小学5、6年生を対象、子供たちが科学や環境に興味を持つきっかけ作りをするプログラミング教室や、体験参加型ビジネスシュミレーションゲームを通じ「お金」や「銀行」、「経済」について学習する機会を提供しています。平成30年度は、208名の子供たちが参加しました。

#### 【特徴】

当行が開催することにより地域の子供たちに環境や経済について考える機会を提供しています。

128-FY2018-03

### 『国場川水あしび』イベント

#### 【原則7】

環境保全活動の一環として、国場川水あしびイベント(漫湖周辺のごみ拾い、マングローブの稚樹抜き作業)に役職員がボランティア活動として参加しました。

#### 【特徴】

イベント会場は、水鳥・湿地センターでラムサール条約登録湿地です。南部7市町村が主催者として対応している活動です。

また、集めたごみの焼却によって排出されるCO<sub>2</sub>を、カーボンオフセットしている活動です。

128-FY2018-04

### 『70周年記念事業「沖縄の海で宝探し!ビーチコーミング&ビーチクリーン・「珊瑚の苗づくり体験」』イベント

#### 【原則7】

創立70周年記念事業の一環として、役職員及びその家族を対象に、ビーチコーミングやビーチクリーン、珊瑚の苗づくりを体験するイベントを開催しました。

#### 【特徴】

海岸を清掃散歩し、海岸に落ちている珊瑚の骨や貝、ビーチクラスを採集しオブジェを作成しました。また、珊瑚養殖場では、珊瑚に関する基礎知識や現状について学習し、苗づくりを体験しました。

域資源である沖縄の自然環境の保全に対し参加者自身が理解を深め、保全活動に対する情報発信を目的として実施しました。

128-FY2018-05

---

## 環境配慮型金融商品の取扱い

---

### 【原則2】

環境対策等を取組方を対象として、以下のローン商品について所定の金利より一定の金利優遇を行っています。

- ・エコサポートローン「わした島」 （環境対策を目的とした事業性設備・運転資金）
- ・エコハウス住宅ローン （エコ設備を備えた住宅の建築・購入資金）

### 【特徴】

金融商品を通じ、持続可能な社会の形成に貢献します。

---

128-FY2018-06
---------------

---

## カラーユニバーサルデザイン・エコクロス通帳の使用

---

### 【原則2】【原則5】

「文字の使い方」や「色の使い方」などに様々な配慮や工夫を加え、高齢者・障がい者・色覚障がい者など誰もが使いやすく、見やすいユニバーサルデザインを使用しています。

通帳の素材は、環境に優しいエコクロス使用でカーボンオフセットし、環境面に配慮した通帳となっています。

### 【特徴】

今後も通帳・証書の作成時には活用していく予定です。

---

## ■ 株式会社 ふくおかフィナンシャルグループ

129-FY2018-01

### 『環境格付融資FFG「エコ・ローン」』の取扱い

#### 【原則2】【原則3】

環境経営を行う企業を FFG 独自の目線で評点化し、得点に応じて金利優遇を行う環境格付融資 FFG 「エコ・ローン」の取扱いを展開しています。「玄海灘や有明海など九州の自然」や「地産地消」を意識した企業の環境保全の努力を評価項目に取り入れるなど、オリジナリティのある地元密着型の商品です。

FFG では今後とも地域の皆様の環境保全活動をサポートするため、「金融」がもつ役割・機能を通じて、環境保全につながる商品やサービスを積極的に提供してまいります。

129-FY2018-02

### 森林保全ボランティア

#### 【原則3】【原則7】

平成 30 年 4 月、ふくおかフィナンシャルグループでは、環境共生活動の一環として、新入行員による福岡県立社会教育総合センター「きずなの森」の散策道整備ボランティアを実施しました。

#### 【特徴】

現地は福岡県の保有林。散策道は毎年約 11 万人の児童が自然学習のために利用している場であり、散策道を整備することで児童たちが安全に利用できる場の提供につながった。

129-FY2018-03

### 「エコアクション」を实践

### エコオフィス化の推進

#### 【原則5】

環境活動の一環として、全役職員が共通の目的を認識し実行するため、FFG の環境方針を定めた「エコロジーマニュアル」を制定しました。このマニュアルに基づき、平成 21 年度から全本部・全営業店で 1 年毎のサイクルを通して、「エコ・アクション」を進めています。

屋上緑化や太陽光発電のほか、ATM コーナーにおける LED 照明の採用、氷蓄熱システムによる夜間電力の活用など、エコの仕組みを数多く採り入れ、グループ全体でのエコオフィス化を推進しています。

## ■ 株式会社 愛知銀行

130-FY2018-01

### 環境保全に配慮した金融商品の取扱い

#### 【原則2】

環境にやさしい住宅の取得を支援するため、「オール電化住宅」、「ガス省エネ住宅」、「名古屋市緑化認定住宅」、「太陽光発電住宅」、「長期優良認定住宅」取得を対象とした住宅ローン金利プラン（金利優遇）を取り扱っております。

130-FY2018-02

### 環境保全に配慮した金融商品の取扱い

#### 【原則2】

ハイブリッド車、低燃費・低排出ガス認定自動車、エコカーの取得を対象としたエコカーローン金利プラン（金利優遇）を取り扱っております。

130-FY2018-03

### 環境保全に配慮した金融商品の取扱い

#### 【原則2】

環境に配慮した経営に取り組む企業に対し、私募債発行時の手数料を優遇する「あいぎんエコ私募債」を取り扱っております。

130-FY2018-04

### 環境保全に配慮した金融商品の取扱い

#### 【原則5】

太陽光発電等の再生可能エネルギー事業へ参入する企業を支援するため、「愛銀再生可能エネルギー事業支援ローン」を取扱っております。

130-FY2018-05

### 環境保全に配慮した店舗づくり

#### 【原則5】

店舗の新築の際に、壁面緑化、太陽光パネル、風力と太陽光発電によるハイブリッド照明灯などを設置し、エコ対応重視型の店舗づくりを推進しております。

## ■ 株式会社 大分銀行

143-FY2018-01

### 環境に配慮した店舗づくり

#### 【原則5】

新築する店舗については、「エコ内装材」や「ペアガラス」「LED 照明」「舗装における再生材」を使用するなど、環境に配慮した店舗づくりを行っています。

143-FY2018-02

### 社会貢献・環境保護活動

#### 【原則1】

- ・企業参画森づくり事業・・・「大分銀行の森」づくり活動（大分県由布市）に取り組んでいます。年間 100 本程度の補植を行い、新植の苗木 1 本ごとに保護ネットを設置する活動を行っています。
- ・清掃活動...本店早朝ボランティア清掃（月 1 回）、大銀ドーム一斉清掃活動（年 2 回）、記念植樹地クリーン作戦（年 1 回）を推進。
- ・「ペットボトルキャップ収集活動」...明治安田生命保険相互会社と協働して実施。
- ・大分銀行「災害ボランティアクラブ」...ボランティア活動に積極的に取り組むとともに迅速な対応・サポートができる体制を構築するために「災害ボランティアクラブ」を行内に設置し、加入者は平成 30 年 8 月現在で 221 名。「平成 29 年台風 18 号」の際には、津久見地区のボランティア参加を呼びかけ活動しました。

143-FY2018-03

### 環境に配慮した業務運営

#### 【原則5】

「クールビズ」「ウォームビズ」の実施。

143-FY2018-04

### 環境問題に対応した金融サービスの提供

#### 【原則2】

- ・「エコおおいた応援ローン」  
「エコおおいた推進事務所」として登録された企業に対し、登録する際に設定した取組目標達成のための運転・設備資金の金利を優遇。
- ・「リフォームローン」  
太陽光発電関連の資金であれば、金利を優遇。
- ・「カーボン・オフセット エコ私募債」  
私募債の引受に際しお客さまより頂く引受手数料の 10%をおおいた太陽光倶楽部より購入した「J-クレジット」購入費へ充当する。

143-FY2018-05

### 専門チームの設置

#### 【原則3】

「ファイナンスグループ」  
メガソーラや地熱等エネルギーの研究、または環境問題の改善活動として再生可能エネルギーに積極的に取り組むお客さまを支援する。

## ■ 株式会社 十八銀行

145-FY2018-01

### 世界遺産構成資産周辺の清掃活動実施

#### 【原則3】

平成 27 年に登録された「明治日本の産業革命遺産製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の構成資産である「小菅修船場跡」や「大浦天主堂」周辺でのボランティア清掃活動を行いました。

#### 【特徴】

平成 30 年度新入行員 91 名が、清掃活動に参加しました。清掃活動後は「小菅修船場跡」で「明治日本の産業革命遺産」について学びました。

145-FY2018-02

### 地域清掃活動の実施

#### 【原則3】

毎月 18 日を「18 デー」として、全店一斉に各店舗周辺の清掃活動を行っております。

#### 【特徴】

18 デーの掃除活動のほか、長崎観光「おもてなし向上」推進の一環として長崎の観光名所を清掃する「おそうじさるく」（長崎都市経営戦略推進会議（長崎サミット）主催）にも定期的に参加しています

## ■ 株式会社 沖縄銀行

150-FY2018-01

### おきぎんふるさと振興基金

#### 【原則1】

当財団は、(株)沖縄銀行の創立30周年を記念して設立され、沖縄の産業・伝統文化の振興、学術研究に励む方々を支援する目的で助成活動を行っています。(平成3年から助成開始)毎年、外部選考委員による厳正な審査を経て、約10先/年の方々に助成を行なっています

#### 【特徴】

5つの部門(健康、環境、教育、福祉、文化)にて募集を行なっています。今年度は環境部門に対し1先の助成を行なっております。

150-FY2018-02

### セーフティマップの作成・配布

#### 【原則3】

自然災害発生時にお客さま及び役職員の安全を確保する観点から、本部・営業店ごとの避難経路・避難場所の情報等を地図化した「セーフティマップ」を作成しています。

#### 【特徴】

自然災害時にお客さま及び役職員を迅速且つ的確に避難させることができ、二次被害の発生を避け、災害による被害の低減を目的としています。

## ■ 株式会社 福井銀行

157-FY2018-01

### 環境配慮型企業向け銀行保証付私募債(エコ私募債)の引受け

#### 【原則2】【原則6】

資金使途が環境配慮型経営の実践に基づくものである場合や、環境についての各種認証を取得している企業が発行する私募債を「エコ私募債」として従来より低利で引受けている。

#### 【特徴】

環境配慮型経営を実践する企業への資金支援。

157-FY2018-02

### 「ふくぎんの森」づくり活動の実施

#### 【原則3】【原則6】【原則7】

本活動は、福井県が推奨している「企業の森づくり活動」に賛同し、福井県・敦賀市（植樹土地無償提供）・当行の3者にて「整備・管理協定書」を締結して実施している。

<これまでの植樹総数>

平成25年度：イロハモミジ 100本

平成26年度：イロハモミジ 110本

平成27年度：イロハモミジ 100本

毎年、定期的に植樹場所の下草刈り等、樹木育成支援作業を実施している。

#### 【特徴】

長期的な樹木育成支援を行っている。

157-FY2018-03

### 省エネ設備の導入

#### 【原則4】【原則5】【原則6】【原則7】

- ・空調設備更新に伴う外断熱工事を実施 ・蛍光灯から高効率照明ランプへ更新
- ・デマンド制御装置の導入・営業店駐車場外灯をLED 照明器具へ更新
- ・店舗外キャッシュコーナーガラスの断熱化
- ・店舗立替、新築等の際は省エネ設備を積極的に導入

#### 【特徴】

独自の中長期計画に基づき実践

157-FY2018-04

### ディスクロージャー誌・ミニディスクロージャー誌への環境配慮用紙使用

#### 【原則4】【原則6】【原則7】

平成25年6月よりディスクロージャー誌・ミニディスクロージャー誌に環境配慮用紙「里山物語」を使用。「里山物語」は国産間伐材を最大限活用することで、日本の森林保全に貢献する環境配慮用紙。

#### 【特徴】

「里山物語」の売上代金の一部は寄付金として、NPO 法人を通じて里山で活動する社会意義の高い団体に寄付される。

---

157-FY2018-05

---

クールビズ&ウォームビズ実施

---

【原則5】【原則6】【原則7】

---

クールビズ・・・5/1～9/30 の期間で実施

ウォームビズ・・・12/1～3/31 の期間で実施

【特徴】

本部各部署・営業店に節電の責任者「節電リーダー」を任命し、室内温度管理の徹底を行っている。

---

157-FY2018-06

---

WEB 会議システムの導入

---

【原則5】【原則7】

---

平成 25 年 10 月より全本部・全営業店に「WEB 会議システム」を導入。

平成 27 年度よりグループ会社にも導入。

「WEB 会議システム」は職務室内のパソコンで使用できることから、本部・営業店間、本部・グループ会社間で移動することなく打合せの実施が可能となっている。

また、移動に伴う時間に加え使用燃料の削減にも繋がっている。

---

## ■ 株式会社 福邦銀行

158-FY2018-01

### エコカー購入資金のマイカーローンの金利割引

#### 【原則2】

エコカー購入でお借入時▲0.2%の金利割引あり。その他の金利割引項目と合わせて最大5項目で▲1.0%の金利割引がある。

158-FY2018-02

### 認証取得した事業者向け融資の金利割引

#### 【原則2】

事業者向け融資「ふくほうプライムサポート」の金利割引サービスの条件項目に認証取得を設定。「ISO 14001」または「エコアクション21」を認証取得された企業に、当行所定の金利から0.2%金利を割引する。

## ■ 株式会社 筑邦銀行

160-FY2018-01

### 地域清掃活動の実施

#### 【原則3】

毎月第3水曜日に店舗周辺地域の清掃活動を行っています。  
また、「都心部道路美化キャンペーン」「筑後川・矢部川河川美化ノーポイ運動」などの地域の清掃活動にも毎年積極的に参加しています。

160-FY2018-02

### 環境負荷に配慮した取組み

#### 【原則5】

- ・クールビズ・ウォームビズの継続実施  
地球温暖化防止策・節電対策の一環として、全店でクールビズ（5月～10月）・ウォームビズ（12月～3月）を継続して実施しています。
- ・ハイブリッド車の導入  
環境に配慮した取組みとして、商用車をガソリン車からハイブリッド車へ変更を進めています。
- ・エコに配慮した店舗環境の整備  
店舗を新設・改修する場合は、太陽光発電やLED照明の採用等、エコに配慮した店舗環境としています。
- ・ペーパーレス化の推進  
行内文書・会議資料の電子化、タブレットの活用等によりペーパーレス化を進めています。

160-FY2018-03

### 市町村および民間事業者との地方創生、地域活性化に関する連携協定の締結

#### 【原則1】【原則4】

- ・市町村が進める地方創生、地域活性化の取組みに協力することを目的として平成28年より地方公共団体と包括連携協定を締結、地域社会の維持・発展にむけた取組みについて協力・連携をすすめています（福岡県久留米市、八女市、うきは市、大分県日田市、佐賀県鳥栖市）。
- ・また、企業や教育機関と連携協定を締結し、地域企業が求める人材の育成や新規事業創出支援等を推進しています。

## ■ 株式会社 沖縄海邦銀行

164-FY2018-01

### みどりの運動

#### 【原則1】【原則7】

- ・みどりの運動は、昭和49年より続けている社会貢献活動です。
- ・みどりの講演会は、平成30年8月末現在で521回の開催を迎え、講演内容も身近な園芸手法から郷土のみどりについて、あるいは森林資源といったテーマで毎月開催しています。講演では苗木の配布も行っており、これまで62,534本の苗木を配布しています。
- ・県主催の植樹祭・育樹祭には、本部、営業店の役職員が参加しています。
- ・窓口に「みどりの募金箱」を設置し、お客様よりの募金と行員の賞与よりの募金及び銀行利益の一部を沖縄県緑化推進委員会へ寄付を行っています。（寄付：81回、累計金額10,400万円）
- ・寄付金1億円到達を記念に、沖縄県緑化推進委員会とともに平成28年6月に「かいぎん平和の森」を造成し、平成29年11月に育樹祭を開催しました。

#### 【特徴】

『沖縄をみどりの島に、緑と花で心に安らぎを』の理念を掲げ、昭和49年よりの永年の活動に県民・各界よりご賛同、評価を頂いております。

164-FY2018-02

### チーム美(ちゅ)らサンゴへ参加

#### 【原則1】【原則7】

- ・県内外企業19社が参加する「チーム美らサンゴ」に、当行も平成17年より参加しています。
- ・海水温の上昇による白化現象・オニヒトデ被害等、危機的な状況にある沖縄のサンゴ礁を蘇らせるため、サンゴ礁の回復・保護活動を行っています。
- ・当チームは、年間300本のサンゴ植付けを目標に、年5回のサンゴ植え付け活動を実施しています。
- ・平成24年11月、全国豊かな海づくり大会において、当チームは「農林水産大臣賞」を受賞しました。
- ・平成27年12月、第3回グッドライフアワードにて、当チームは「環境大臣賞最優秀賞」を受賞しました。

#### 【特徴】

県内外の異業種企業が参加して、協働によるサンゴ保全活動を行っています。

## ■ 株式会社 東京スター銀行

238-FY2018-01

### NPO 法人と連携した荒川河川敷清掃ボランティア活動の継続的实施・NPO 法人への寄付

#### 【原則4】【原則7】

当行は、NPO 法人荒川クリーンエイド・フォーラムと連携し、東京都のなかでも多くの自然が残されている荒川河川敷の清掃ボランティア活動を継続的に行っております。

荒川河川流域は、東京では珍しい自然豊かな水と緑の空間です。しかし、水際のヨシ原や河川敷にはたくさんのゴミが溜まり、景観が悪いだけでなく、そこに生息する動植物にも悪影響をおよぼしています。

当行では、2014 年から NPO 法人荒川クリーンエイド・フォーラムと連携した清掃活動を始め、2018 年で 5 回目の開催となりました。今年は 120 名以上が参加し、回収したゴミは 45ℓ のゴミ袋 89 袋分でした。

特にペットボトルのゴミが多く、ポイ捨ての多さやゴミの分別の重要性について知る機会となりました。

また、行員がボランティア活動に費やした時間を換算し、NPO 法人等に寄付する「ボランティア・マイレージ・プログラム」を利用することで、NPO 法人荒川クリーンエイド・フォーラムに寄付を行っております。この寄付は河川ごみ発生源調査費等に利用され、ごみの傾向を知り、広める活動に貢献することができました。

#### 【特徴】

荒川河川敷清掃ボランティア活動とボランティア・マイレージ・プログラムという別々の活動が結びつくことで、NPO 法人への寄付を行うことができ、環境問題解決のために相乗効果を発揮しております。

238-FY2018-02

### 環境への取り組み

#### 【原則 2】【原則 5】【原則 7】

当行は、環境への取り組みとして、省エネルギー化・ペーパーレス化・行員の環境意識向上を目指し、以下の取り組みを実施しております。

##### ① 室内温度設定管理

夏季：27℃以上（お客さま対応エリア：26℃以上）、冬季：22℃以下（お客さま対応エリア：24℃以下）に設定し、省エネルギー対応を行っております。

##### ② クールビズの実施

サマーカジュアルウェア着用を奨励しております。

##### ③ 紙資源リサイクル

本部・杉並事務センターに溶解ボックスを導入し、リサイクルに努めています。

##### ④ 紙使用削減

PDF の活用、行内会議資料のデータ共有を行っております。

##### ⑤ リサイクルペーパー導入

2018 年より、リサイクルペーパーを全行導入しました。

##### ⑥ 環境意識向上

全行員を対象とした e-learning「環境の取り組み」を実施しました。また、各拠点の電気・複合機の使用量を月次で報告する仕組みを作り、全行員へ発信しています。

##### ⑦ 再生可能エネルギー分野への融資

太陽光発電・風力発電等の再生可能エネルギーに注力し、全国で約 290MW の発電所にファイナンスアレンジャー等でご関与しております。これらの発電所の想定年間発電量合計は、一般家庭約 111,000 世帯の年間使用電力量に相当します。

#### 【特徴】

環境に関して網羅的に取り組むことで、持続可能な社会の実現に向け取り組んでいます。

## ■ 株式会社 きらやか銀行

260-FY2018-01

### 湯野浜地区 CO<sub>2</sub>大幅削減事業(温泉熱利用)への参加

#### 【原則1】【原則3】【原則4】【原則5】

本事業は、鶴岡市湯野浜地区の未利用温泉熱を有効活用し共同配湯システムの増強及び熱交換を使った共同給湯システムの新設により、従来個別施設で行っていた温泉の温度管理や給湯等に使用される化石燃料を代替し二酸化炭素排出量削減を図るものであります。

当行は、「湯野浜地区 CO<sub>2</sub>大幅削減事業（温泉熱利用）」へ参加し、地元金融機関としてスキーム構築に事業者と一緒に検討を重ねると共に、当行旧湯野浜支店を共同インフラにおける集合給湯機械室として利用する為、湯野浜源泉設備保有（株）（本社：鶴岡市）へ無償にて譲渡しました。

#### 【特徴】

本事業は地域の事業者が主体となって取組み、行政の支援のもと実現化される地域創生のモデルプロジェクトとなります。